

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科          | 国語   | 科目名  | 現代の国語   |   |   | 対象学年 | 1年                               | 単位数   | 2単位                              | 観点別評価 |          |               |  |
|-------------|--|--|---|---|---|------|----------------------------------|---|----------------------------------|-------|----------|---------------|--|
| 使用教科書       | 探求 現代の国語（桐原書店）   |  |   |   |   | 教科担当 | A組：渡邊 綾子<br>B組：蛭谷 弘子<br>C組：蛭谷 弘子 |   |                                  | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |  |
| 補助教材        | 「プレミアムカラー国語便覧」（数研出版）「大学入試漢字TOP2000 四訂版」（いっずな書店）<br>「評論・小説を読むための新現代文単語改訂版」（いっずな書店）<br>「思考のプロセスを大切に習現代文3」（いっずな書店）  |  |   |   |   |      |                                  |   |                                  |       |          |               |  |
| 教科の目標       | 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことが出来るようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。<br>【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。                             |  |   |   |   |      |                                  |   |                                  |       |          |               |  |
| 科目の目標       | 【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたりかめたりすることが出来るようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |  |   |   |   |      |                                  |   |                                  |       |          |               |  |
| 学期          | 単元と指導目標  | 指導項目・内容  | 領域  |   |   | 配当時間 | 評価規準                             | 評価方法  |                                  |       |          |               |  |
|             |  |  | 話・聞   | 書 | 読 |      |                                  |   |                                  |       |          |               |  |
| 主な学習内容と授業時数 | 1学期（3週）  | 体験と思索Ⅰ<br>【知】実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。<br>【思】他者との関わりの中で伝え合う力を高める。<br>【学】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる。  | 「ふしぎと人生」（河合隼雄）<br><br>「課題発見」「課題解決」  |   |   |      | 3                                | 【知】「」が付されている語句について、その用法を理解している。<br>【思】子どもと「ふしぎ」の関係について把握したうえで、「納得」と「物語」の関係を理解している。<br>【主】「自然科学」と「物語」の双方について、自分なりにその意義を考えている。  | ワークシート・プリント<br>ノート<br>単元テスト・定期考査 | ●     | ●        | ●             |  |
|             |  | 評論Ⅰ<br>【知】実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。<br>【思】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。<br>【学】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる。                               | 「ほどほどのデザイン」（佐藤卓）<br>「言葉の力」（大岡信）<br><br>「課題発見」「課題解決」   |   |   |      | 4                                | 【知】話し言葉の特徴を理解し、目的や場にふさわしい言葉遣いをしている。<br>【思】デザインを考えることが、なぜ「人の豊かさとは何かを考えること」につながっていくのか理解したうえで、実際に考えを深めている。<br>【主】「心と身体を使わないですむような便利さが、はたして人を本当に豊かにするのか。」という筆者の問いかけに対して、自分なりの答えを持つようとしている。                                    | ワークシート・プリント<br>ノート<br>単元テスト・定期考査 | ●     | ●        | ●             |  |
|             |  | 1学期中間考査  |   |   |   |      |                                  | 1   |                                  |       |          |               |  |
|             |  | （知）の深化<br>【知】実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。<br>【思】他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたりかめたりすることが出来るようにする。<br>【学】我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養う。    | 現代の詩 五編<br>「二十億光年の孤独」（谷川俊太郎）<br>「崖」（石垣りん）<br>「るるる葬送」（草野心平）<br>「帰途」（田村隆一）<br>「わたしが一番きれいだったとき」（茨木のり子）<br><br>「神様」（川上弘美）<br><br>「課題発見」「課題解決」「表現」 |   |   |      | 6                                | 【知】全文を正しく音読している。<br>【思】大岡信「言葉の力」で述べられた「言葉の変貌」について、その「変貌」の様子を作品中に見だし、そこからどのように「言葉の力」生み出されているか説明することができる。<br>【主】作品の持つメッセージ性について自分の考えをまとめている。<br>【思】外山滋比古「読む」で述べられた「解釈の多義性」を踏まえ、「神様」というタイトルを自分なりに解釈し、そのように解釈した根拠を説明することができる。 | ワークシート・プリント<br>ノート<br>単元テスト・定期考査 | ●     | ●        | ●             |  |
|             |  | 評論Ⅱ<br>【知】実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。<br>【思】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。<br>【学】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる。                               | 「サイボーグとクローン人間」（山崎正和）<br><br>「読む」（外山滋比古）<br><br>「課題発見」「課題解決」   |   |   |      | 4                                | 【知】本文の記述と、写真や年表との対応関係を理解している。「読む」行為のさまざまな意味を辞書などで調べ、理解している。<br>【思】本文の内容を参考に、科学技術の発展が人の考え方に影響を及ぼした例を自分なりに考え、構成や表現を工夫しながら600字程度の文章にまとめることができる。<br>【主】本文を踏まえて、創造的な読みを実際に試みている。   | ワークシート・プリント<br>ノート<br>単元テスト・定期考査 | ●     | ●        | ●             |  |
|             |  | 評論解析<br>【知】実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。<br>【思】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。<br>【学】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる。                              | 「マヨネーズの穴から」（原研哉）<br>「環境世界」（大井玄）<br><br>「課題発見」「課題解決」   |   |   |      | 6                                | 【知】文末の強い言い切りや読み手に訴える言い回しなどに注目して、主要な見解をつかむ方法を理解している。<br>【思】対照的な事柄を挙げ、比較する形式を取ること、伝えたい事柄が効果的に説明されることを理解している。<br>【主】選択的に認知する世界があることを振り返り、無意識に行われている身体や心の働きについて認識を深めている。  | ワークシート・プリント<br>ノート<br>単元テスト・定期考査 | ●     | ●        | ●             |  |
|             |  | 実社会<br>【知】実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。<br>【思】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたりかめたりすることが出来るようにする。<br>【学】言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | 学級日誌を書く<br>文化祭を企画する<br><br>「課題発見」「課題解決」「表現」   |   |   |      | 2                                | 【知】実用的な文章を読み解く際、タイプに応じた手順を踏むことができる。<br>【思】実際の学校生活を、情報の重要度や記入の際の注意点を考慮しながら「学級日誌」に記入することができる。<br>【思】資料の正確な読み込みを通じて、舞台装置や小道具として必要なものを確認している。<br>【主】実社会におけるパンフレット類なども参考にして、自身の感覚に根ざした効果的な表現のあり方を工夫している。                       | ワークシート・プリント<br>ノート<br>作品作成       | ●     | ●        | ●             |  |
|             |  | 1学期期末考査  |   |   |   |      |                                  | 1   |                                  |       |          |               |  |

|   | 学期                                   | 単元と指導目標   | 指導項目・内容   | 領域                                      |    |   | 配当時間 | 評価規準   | 評価方法   | 【知】 【思】 【主】                      |                         |     |
|---|--------------------------------------|---|---|---|----|---|------|--|--|----------------------------------|-------------------------|-----|
|   |                                      |   |   | 話・聞                                     | 書  | 読 |      |  |  | 【知】                              | 【思】                     | 【主】 |
| 主<br>な<br>学<br>習<br>内<br>容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数 | 2<br>学<br>期<br>（<br>1<br>3<br>週<br>） | 評論Ⅲ<br>【知】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。<br>【思】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。<br>【学】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる。                               | 「経済の論理／環境の倫理」<br>(岩井克人)<br>「遅れてきた「私」」 (若林幹夫)<br><br>「課題発見」 「課題解決」   |   |    |   | 7    | 【知】 「倫理」「信任」など、キーワードの意味を正確に理解している。<br>【思】 本文発表後の地球温暖化防止をめぐる最新の世界情勢を調べたうえで、資料を効果的に用いながら討論している。<br>【主】 環境問題の原因と解決策を考えることで、教材の内容への関心を高めている。<br>【思】 自分の中に存在する「社会」について考察し、全体構成を構想したうえで、800字程度の文章にまとめることができる。  | ワークシート・プリント<br>ノート<br>単元テスト・定期考査   | ● ● ●<br>● ● ●<br>● ● ●          |                         |     |
|   |                                      | 体験と思索Ⅱ<br>【知】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。<br>【思】 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたりかめたりすることが出来るようにする。<br>【学】 我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養う。    | 「アリュージョン、老兵の夢と闇」<br>(星野道夫)<br><br>「課題発見」 「課題解決」   |   |    |   | 3    | 【知】 太平洋戦争中のキスカ島をめぐる日米攻防の経緯を理解している。<br>【思】 ジョージ・アール、菅野豊太郎、ジョージの戦友の三人の言動や生き方から筆者が感じ取ったことを、的確に読み取っている。<br>【主】 日米の老兵たちとの対話から筆者が得たものを確認し、筆者の姿勢から学ぶべき点を、自らのレポート執筆に取り入れようとしている。   | ワークシート・プリント<br>ノート<br>単元テスト・定期考査   | ● ● ●<br>● ● ●<br>● ● ●          |                         |     |
|   |                                      | 〈知〉の深化<br>【知】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。<br>【思】 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたりかめたりすることが出来るようにする。<br>【学】 我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養う。    | 「「社会」の誕生」 (対談)<br><br>「課題発見」 「課題解決」   |   |    |   | 2    | 【知】 対談において主要な内容を語る話者を指摘できるとともに、もう一方の話者が果たしている役割についても理解している。<br>【思】 「社会性」を持つ生物の群れと、ヒトの社会とを区別するものが、「幻想の共有」であることを理解している。<br>【主】 ヒトの社会で共有される「幻想」の例について、自分の経験を通じて考えている。   | ワークシート・プリント<br>ノート<br>単元テスト・定期考査   | ● ● ●<br>● ● ●<br>● ● ●          |                         |     |
|   |                                      | 2学期中間考査   |   |   |    |   |      |  | 1  |                                  |                         |     |
|   |                                      | 評論Ⅳ<br>【知】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。<br>【思】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。<br>【学】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる。                               | 「食の履歴書」 (湯澤規子)<br><br>「課題発見」 「課題解決」   |   |    |   | 4    | 【知】 本文における引用や、挿入されたグラフと、筆者の主張との関係を理解している。<br>【思】 本文の記述に従って、近代から現代にかけての時代をいくつかに分け、それぞれの時代区分における「食」をめぐる問題を整理している。<br>【主】 冒頭の「アンパンマン」の引用から筆者の主張へのつながりを考えることを通じて、教材の内容への関心を高めている。  | ワークシート・プリント<br>ノート<br>単元テスト・定期考査   | ● ● ●<br>● ● ●<br>● ● ●          |                         |     |
|   |                                      | 実社会<br>【知】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。<br>【思】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたりかめたりすることが出来るようにする。<br>【学】 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | 求人票を読む<br>全国高校生「好きな漢字」総選挙<br>「目の見えない人は世界をどう見ているのか」 (伊藤亜紗)<br><br>「課題発見」 「課題解決」 「表現」   |   |    |   | 5    | 【知】 実用的な文章を読み解く際、タイプに応じた手順を踏むことができる。<br>【思】 文章Ⅰ・文章Ⅱを通じて、それぞれの企業の仕事の内容や労働条件を正確に読み取っている。<br>【思】 将来自分が働くことに対する自分なりの展望を持ち、自分が選ばれるだけでなく、自分が職場を選ぶという姿勢について、考えを深めている。<br>【主】 文章Ⅰのキャッチコピーからの連続性、文章Ⅱの内容の双方を考慮しながら、文章Ⅰに添える50字程度のボディコピーを作ることができる。視覚中心となっている空間認識のあり方を相対化して捉える経験を、世界や物事全般を捉える際の姿勢としても生かそうとしている。 | ワークシート・プリント<br>ノート<br>作品作成   | ● ● ●<br>● ● ●<br>● ● ●          |                         |     |
|   |                                      | 評論解析<br>【知】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。<br>【思】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。<br>【学】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる。                              | 「グローバル化と「文脈」」<br>(與那覇潤)<br>「ゆらぎ」 (内山節)<br><br>「課題発見」 「課題解決」   |   |    |   | 3    | 【知】 段落冒頭やその他の接続表現に注目し、前後の文脈や文章構成をつかむ方法を理解している。<br>【思】 指示表現が指す内容を、直前の文に着目しながら正しくつかむ方法を理解している。「一方」という接続表現の働きに着目し、「ハイコンテクストな社会」「ローコンテクストな社会」がそれぞれどのような社会か簡潔に説明できる。<br>【主】 普遍的な価値観を故人の伝記や古典などから探り、今日の社会に存在する様々な問題を解決するヒントがないか探っている。  | ワークシート・プリント<br>ノート<br>単元テスト・定期考査   | ● ● ●<br>● ● ●<br>● ● ●          |                         |     |
|   |                                      | 2学期期末考査   |   |   |    |   |      |  | 1  |                                  |                         |     |
|   |                                      | 学期  | 単元と指導目標   | 指導項目・内容                                 | 領域 |   |      | 配当時間   | 評価規準   | 評価方法                             | 【知】 【思】 【主】             |     |
|   |                                      |   | 評論Ⅴ<br>【知】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。<br>【思】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。<br>【学】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる。 | 「言葉を学ぶとは」 (高田明典)<br><br>「課題発見」 7 「課題解決」 |    |   |      | 3  | 【知】 本文中の比喩表現が指すものを理解している。<br>【思】 言葉を用いる主体としてのあるべき姿勢について、筆者の主張を読み取っている。<br>【主】 言葉を用いる主体としてのあるべき姿勢について、自分なりに考えている。また、考えたことを話し合いを通じて見つめ直し、さらに深めている。 | ワークシート・プリント<br>ノート<br>単元テスト・定期考査 | ● ● ●<br>● ● ●<br>● ● ● |     |

|   |                                 |  |   |   |   |   |   |             |   |   |   |
|---|---------------------------------|--|---|---|---|---|---|-------------|---|---|---|
| 主<br>な<br>学<br>習<br>内<br>容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数 | 3<br>学<br>期<br>（<br>9<br>週<br>） | <p>〈知〉の深化<br/>【知】実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。<br/>【思】他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたりかめたりすることが出来るようにする。<br/>【学】我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>    | <p>「庭」（山本文緒）<br/>現代の短歌十首／俳句十句<br/><br/>「課題発見」「課題解決」</p>               | ● | ● | 5 | <p>【知】本文の場面を時間軸に沿って分類することができる。イギリス旅行の間に、「父」の心中にどのような変化が起こったのかを読み取っている。<br/>【思】全文を音読して、初発の感想をまとめている。短歌の表現技巧を理解している。俳句の表現技巧を理解している。<br/>【主】各歌の中から心に残った表現を選び、その理由を説明することができる。季語、切れ字、取り合わせ、擬人法など、俳句の表現技巧の効果を理解している。</p> | ワークシート・プリント | ● | ● | ● |
|   |                                 | ノート  |   | ● | ● |   |   |             |   |   |   |
|   |                                 | 単元テスト・定期考査   | ●   | ● |   |   |   |             |   |   |   |
|   |                                 | ワークシート・プリント  | ●   | ● | ● |   |   |             |   |   |   |
|   |                                 | ノート  |   | ● | ● |   |   |             |   |   |   |
| 単元テスト・定期考査  | ●                               | ●  |   |   |   |   |   |             |   |   |   |
|   |                                 | <p>評論VI<br/>【知】実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。<br/>【思】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。<br/>【学】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる。</p>                              | <p>歴史は「今・ここ・私」に向かつてはいない（内田樹）<br/><br/>「課題発見」「課題解決」</p>                | ● | ● | 3 | <p>【知】「知的負荷を軽減」「因習的な想像力」「知的禁欲」など、注意を要する表現を正確に理解している。<br/>【思】歴史に対するフーコーの根源的な問いかけに対して、筆者が考えるその答えへの糸口を的確に読み取っている。<br/>【主】歴史を学ぶ意義について考えたり、題名から受ける印象を発表したりするなどして、教材への関心を高めている。</p>                                       | ワークシート・プリント | ● | ● | ● |
| ノート   |                                 | ●  | ●   |   |   |   |   |             |   |   |   |
| 単元テスト・定期考査  | ●                               | ●  |   |   |   |   |   |             |   |   |   |
|   |                                 | <p>実社会<br/>【知】実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。<br/>【思】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたりかめたりすることが出来るようにする。<br/>【学】言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> | <p>パンフレットを作る<br/>新聞記事からバリアフリーを考える<br/><br/>「課題発見」「課題解決」「表現」</p>       | ● | ● | 2 | <p>【知】パンフレットとポスターとは作られる目的や用いられる手法が異なることを理解している。<br/>【思】見せる対象を明確に設定したうえで、情報の重要度や文字数を考慮しながら地域の紹介パンフレットを作成することができる。<br/>【主】実社会におけるパンフレット類なども参考にして、自身の感覚に根ざした効果的な表現のあり方を工夫している。</p>                                     | ワークシート・プリント | ● | ● | ● |
| ノート   |                                 | ●  | ●   |   |   |   |   |             |   |   |   |
| 作品作成  | ●                               | ●  | ●   |   |   |   |   |             |   |   |   |
|   |                                 | <p>評論解析<br/>【知】実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。<br/>【思】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。<br/>【学】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる。</p>                              | <p>「生物多様性と科学」（本川達雄）<br/>「ヒトの「進化」と普遍性」（池澤夏樹）<br/><br/>「課題発見」「課題解決」</p> | ● | ● | 4 | <p>【知】漢字や平仮名の表記の書き分けや「」の使用などの効果的な表現の意図を理解している。<br/>【思】具体例の内容を的確に捉えることは、筆者の抽象的な見解を把握する大きな助けとなることを理解している。<br/>【主】生物学がとるべき立場について、筆者が示す見解の根拠を明らかにすることができる。</p>  | ワークシート・プリント | ● | ● | ● |
| ノート   |                                 | ●  | ●   |   |   |   |   |             |   |   |   |
| 単元テスト・定期考査  | ●                               | ●  |   |   |   |   |   |             |   |   |   |
|   |                                 | 3学期期末考査  |   |   |   | 1 |   |             |   |   |   |

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科          | 地理歴史   | 科目名   | 地理総合  | 対象学年  | 1年   | 単位数           | 2単位 | 観点別評価 |
|-------------|--|---|---|-------|--|---------------|-----|-------|
| 使用教科書       | 「高等学校新地理総合」（帝国書院）  |   |   | 教科担当  | A組：菅原 放<br>B組：菅原 放<br>C組：菅原 放  |               |     |       |
| 補助教材        | 「新詳高等地図」（帝国書院）、「最新地理図表GEO」（第一学習社）、「地理総合演習ノート」（啓隆社）   |   |   |       |  |               |     |       |
| 教科の目標       | <p>【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる今日的な課題の解決に向けての構想力、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する深い理解、他国や多文化主義の考え方を尊重することなどの自覚を深める。</p>   |   |   | 知識・技能 | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度 |     |       |
| 科目の目標       | <p>【知識及び技能】地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】地理に関わる事象の意味や意義、特徴や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国が抱える地理的な諸課題についての関心、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての意識を深める。</p> |   |   |       |  |               |     |       |
| 学期          | 単元と指導目標  | 指導項目・内容   | 配当時間  | 評価規準  | 評価方法   |               |     |       |
| 主な学習内容と授業時数 | 1学期  | <p>地図と地理情報システム</p> <p>【知】現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思】地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学】地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>      | <p>緯度が違う地域の具体的な様子を写真等を使い比較する。時差があることによつてどのようなことに気を付けなくてはいいか、考える。</p> <p>図法によつて正しく表現できる事象とそうでない事象があることを整理する。</p> <p>それぞれの地図の用途を考える。</p> <p>統計地図のそれぞれの特徴をおさえさせ、使用例を考える。</p> <p>絶対分布図と相対分布図の違いを理解する。</p> <p>国家の三要素について理解し、日本の排他的経済水域の特徴をおさえる。</p> <p>日本の領土をめぐる問題と、現在の状況について理解する。</p> <p>現在のロシアとウクライナの問題に触れながら、国際関係、国連が果たす役割、貿易への影響について考える。</p> <p>交通網の発達や技術向上によつて時間距離の短縮が図られたことを理解する。</p> <p>それぞれの交通の特徴をおさえる。</p> <p>世界遺産やエコツーリズム等の普及によつて、多様な観光の形態が生まれていることに気付く。</p> <p>コロナ禍での観光の在り方について模索する。</p> <p>「課題発見」「課題解決」「表現」</p>  | 6     | <p>【知】現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思】地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>   | 発表            | ●   | ●     |
|             | 1学期  | <p>結び付きを深める現代世界</p> <p>【知】人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によつて変容することなどについて理解する。</p> <p>【思】世界の人々の生活文化について、その生活文化の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>  | <p>変動帯のプレート境界で起きる火山活動や地震について特徴を整理する。</p> <p>安定陸塊と変動帯で生きる人々の生活の違いに気付く。</p> <p>河川が作る地形と生活の関わりについて、上・中流域、下流域の違いを整理する。</p> <p>自分たちの住んでいる地域がどの地形に該当するのか、調べる。</p> <p>気候要素について整理をし、大気大循環について理解を深める。</p> <p>気候の人々の生活への影響について、事例をもとに考察する。</p> <p>ケッペンの気候区分について理解し、熱帯地域に暮らす人々の生活の工夫について考察する。</p> <p>乾燥帯という厳しい環境に生きる人々の水を得るための工夫、快適に過ごすための工夫について考察する。</p> <p>4種類ある温帯のそれぞれの特徴を整理し、その環境下で生きる人々の生活の知恵や工夫について考察する。</p> <p>亜寒帯や寒帯の植生や土壌が住環境や食生活に与える影響を考察する。</p> <p>「課題発見」「課題解決」「表現」</p>   | 6     | <p>【知】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によつて変容することなどについて理解している。</p> <p>【思】世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> | 発表            | ●   | ●     |
|             | 1学期  |   | 1学期中間考査   | 1     |  |               |     |       |
|             | 1学期  | <p>生活文化の多様性と国際理解</p> <p>【知】人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によつて変容することなどについて理解する。</p> <p>【思】世界の人々の生活文化について、その生活文化の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p> | <p>オセアニアが太平洋に浮かぶ熱帯の島々と、新期造山帯で西岸海洋性気候のニュージーランド、地域によつて自然環境が異なるオーストラリアに大きく分けられることを知り、それぞれの自然環境について整理をする。</p> <p>オセアニアの国々が自然環境を活かした農業や観光業、鉱産資源を活かした貿易等が盛んであることを知る。</p> <p>季節風(モンスーン)が東南アジアの人々に与える影響を考察する。</p> <p>歴史的な背景から、それぞれの国・地域が信仰している宗教の違いを整理する。</p> <p>東南アジアの気候を活かした農業と、それに関わる人々の生活について考察する。</p> <p>植民地支配が人々の生活に与えた影響について考察する。</p> <p>宗教によつて規定されている人々の生活と、地域による差異について整理する。</p> <p>イスラーム人口の多い中東地域で産出される石油の利益で、人々の生活がどのように変容したかを知る。</p> <p>イスラーム女性の社会進出について意見を交換する。</p> <p>民族宗教としてインドの人々に影響を与えるヒンドゥー教の考え方、制度等について知る。</p> <p>変容するインドの農業や食生活について考察する。</p> <p>「課題発見」「課題解決」「表現」</p> | 12    | <p>【知】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によつて変容することなどについて理解している。</p> <p>【思】世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> | 発表            | ●   | ●     |
|             | 1学期  |   | 1学期期末考査   | 1     |  |               |     |       |

|             | 学期      | 単元と指導目標  | 指導項目・内容  | 配当時間 | 評価規準  | 評価方法   | 【知】 | 【思】 | 【主】 |
|-------------|---------|--|--|------|---|--------|-----|-----|-----|
| 主な学習内容と授業時数 | 2学期     | 生活文化の多様性と国際理解<br>【知】人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。<br>【思】世界の人々の生活文化について、その生活文化の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察する。<br>【学】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 | ラテンアメリカの生活文化に植民地支配の影響が色濃く残っていることを知る。<br>ラテンアメリカの伝統的な農業が植民地支配の影響を受けて成立したものであることを知る。<br>アフリカの民族・生活文化が「北アフリカ」と「サブサハラ(サハラ以南のアフリカ)」に分けられることを知り、それぞれの地域の歴史的背景について理解を深める。<br>特にサブサハラ地域のモノカルチャー経済、経済格差、紛争、民族問題等について問題意識を持ち、原因究明や問題解決に向けて行動する。<br>ロシアの歴史的背景、そこで生きる人々の生活文化について理解を深める。<br>アメリカのICT産業の普及、ヨーロッパの地域統合等が世界やそこで暮らす人々の生活に与える影響について調べる。<br>経済成長著しい中国が世界に与えた影響について考察する。<br>中国国内における人々の生活の変容を捉える。<br>「課題発見」「課題解決」「表現」  | 12   | 【知】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。<br>【思】世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 発表     |     | ●   | ●   |
|             |         |  |  |      |   | ワークシート | ●   | ●   | ●   |
|             | 定期考査    | ●  | ●  | ●    |   |        |     |     |     |
|             | 2学期中間考査 | 1  |  |      |   |        |     |     |     |
| 主な学習内容と授業時数 | 13週     | 地球的課題と国際協力<br>【知】地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。<br>【思】地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。<br>【学】地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。                                   | SDGsの視点から、地球的課題の解決に向けて「今」「私たち」にできることは何なのか考える。<br>世界中で行われている様々な取り組みを知る。<br>地球環境問題が発生している地域の地理的特徴について整理する。<br>その環境問題が発生する自然的・社会的要因を考察し、有用な解決策を模索する。<br>各国のエネルギーの利用の変化をグラフから読み取り、その要因を考察する。<br>各国のエネルギー問題についての取り組みを調べる。<br>発展途上国と先進国で人口ピラミッドがどのように異なるかを読み取り、整理する。<br>発展途上国と先進国の人口問題の解決に必要なものは何か、それぞれ考察する。<br>先進国と発展途上国の食糧問題がどのように関連し合っているかを考察し、解決策を模索する。<br>世界の大都市が分布している地域の特徴を考察する。<br>世界各地で発生する都市問題について理解を深める。<br>グループで関係図にまとめ、第1時～第6時までの問題がどのように関連し合っているのかについて整理する。<br>「課題発見」「課題解決」「表現」          | 12   | 【知】世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。<br>【思】地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主】地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。                    | 発表     |     | ●   | ●   |
|             |         |  |  |      |   | ワークシート | ●   | ●   | ●   |
|             | 定期考査    | ●  | ●  | ●    |   |        |     |     |     |
|             | 2学期期末考査 | 1  |  |      |   |        |     |     |     |
|             | 学期      | 単元と指導目標  | 指導項目・内容  | 配当時間 | 評価規準  | 評価方法   | 【知】 | 【思】 | 【主】 |
| 主な学習内容と授業時数 | 3学期(9週) | 自然環境と防災<br>【知】地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。<br>【思】地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。<br>【学】自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。         | 日本の河川と世界の河川の特徴について整理し、起きやすい災害を考察する。<br>日本各地の気候の違いに着目し、それぞれの地域で起きやすい災害を考察する。<br>海溝型地震と直下型地震の特徴について整理し、過去に起きた震災の被害を確認する。<br>海溝型地震の際に発生する津波の被害が起きやすい地域と起きにくい地域では何が違うのか、考察する。<br>火山の恵みと災害にはどのような種類があるかを整理し、それが日本に住む人々に与える影響について整理する。<br>気象災害の種類を整理し、場所によってどのような違いが生まれるのかを考察する。<br>気象災害に対して行われている取り組みを整理し、その課題を考察する。<br>防災、減災のハード面での対策とソフト面での対策をそれぞれ整理する。<br>被災地への支援について、短期的な支援と長期的な支援に分けて整理をする。<br>身近な生活圏でどのような地理的課題が見られるかを調査するため、文献や新聞記事等を探し研究する。<br>実際に現地調査を行い、調査結果をまとめ、発表をする。<br>「課題発見」「課題解決」「表現」 | 17   | 【知】さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付けている。<br>【思】地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主】自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。             | 発表     |     | ●   | ●   |
|             |         |  |  |      |   | ワークシート | ●   | ●   | ●   |
|             |         |  |  |      |   | 定期考査   | ●   | ●   | ●   |
|             |         | 3学期期末考査  | 1  |      |   |        |     |     |     |

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科          | 地理歴史  | 科目名  | 地理総合 | 対象学年  | 1年                            | 単位数           | 2単位         | 観点別評価       |
|-------------|---|--|------|---|-------------------------------|---------------|-------------|-------------|
| 使用教科書       | 「高等学校新地理総合」（帝国書院）   |  |      | 教科担当  | A組：菅原 放<br>B組：菅原 放<br>C組：菅原 放 |               |             |             |
| 補助教材        | 「新詳高等地図」（帝国書院）、「最新地理図表GEO」（第一学習社）、「地理総合演習ノート」（啓隆社）  |  |      |   |                               |               |             |             |
| 教科の目標       | 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる今日的な課題の解決に向けての構想力、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する深い理解、他国や多文化主義の考え方を尊重することなどの自覚を深める。   |  |      | 知識・技能   | 思考・判断・表現                      | 主体的に学習に取り組む態度 |             |             |
| 科目の目標       | 【知識及び技能】地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】地理に関わる事象の意味や意義、特徴や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国が抱える地理的な諸課題についての関心、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての意識を深める。 |  |      |   |                               |               |             |             |
| 学期          | 単元と指導目標   | 指導項目・内容  | 配当時間 | 評価規準  | 評価方法                          |               |             |             |
| 主な学習内容と授業時数 | 地図と地理情報システム<br>【知】現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。<br>【思】地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。<br>【学】地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。   | 緯度が違う地域の具体的な様子を写真等を使い比較する。時差があることによるどのようなことに気を付けなくてはならないか、考える。<br>図法によって正しく表現できる事象とそうでない事象があることを整理する。<br>それぞれの地図の用途を考える。<br>統計地図のそれぞれの特徴をおさえさせ、使用例を考える。<br>絶対分布図と相対分布図の違いを理解する。<br>国家の三要素について理解し、日本の排他的経済水域の特徴をおさえる。<br>日本の領土をめぐる問題と、現在の状況について理解する。<br>現在のロシアとウクライナの問題に触れながら、国際関係、国連が果たす役割、貿易への影響について考える。<br>交通網の発達や技術向上によって時間距離の短縮が図られたことを理解する。<br>それぞれの交通の特徴をおさえる。<br>世界遺産やエコツーリズム等の普及によって、多様な観光の形態が生まれていることに気付く。<br>コロナ禍での観光の在り方について模索する。<br>「課題発見」「課題解決」「表現」   | 6    | 【知】現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。<br>【思】地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主】地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。                                   | 発表<br><br>ワークシート<br><br>定期考査  | ●<br>●<br>●   | ●<br>●<br>● | ●<br>●<br>● |
|             | 結び付きを深める現代世界<br>【知】人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。<br>【思】世界の人の生活文化について、その生活文化の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察する。<br>【学】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。  | 変動帯のプレート境界で起きる火山活動や地震について特徴を整理する。<br>安定陸塊と変動帯で生きる人々の生活の違いに気付く。<br>河川が作る地形と生活の関わりについて、上・中流域、下流域の違いを整理する。<br>自分たちの住んでいる地域がどの地形に該当するのか、調べる。<br>気候要素について整理をし、大気循環について理解を深める。<br>気候の人々の生活への影響について、事例をもとに考察する。<br>ケッペンの気候区分について理解し、熱帯地域に暮らす人々の生活の工夫について考察する。<br>乾燥帯という厳しい環境に生きる人々の水を得るための工夫、快適に過ごすための工夫について考察する。<br>4種類ある温帯のそれぞれの特徴を整理し、その環境下で生きる人々の生活の知恵や工夫について考察する。<br>亜寒帯や寒帯の植生や土壌が住環境や食生活に与える影響を考察する。<br>「課題発見」「課題解決」「表現」  | 6    | 【知】世界の人の生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。<br>【思】世界の人の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 発表<br><br>ワークシート<br><br>定期考査  | ●<br>●<br>●   | ●<br>●<br>● | ●<br>●<br>● |
|             | 1学期中間考査   |  |      | 1   |                               |               |             |             |
|             | 生活文化の多様性と国際理解<br>【知】人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。<br>【思】世界の人の生活文化について、その生活文化の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察する。<br>【学】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。   | オセアニアが太平洋に浮かぶ熱帯の島々と、新期造山帯で西岸海洋性気候のニュージーランド、地域によって自然環境が異なるオーストラリアに大きく分けられることを知り、それぞれの自然環境について整理をする。<br>オセアニアの国々が自然環境を活かした農業や観光業、鉱産資源を活かした貿易等が盛んであることを知る。<br>季節風(モンスーン)が東南アジアの人々に与える影響を考察する。<br>歴史的な背景から、それぞれの国・地域が信仰している宗教の違いを整理する。<br>東南アジアの気候を活かした農業と、それに関わる人々の生活について考察する。<br>植民地支配が人々の生活に与えた影響について考察する。<br>宗教によって規定されている人々の生活と、地域による差異について整理する。<br>イスラーム人口の多い中東地域で産出される石油の利益で、人々の生活がどのように変容したかを知る。<br>イスラーム女性の社会進出について意見を交換する。<br>民族宗教としてインドの人々に影響を与えるヒンドゥー教の考え方、制度等について知る。<br>変容するインドの農業や食生活について考察する。<br>「課題発見」「課題解決」「表現」 | 12   | 【知】世界の人の生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。<br>【思】世界の人の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 発表<br><br>ワークシート<br><br>定期考査  | ●<br>●<br>●   | ●<br>●<br>● | ●<br>●<br>● |
|             | 1学期期末考査   |  |      | 1   |                               |               |             |             |

|   | 学期          | 単元と指導目標  | 指導項目・内容  | 配当時間 | 評価規準  | 評価方法   | 【知】 | 【思】 | 【主】 |
|---|-------------|--|--|------|---|--------|-----|-----|-----|
| 主<br>な<br>学<br>習<br>内<br>容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数 | 2<br>学<br>期 | 生活文化の多様性と国際理解<br>【知】人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。<br>【思】世界の人々の生活文化について、その生活文化の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察する。<br>【学】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 | ラテンアメリカの生活文化に植民地支配の影響が色濃く残っていることを知る。<br>ラテンアメリカの伝統的な農業が植民地支配の影響を受けて成立したものであることを知る。<br>アフリカの民族・生活文化が「北アフリカ」と「サブサハラ(サハラ以南のアフリカ)」に分けられることを知り、それぞれの地域の歴史的背景について理解を深める。<br>特にサブサハラ地域のモノカルチャー経済、経済格差、紛争、民族問題等について問題意識を持ち、原因究明や問題解決に向けて行動する。<br>ロシアの歴史的背景、そこで生きる人々の生活文化について理解を深める。<br>アメリカのICT産業の普及、ヨーロッパの地域統合等が世界やそこで暮らす人々の生活に与える影響について調べる。<br>経済成長著しい中国が世界に与えた影響について考察する。<br>中国国内における人々の生活の変容を捉える。<br>「課題発見」「課題解決」「表現」  | 12   | 【知】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。<br>【思】世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 | 発表     |     | ●   | ●   |
|   |             |  |  |      |   | ワークシート | ●   | ●   | ●   |
|   | 定期考査        | ●  | ●  | ●    |   |        |     |     |     |
|   | 2学期中間考査     |  |  |      | 1   |        |     |     |     |
| 主<br>な<br>学<br>習<br>内<br>容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数 | 1<br>3<br>週 | 地球的課題と国際協力<br>【知】地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。<br>【思】地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。<br>【学】地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。                                   | SDGsの視点から、地球的課題の解決に向けて「今」「私たち」にできることは何なのかを考える。<br>世界中で行われている様々な取り組みを知る。<br>地球環境問題が発生している地域の地理的特徴について整理する。<br>その環境問題が発生する自然的・社会的要因を考察し、有用な解決策を模索する。<br>各国のエネルギーの利用の変化をグラフから読み取り、その要因を考察する。<br>各国のエネルギー問題についての取り組みを調べる。<br>発展途上国と先進国で人口ピラミッドがどのように異なるかを読み取り、整理する。<br>発展途上国と先進国の人口問題の解決に必要なものは何か、それぞれ考察する。<br>先進国と発展途上国の食糧問題がどのように関連し合っているかを考察し、解決策を模索する。<br>世界の大都市が分布している地域の特徴を考察する。<br>世界各地で発生する都市問題について理解を深める。<br>グループで関係図にまとめ、第1時～第6時までの問題がどのように関連し合っているのかについて整理する。<br>「課題発見」「課題解決」「表現」         | 12   | 【知】世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。<br>【思】地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主】地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。                    | 発表     |     | ●   | ●   |
|   |             |  |  |      |   | ワークシート | ●   | ●   | ●   |
|   | 定期考査        | ●  | ●  | ●    |   |        |     |     |     |
|   | 2学期期末考査     |  |  |      | 1   |        |     |     |     |
|   | 学期          | 単元と指導目標  | 指導項目・内容  | 配当時間 | 評価規準  | 評価方法   | 【知】 | 【思】 | 【主】 |
| 主<br>な<br>学<br>習<br>内<br>容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数 | 3<br>学<br>期 | 自然環境と防災<br>【知】地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。<br>【思】地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。<br>【学】自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。         | 日本の河川と世界の河川の特徴について整理し、起きやすい災害を考察する。<br>日本各地の気候の違いに着目し、それぞれの地域で起きやすい災害を考察する。<br>海溝型地震と直下型地震の特徴について整理し、過去に起きた震災の被害を確認する。<br>海溝型地震の際に発生する津波の被害が起きやすい地域と起きにくい地域では何が違うのか、考察する。<br>火山の恵みと災害にはどのような種類があるかを整理し、それが日本に住む人々に与える影響について整理する。<br>気象災害の種類を整理し、場所によってどのような違いが生まれるのかを考察する。<br>気象災害に対して行われている取り組みを整理し、その課題を考察する。<br>防災、減災のハード面での対策とソフト面での対策をそれぞれ整理する。<br>被災地への支援について、短期的な支援と長期的な支援に分けて整理をする。<br>身近な生活圏でどのような地理的課題が見られるかを調査するため、文献や新聞記事等を探し研究する。<br>実際に現地調査を行い、調査結果をまとめ、発表をする。<br>「課題発見」「課題解決」「表現」 | 17   | 【知】さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付けている。<br>【思】地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【主】自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。             | 発表     |     | ●   | ●   |
|   |             |  |  |      |   | ワークシート | ●   | ●   | ●   |
|   | 定期考査        | ●  | ●  | ●    |   |        |     |     |     |
|   | 3学期期末考査     |  |  |      | 1   |        |     |     |     |

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科          | 地理歴史  | 科目名  | 歴史総合  | 対象学年   | 1年  | 単位数  | 2単位 | 観点別評価         |   |
|-------------|---|--|---|--|---|------|-----|---------------|---|
| 使用教科書       | 「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」（山川出版社）  |  |   | 教科担当   | A組：箱崎 純一<br>B組：箱崎 純一<br>C組：箱崎 純一  |      |     | 主体的に学習に取り組む態度 |   |
| 補助教材        | 「問いからはじまる歴史総合」（とうほう）  |  |   |  |   |      |     |               |   |
| 教科の目標       | 【知識及び技能】身近な事柄が、時間的な推移や空間的な結びつきのなかで歴史と結びつきをもっていることを理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】諸資料や図版などから適切に情報を読み取り、その時代の様子や現代との異同を判断している。<br>【学びに向かう力、人間性等】身近な題材に対して自身で「問い」を立て、歴史との関連を追究しようとしている。  |  |   | 知識・技能  | 思考・判断・表現  |      |     |               |   |
| 科目の目標       | 【知識及び技能】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。<br>【思考力、判断力、表現力等】近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決や視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それをもとに議論したりする力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】愛の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 |  |   |  |   |      |     |               |   |
| 学期          | 単元と指導目標   | 指導項目・内容  | 配当時間  | 評価規準   | 評価方法  |      |     |               |   |
| 主な学習内容と授業時数 | 1学期   | 結びつく世界と日本<br>・18世紀の東アジアにおける社会と経済<br>・貿易が結んだ世界と日本<br>・産業革命<br>・中国の開港と日本の開国  | 18世紀の世界と日本は、どのように結びついていたのか考察することができる。<br>「課題発見」「表現」<br>18世紀から始まる技術革新の波は、世界をどのように変えたのか表現することができる。<br>「課題発見」「課題解決」<br>清の開国と日本の開国によって、東アジアはどのように変わったのか理解することができる。  | 6  | 【知】諸資料から18世紀の東アジアにおける社会と経済の特徴を理解している。<br>諸資料から欧米諸国のアジア進出の背景や意図を読み取り、中国の開港や日本の開国が、人々の生活に与えた影響を理解している。<br>【思】諸資料を読み解くことで、近世の中国社会と経済の特徴を理解している。<br>人・モノ・情報の往来を通して、世界経済のなかで東アジアがより大きな位置を占めるようになったことについて考察している。<br>【主】商業ルートの発達と貿易を組み合わせて理解しようとしている。      | 論述課題 | ●   | ●             | ● |
|             |   |  |   |  | ワークシート  | ●    | ●   | ●             |   |
|             |   |  |   |  |   | 定期考査 | ●   | ●             | ● |
|             | 1学期   | 国民国家と明治維新<br>・市民革命<br>・国民国家とナショナリズム<br>・明治維新<br>・日本の産業革命<br>・帝国主義  | アメリカ独立革命が一つの市民革命であったことを理解する。<br>「表現」「課題解決」<br>ナポレオンとフランス革命の関係について理解する。<br>国民国家の特徴について身分制国家などと対比して理解する。<br>「課題発見」「課題解決」<br>日本の大日本帝国憲法の制定などをもとに、立憲体制と国民国家の形成について理解する。<br>産業革命の成功国との自由貿易ともなう、日本の産業界の変容と再編の過程について理解する。<br>欧米諸国による植民地化の背景や経緯について理解する。  | 6  | 【知】アメリカ独立宣言やフランス人権宣言の資料を読み取り、そこで述べられている政府の存在意義を理解している。<br>【思】国民国家の形成がもたらした影響や課題について考察している。<br>諸資料を読み取りを通して、幕末から明治時代初期の政治や社会の変動について考察し、五箇条の御誓文が、国会開設の出発点となったことを考察している。<br>【主】植民地化の進展について見直しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら研究しようとしている。                  | 論述課題 | ●   | ●             | ● |
|             |   |  |   |  | ワークシート  | ●    | ●   | ●             |   |
|             |   |  |   |  |   | 定期考査 | ●   | ●             | ● |
|             |   | 1学期中間考査  |   |  | 1   |      |     |               |   |
|             | 1学期   | 変容する東アジアの国際秩序<br>・日露戦争と東アジアの変動   | 明治維新後の日本が、外交交渉や国教の画定を通して、主権国家、国民国家の形成をめざしたことについて理解する。<br>「課題発見」「表現」<br>日清戦争後の欧米列強や日本の勢力拡大に対する、清や朝鮮の政府や民衆の動向について理解する。<br>「課題発見」<br>日露戦争後の日本の動向、および韓国の植民地化など東アジアをめぐる国際関係の変容について理解する。  | 6  | 【知】日本が国境の画定、条約改正、国交の締結などの外交交渉を通して、主権国家として近代化をめざしたことについて理解している。<br>【思】諸資料の読み取りを通して、明治初期の諸条約の歴史的意義を考察するとともに、琉球および蝦夷地の日本への編入についても考察している。<br>【主】アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較し、帝国主義政策の特徴や列強間の関係がどのように変化したのかという問いに対して、見直しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追求しようとしている。 | 論述課題 | ●   | ●             | ● |
|             |   |  |   |  | ワークシート  | ●    | ●   | ●             |   |
|             |   |  |   |  |   | 定期考査 | ●   | ●             | ● |
| 1学期         | 総力戦と社会運動<br>・第一次世界大戦の展開<br>・ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭   | 第一次世界大戦がなぜ最初の「大戦」となったのかを理解する。<br>「課題発見」「課題解決」「表現」<br>第一次世界大戦と日本の関わりについて理解する。<br>ロシア革命の経過、および「土地に関する布告」「平和に関する布告」などからわかるボルシェヴィキ政権の性格を理解する。<br>アメリカ合衆国の経済的繁栄と、アメリカ社会に依存した不寛容な傾向について理解する。 | 6   | 【知】諸資料から、第一次世界大戦が当初の予想よりも長期化した要因を理解している。<br>【思】第一次世界大戦の特徴について、それまでの戦争と比較したうえで考察している。<br>【主】第一次世界大戦後の世界におけるソ連とアメリカ合衆国の影響力について、見直しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追求しようとしている。 | 論述課題  | ●    | ●   | ●             |   |
|             |   |  |   | ワークシート   | ●   | ●    | ●   |               |   |
|             |   |  |   |  | 定期考査  | ●    | ●   | ●             |   |
|             | 1学期期末考査   |  |   | 1  |   |      |     |               |   |
| 学期          | 単元と指導目標   | 指導項目・内容  | 配当時間  | 評価規準   | 評価方法  | 【知】  | 【思】 | 【主】           |   |
| 主な学習内容と授業時数 | 2学期   | ヴェルサイユ体制とワシントン体制<br>・世界経済の変容と日本<br>・アジアのナショナリズム<br>・大衆の政治参加<br>・消費社会と大衆文化  | ヴェルサイユ条約の内容(国際連盟の設立とドイツの賠償)、およびその結果としてのドイツの状況について理解する。<br>「課題発見」「課題解決」「表現」<br>第一次世界大戦直前の日本で、貿易赤字など国際収支の危機が続いた理由について理解する。<br>第一次世界大戦後に高揚した朝鮮半島や中国のナショナリズムの在り方やその相違点について理解する。<br>欧米諸国において、工業化の進展により労働運動や社会主義運動が広がり、第一次世界大戦を機に参政権が拡大したことについて理解する。<br>「課題発見」「課題解決」「表現」<br>アメリカ合衆国の大衆消費社会が、マスメディアを通して、生活や文化の平準化や画一化につながったことについて理解する。 | 8  | 【知】総力戦の直接的な影響を受けなかった日米両国が経済成長する要因を理解している。<br>【思】朝鮮半島・中国でのナショナリズムの様相とその相違を考察し、表現している。<br>【主】都市的で画一化した生活様式や、大量生産と大量消費を前提とした大衆文化がどのように発展したのかという問いに対して、学習の見直しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追求しようとしている。   | 論述課題 | ●   | ●             | ● |
|             |   |  |   |  | ワークシート  | ●    | ●   | ●             |   |
|             |   |  |   |  |   | 定期考査 | ●   | ●             | ● |
|             | 2学期   | 経済危機と第二次世界大戦<br>・世界恐慌の時代<br>・ファシズムの伸長と共産主義<br>・日中戦争への道<br>・第二次世界大戦の展開<br>・第二次世界大戦下の社会  | アメリカ合衆国で大恐慌が発生した原因と対策、および世界への波及について理解する。<br>「課題発見」「課題解決」「表現」<br>イタリアやドイツでファシズムが伸長した背景とその特徴について、諸資料の比較・分析を通して理解する。<br>中国国民党が南京国民政府を成立させた経緯と、国際社会、とくに日本や中国共産党との関係について理解する。<br>第二次世界大戦が、大規模かつ凄惨かつ長期化した戦争となった背景とその情勢について理解する。   | 8  | 【知】アメリカ合衆国の大恐慌と、ヨーロッパや日本がどのように結びついているのかについて理解している。<br>【思】ファシズムが伸長した背景とその特徴を、イタリアのムッソリーニ政権とドイツのナチ党政権を比較しつつ考察し、表現している。<br>【主】第二次世界大戦が大規模で凄惨かつ長期化した戦争となった背景と大戦の推移について、学習の見直しをもって取り組むとともに、自身の問いと関連付けて追究している。  | 論述課題 | ●   | ●             | ● |
|             |   |  |   |  | ワークシート  | ●    | ●   | ●             |   |
|             |   |  |   |  |   | 定期考査 | ●   | ●             | ● |
|             |   | 2学期中間考査  |   |  | 1   |      |     |               |   |
|             | 2学期   | 国際連合と国際経済体制<br>・占領と戦後改革<br>・冷戦の始まりと東アジア諸国の童虎<br>日本の独立と日米安全保障条約   | 国際連合の特徴と課題を国際連盟と比較しながら理解する。<br>「課題発見」「表現」<br>占領と戦後改革について、ドイツと日本の事例を比較しながら、その特徴と展開を冷戦体制の文脈に位置付けながら理解する。<br>表面化した冷戦は国際社会にどのような影響を与えたのかを理解する。<br>独立の経緯から、その後の日本に残された課題について理解する。  | 8  | 【知】諸資料から、国際連合の形成過程や目的、その実情や課題を、国際連盟と比較しつつ理解している。<br>【思】・表面化した冷戦が国際社会にどのような形で影響を与え、進展したのかについて考察し、表現している。<br>【主】世界の分断はどのように表面化し進んだのかという問いについて、見直しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追求しようとしている。   | 論述課題 | ●   | ●             | ● |
|             |   |  |   |  | ワークシート  | ●    | ●   | ●             |   |
|             |   |  |   |  |   | 定期考査 | ●   | ●             | ● |
|             | 2学期期末考査   |  |   | 1  |   |      |     |               |   |



| 主<br>な<br>学<br>習<br>内<br>容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数 | 学期                                  | 単元と指導目標  | 指導項目・内容   | 配当<br>時間  | 評価規準  | 評価方法   | 【知】    | 【思】 | 【主】 |   |
|---|-------------------------------------|--|---|---|---|--|--------|-----|-----|---|
|   |                                     |  |   |   |   |  |        |     |     |   |
|   | 3<br>学<br>期<br><br>(<br>9<br>週<br>) | 冷戦と世界経済<br>・冷戦下の地域紛争と脱植民地化<br>・東西陣営の動向と1960年代の社会<br>・軍拡競争から緊張緩和<br>・地域連携の形成と展開<br>・計画経済とその波及<br>・日本の高度経済成長<br>・アジアのなかの戦後日本 | 冷戦が第二次世界大戦後に独立・建国した国々にどのような影響をおよぼしたかを理解する。<br>【課題解決】【表現】<br>東西両陣営の社会がどのように変化したかを、アメリカ合衆国と西ヨーロッパ諸国の関係及びソ連の東ヨーロッパ諸国に対する影響力などを通じて理解する。<br>デタントが崩壊する過程を理解する。<br>【課題発見】【表現】<br>西ヨーロッパ統合の背景と歴史的な過程について理解する。<br>計画経済の特徴とその影響について理解する。<br>東アジア・東南アジアの国々との戦後処理や、国交正常化の経緯や影響について理解する。 | 9   | 【知】 諸資料から、冷戦がアジア・アフリカ諸国に対して与えた影響および冷戦に対するアジア・アフリカ諸国の反応を理解している。<br>【思】 アメリカ合衆国と西ヨーロッパ諸国との関係の変化について考察し、表現している。<br>国際連合の形成過程や目的、その実情や課題を、国際連盟と比較しつつ理解している。<br>【主】 核兵器の開発と抑制の動きの歴史的背景について、見通しをもって課題に取り組むとともに、自身の問いと関連づけながら追究しようとしている。 | 論述課題   | ●      | ●   | ●   |   |
|   |                                     |  |   |   |   | ワークシート   | ●      | ●   | ●   |   |
|   |                                     |  |   |   |   | 定期考査   | ●      | ●   | ●   |   |
|   |                                     |  | 世界秩序の変容と日本<br>・石油危機<br>・アジア諸地域の経済発展<br>・市場開放と経済の自由化<br>・情報技術革命とグローバル化<br>・冷戦の終結とソ連の崩壊<br>・現代の東アジア<br>・東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化<br>・地域統合の拡大と変容<br>・地域紛争と国際社会<br>・現代と私たち  | ドルショックの背景と内容、および影響について理解する。<br>アジアNIESとASEANの成長と展開について理解する。<br>新自由主義の特徴について、イギリスや日本の事例から理解する。<br>【課題発見】【表現】<br>現代の諸課題の形成や課題解決について歴史的経緯をもとに考察する。<br>ソ連の改革と冷戦の終結について理解する。<br>中国で改革・開放路線が採用され急速な経済発展が進み、東アジアにおける地位が変化したことを理解する。<br>東南アジア諸国の民主化の経緯、および日本のPKO活動について理解する。<br>【課題解決】【表現】<br>各地域統合の経済的特徴について理解する。<br>冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。<br>歴史的経緯をふまえて、現代的な諸課題を理解する。 | 8   | 【知】 1973年頃の日本のスーパーマーケットの写真から、なぜこのような状況になったかを理解している。1970年～2000年代にかけてのアジアのGDP推移グラフを読み取ることができる。<br>創作四字熟語がそれぞれ何を意味するのかを理解している。<br>【思】 新自由主義について諸資料を用いながら、その推移の背景にある歴史的対象について考察している。諸資料などを読み取り、各地域統合・自由貿易協定の課題について考察している。<br>【主】 自身の興味・関心に従って主題を選択・設定しようとしている。資料の読み取りや考察の結果などを他者と共有し、追求しようとしている。 | 論述課題   | ●   | ●   | ● |
|   |                                     |  |   |   |   |  | ワークシート | ●   | ●   | ● |
|   |                                     |  |   |   |   |  | 定期考査   | ●   | ●   | ● |
|   |                                     | 3学期期末考査  |   | 1   |   |  |        |     |     |   |

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科                         | 数学  | 科目名  | 数学 I  | 対象学年   | 1年  | 単位数  | 2単位  | 観点別評価 |          |               |   |
|----------------------------|---|--|---|--|---|------|------|-------|----------|---------------|---|
| 使用教科書                      | 「数学 I」（数研出版）  |  |   | 教科担当   | A組：浮葉 翔、粕谷 和宏<br>B組：浮葉 翔、若宮 弘子<br>C組：浮葉 翔、若宮 弘子   |      |      | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |   |
| 補助教材                       | 「サクシード数学 I + A」（数研出版）   |  |   |  |   |      |      |       |          |               |   |
| 教科の目標                      | 【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現で事象を明瞭に表現する力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し活用したり、粘り強く考え、過程を振り返って考えを深めたり評価・改善しようとする態度を養う。                                   |  |   |  |   |      |      |       |          |               |   |
| 科目の目標                      | 【知識及び技能】数と式、2次関数、図形と計量およびデータの分析について、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し活用したり、粘り強く考え、過程を振り返って考えを深めたり評価・改善しようとする態度を養う。 |  |   |  |   |      |      |       |          |               |   |
| 学期                         | 単元と指導目標   | 指導項目・内容  | 配当時間  | 評価規準   |   |      | 評価方法 |       |          |               |   |
| 主な学習内容と授業時数                | 2次関数<br><br>【知】2次関数の定義域を明確にして、その時の関数の値の変化を調べて値域を求めることで、2次関数の最大・最小を求めることができる。<br>【思】2次関数のグラフを利用して、2次不等式の応用問題を解くことができる。<br>【学】粘り強く柔軟に考えることができ、数学的論拠に基づいて判断しようとする。日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとする。   | 2次関数の決定 「課題発見」   | 2   | 【知】2次方程式の解と2次関数のグラフの関係を理解している。<br>【思】2次不等式の解と2次関数のグラフの関係を理解している。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。                                | 小テスト  | ●    | ●    | ●     | ●        | ●             | ● |
|                            |   | 2次方程式<br>グラフと2次方程式   | 4   | 【知】2次方程式の解が2次関数のグラフとx軸との共有点のx座標でとらえられることを理解できる。<br>【思】2次関数の係数の変化に伴うグラフやx軸との共有点の変化について考察できる。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。     | 小テスト  | ●    | ●    | ●     |          |               |   |
|                            |   |  |   |  | 課題・レポート   | ●    | ●    | ●     |          |               |   |
|                            |   |  |   |  | 定期考査  | ●    | ●    | ●     |          |               |   |
|                            |   | グラフと2次不等式  | 4   | 【知】2次不等式の解が2次関数のグラフとx軸との位置関係から求められる。<br>【思】2次関数の係数の変化に伴うグラフやx軸との共有点の変化について考察できる。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。                | 小テスト  | ●    | ●    | ●     |          |               |   |
|                            |   |  |   |  | 課題・レポート   | ●    | ●    | ●     |          |               |   |
|                            |   |  |   |  | 定期考査  | ●    | ●    | ●     |          |               |   |
|                            |   | 数と式<br><br>【知】実数、簡単な無理数の四則計算ができる。集合と命題が理解できている。2次の乗法公式および因数分解が運用できる。不等式の性質、一次不等式の公式が活用できる。<br>【思】命題の証明ができる。式を多面的に捉えたり適切に変形できる。一次不等式を解く方法を理解している。一次不等式を問題に活用できる。<br>【学】粘り強く柔軟に考えることができ、数学的論拠に基づいて判断しようすることができる。 | 集合、命題と条件 「表現」   | 3  | 【知】集合の表現方法を正しく理解し、それを用いて立式できている。<br>【思】命題の真偽を判断し、必要条件と十分条件について考えることができる。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。       | 小テスト | ●    | ●     | ●        |               |   |
|                            |   |  | 命題と証明 「表現」<br>【富士未来学と関連】  | 4  | 【知】逆・裏・対偶の真偽を正しく判断できる。<br>【思】証明では対偶を用いるか、背理法を用いるかを判断し、正しい証明の手順で結論まで論証することができる。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。 | 小テスト | ●    | ●     | ●        |               |   |
|                            | 課題・レポート   |  |   |  |   | ●    | ●    | ●     |          |               |   |
|                            | 1学期中間考査   |  |   | 1  |   |      |      |       |          |               |   |
|                            | 図形と計量<br><br>【知】三角比の定義を理解し、それらの相互関係を利用することができる。正弦定理や余弦定理を導き、これを用いて三角形の辺や角を求めることができる。三角比を利用して、空間図形の計量問題を理解することができる。<br>【思】具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。正弦定理や余弦定理の有用性を理解し、三角比の問題を解くことができる。<br>【学】粘り強く柔軟に考えることができ、数学的論拠に基づいて判断しようとする。日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする。     | 三角比  | 3   | 【知】正弦、余弦および正接を直角三角形の辺の比と角との関係として理解し、活用することができる。<br>【思】具体的な事象について三角比を使って考察することができる。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。              | 小テスト  | ●    | ●    | ●     |          |               |   |
|                            |   | 三角比の相互関係   | 4   | 【知】三角比の相互関係を利用して、1つの三角比から残りの三角比を求めることができる。<br>【思】直角三角形の辺の比から90°-Aの三角比とAの三角比の関係を導く過程を理解することができる。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。 | 小テスト  | ●    | ●    | ●     |          |               |   |
|                            |   |  |   |  | 課題・レポート   | ●    | ●    | ●     |          |               |   |
| 定期考査                       |   |  |   |  | ●   | ●    | ●    |       |          |               |   |
| 三角比の拡張 「課題発見」              |   | 4  | 【知】鈍角まで拡張した三角比の意義を理解している。<br>【思】直線y = mxとx軸の正の向きとのなす角をθとすると、m = tan θであることを理解している。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。 | 小テスト   | ●   | ●    | ●    |       |          |               |   |
|                            |   |  |   | 課題・レポート  | ●   | ●    | ●    |       |          |               |   |
|                            |   |  |   | 定期考査   | ●   | ●    | ●    |       |          |               |   |
| 正弦定理 「課題解決」<br>余弦定理 「課題解決」 |   | 5  | 【知】正弦定理を用いて、辺や角の大きさを求めることができる。<br>余弦定理を用いて、辺や角の大きさを求めることができる。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。                      | 小テスト   | ●   | ●    | ●    |       |          |               |   |
|                            | 課題・レポート   |  |   | ●  | ●   | ●    |      |       |          |               |   |
| 1学期期末考査                    |   |  | 1   |  |   |      |      |       |          |               |   |

| 学期  | 単元と指導目標     | 指導項目・内容  | 配当時間   | 評価規準  | 評価方法  | 【知】     | 【思】 | 【主】 |   |
|---|-------------|--|--|---|---|---------|-----|-----|---|
|   |             |  |  |   |   |         |     |     |   |
| 主<br>な<br>学<br>習<br>内<br>容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数 |             | 正弦定理と余弦定理の応用   | 8  | 【知】 三角形の決定条件が与えられたとき、三角形の残りの要素を求めることができる。<br>【思】 正弦定理・余弦定理を三角形の決定条件と関連づけて活用することができる。<br>【主】 数学の考え方のよさを認識し活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。    | 小テスト  | ●       | ●   | ●   |   |
|   |             |  |  |   | 課題・レポート   |         | ●   | ●   |   |
|   |             |  |  |   | 定期考査  | ●       | ●   | ●   |   |
|   |             | 三角形の面積<br>空間図形の計量  | 8  | 【知】 2辺とその間の角が与えられているとき及び3辺が与えられているときの三角形の面積を求めることができる。<br>【思】 三角比を空間図形の計量の考察に用いることができる。<br>【主】 数学の考え方のよさを認識し活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。 | 小テスト  | ●       | ●   | ●   |   |
|   |             |  |  |   | 課題・レポート   |         | ●   | ●   |   |
|   |             |  |  |   | 定期考査  | ●       | ●   | ●   |   |
|   |             |  | 2学期中間考査  | 1   |   |         |     |     |   |
|   | 2<br>学<br>期 | データの分析<br>【知】 分散、標準偏差、散布図、相関係数の計算の方法について理解する。データを表やグラフに整理、基本的な統計量を求められる。仮説検定の考え方を理解している。<br>【思】 散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察できる。データの収集、分析、特徴を表現できる。主張の妥当性を判断し、批判的に考察できる。<br>【学】 粘り強く柔軟に考えることができ、数学的論拠に基づいて判断しようとする事ができる。 | データの代表値 「課題発見」<br>データの散らばりと四分位範囲<br>【富士未来学と関連】 | 5   | 【知】 四分位数、四分位範囲、四分位偏差などの用語の意味を理解している。<br>【思】 表、図、値などから代表値や四分位数などのデータの特性や法則性を的確にとらえることができる。<br>【主】 数学の考え方のよさを認識し活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。 | 小テスト    | ●   | ●   | ● |
|   |             |  |  |   |   | 課題・レポート |     | ●   | ● |
|   |             |  |  |   |   | 定期考査    | ●   | ●   | ● |
|   |             |  | 分散と標準偏差 「表現」<br>【富士未来学と関連】                     | 5   | 【知】 分散、および標準偏差の値を求めることができる。<br>【思】 データの値を一次変換した場合の分散、標準偏差の値を求めることができる。<br>【主】 数学の考え方のよさを認識し活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。                    | 小テスト    | ●   | ●   | ● |
|   |             |  |  |   |   | 課題・レポート |     | ●   | ● |
|   |             |  |  |   |   | 定期考査    | ●   | ●   | ● |
|   |             |  | データの相関 「表現」<br>【富士未来学と関連】                      | 4   | 【知】 2つの変量の共分散や相関係数を求めることができる。<br>【思】 散布図と相関係数から2つの変量の間の相関関係を考察することができる。<br>【主】 数学の考え方のよさを認識し活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。                   | 小テスト    | ●   | ●   | ● |
|   |             |  |  |   |   | 課題・レポート |     | ●   | ● |
| 定期考査  |             |  |  |   |   | ●       | ●   | ●   |   |
| 仮説検定の考え方 「課題解決」<br>【富士未来学と関連】                       |             |  | 3  | 【知】 帰無仮説や対立仮説について理解している。<br>【思】 推測統計の考え方を理解している。<br>【主】 数学の考え方のよさを認識し活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。  | 小テスト  | ●       | ●   | ●   |   |
|   |             |  |  |   | 課題・レポート   |         | ●   | ●   |   |
|   |             |  |  |   | 定期考査  | ●       | ●   | ●   |   |
|   |             | 2学期期末考査  | 1  |   |   |         |     |     |   |

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科          | 数学   | 科目名  | 数学Ⅱ                                    | 対象学年                | 1年   | 単位数  | 1単位   | 観点別評価 |          |               |   |
|-------------|--|------|--|---------------------|--|--|---|-------|----------|---------------|---|
| 使用教科書       | 「数学Ⅱ」（数研出版）  |      |  | 教科担当                | A組：浮葉 翔、粕谷 和宏<br>B組：浮葉 翔、若宮 弘子<br>C組：浮葉 翔、若宮 弘子  |  |   | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |   |
| 補助教材        | 「サクシード数学Ⅱ+B」（数研出版）   |      |  |                     |  |  |   |       |          |               |   |
| 教科の目標       | 【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統一的・発展的に考察する力、数学的な表現で事象を明瞭に表現する力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し活用したり、粘り強く考え、過程を振り返って考えを深めたり評価・改善しようとする態度を養う。  |      |  |                     |  |  |   |       |          |               |   |
| 科目の目標       | 【知識及び技能】いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微積分の考えについて、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】数の範囲や式の性質に着目し、方程式を用いて図形を考察したり、事象を数学的に考察し、問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し活用したり、粘り強く考え、過程を振り返って考えを深めたり評価・改善しようとする態度を養う。 |      |  |                     |  |  |   |       |          |               |   |
| 学期          | 単元と指導目標  |      | 指導項目・内容                                | 配当時間                | 評価規準   |  | 評価方法  |       |          |               |   |
| 3<br>学<br>期 | 主<br>な<br>学<br>習<br>内<br>容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数  | 式と証明 |  | 3次式の展開と因数分解<br>二項定理 | 3  | 【知】3次の乗法公式や因数分解の公式を利用して、式の展開や因数分解をすることができる。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。 | 小テスト  | ●     | ●        | ●             |   |
|             |  |      |  |                     |  |  | 課題・レポート   |       | ●        | ●             |   |
|             |  |      |  |                     |  |  | 定期考査  | ●     | ●        | ●             |   |
|             |  |      |  |                     | 整式の割り算<br>分数式とその計算   | 3  | 【知】整式の割り算にて商と余りを求めることができる。<br>【知】分数式の四則演算について理解し、計算処理することができる。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。       | 小テスト  | ●        | ●             | ● |
|             |  |      |  |                     |  |  | 課題・レポート   |       | ●        | ●             |   |
|             |  |      |  |                     |  |  | 定期考査  | ●     | ●        | ●             |   |
|             |  |      |  |                     | 恒等式<br>2つの文字についての恒等式   | 2  | 【知】恒等式の意味を理解している。<br>【思】恒等式の係数比較法と数値代入法の違いを理解し、それらを問題に応じて活用することができる。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。 | 小テスト  | ●        | ●             | ● |
|             |  |      |  |                     |  |  | 課題・レポート   |       | ●        | ●             |   |
|             |  |      |  |                     |  |  | 定期考査  | ●     | ●        | ●             |   |
|             |  |      |  |                     | 等式の証明  | 3  | 【知】等式の証明における論証方法について理解している。<br>【思】等式の証明を通して、式を論理的にみることができる。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。          | 小テスト  | ●        | ●             | ● |
|             |  |      |  |                     |  |  | 課題・レポート   |       | ●        | ●             |   |
|             |  |      |  |                     |  |  | 定期考査  | ●     | ●        | ●             |   |
|             |  |      | 不等式の証明                                 | 3                   | 【思】両辺の大小や平方の大小から不等式の証明を適切に記述することができる。<br>相加平均と相乗平均の関係を用いて不等式の証明や式の値の最小へ活用することができる。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。  | 小テスト   | ●   | ●     | ●        |               |   |
|             |  |      |  |                     | 課題・レポート  |  | ●   | ●     |          |               |   |
|             |  |      |  |                     | 定期考査   | ●  | ●   | ●     |          |               |   |
|             |  |      | 複素数<br>2次方程式の解と判別式<br>解と係数の関係          | 4                   | 【知】数を複素数まで拡張する意義を理解し、その四則演算を行うことができる。<br>解の公式を利用して、2次方程式を虚数解も含めて解くことができる。<br>2次方程式の解の意味を理解し、解の求め方についての基礎的な知識を身に付けている。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。                                   | 小テスト   | ●   | ●     | ●        |               |   |
|             |  |      |  |                     | 課題・レポート  |  | ●   | ●     |          |               |   |
|             |  |      |  |                     | 定期考査   | ●  | ●   | ●     |          |               |   |
|             |  |      | 剰余の定理と因数定理<br>組立除法                     | 3                   | 【知】剰余の定理を用いて整式を整式で割ったときの余りを求めることができる。<br>【思】剰余の定理を活用して、剰余の関係式から適切な余りの整式を判断することができる。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。   | 小テスト   | ●   | ●     | ●        |               |   |
|             |  |      |  |                     | 課題・レポート  |  | ●   | ●     |          |               |   |
|             |  |      |  |                     | 定期考査   | ●  | ●   | ●     |          |               |   |
|             |  |      | 高次方程式<br>方程式の解と共役な複素数<br>3次方程式の解と係数の関係 | 4                   | 【知】因数定理を用いて高次方程式を解くことができる。<br>【思】3次方程式の解の持つ性質を理解し、解と係数の関係を用いて式の値を求めることができる。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。   | 小テスト   | ●   | ●     | ●        |               |   |
|             |  |      |  |                     | 課題・レポート  |  | ●   | ●     |          |               |   |
|             |  |      |  |                     | 定期考査   | ●  | ●   | ●     |          |               |   |
|             |  |      | 図形と方程式                                 | 4                   | 【知】数直線上、平面上の内分点、外分点を座標を用いて表すことができる。<br>与えられた条件から直線の方程式を導くことができる。<br>点と直線の距離を求めることができる。<br>【思】三角形や四角形の性質や関係を、座標を用いて考察することができる。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。                           | 小テスト   | ●   | ●     | ●        |               |   |
|             |  |      |  |                     | 課題・レポート  |  | ●   | ●     |          |               |   |
|             |  |      |  |                     | 定期考査   | ●  | ●   | ●     |          |               |   |
|             |  |      | 円の方程式<br>円と直線<br>2つの円                  | 5                   | 【知】いろいろな条件を満たす円の方程式を求めることができる。<br>中心間の距離と半径の和、差から2円の位置関係を考察することができる。<br>【思】2次方程式の判別式や円の中心と直線の距離を用いて、円と直線の位置関係を考察することができる。<br>2円の交点を通る図形の方程式の求め方を理解している。<br>【主】数学の考え方のよさを認識し活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、過程を振り返り評価・改善しようとしている。 | 小テスト   | ●   | ●     | ●        |               |   |
|             |  |      |  |                     | 課題・レポート  |  | ●   | ●     |          |               |   |
|             |  |      |  |                     | 定期考査   | ●  | ●   | ●     |          |               |   |
|             |  |      | 3学期期末考査                                | 1                   |  |  |   |       |          |               |   |



| 学期           | 単元と指導目標      | 指導項目・内容   | 配当時間   | 評価規準   | 評価方法  | 【知】     | 【思】 | 【主】 |   |
|--------------|--------------|---|--|--|---|---------|-----|-----|---|
|              |              |   |  |  |   |         |     |     |   |
| 主な学習内容と授業時数  | 2学期<br>(13週) | 期待値   | 2  | 【知】期待値の定義を理解し、確率の性質などに基づいて期待値を求めることができる。<br>【思】結果が不確実な状況下において、どの選択が合理的かを判断する基準として、期待値の考えを用いて考察することができる。<br>【主】日常の事象における不確実な事柄について判断する際に、期待値を用いて比較し、考察しようとしている。 | 単元テスト   | ●       | ●   | ●   |   |
|              |              | 【富士未来学と関連】<br>データ分析講座Ⅲで扱った期待値と関連させて指導する。  |  |  | 課題・レポート   |         | ●   | ●   |   |
|              |              |   |  |  | 定期考査  | ●       | ●   | ●   |   |
|              |              | 第3章 数学と人間の活動  | 約数と倍数  | 2  | 【知】いろいろな数の倍数の判定法を理解しており、それらを用いて与えられた数について調べることができる。<br>【思】4の倍数の判定法から類推して、8の倍数の判定法を考察することができる。<br>【主】10の倍数以外についての判定法を調べようとしている。                      | 単元テスト   | ●   | ●   | ● |
|              |              |   |  |  |   | 課題・レポート |     | ●   | ● |
|              |              |   |  |  |   | 定期考査    | ●   | ●   | ● |
|              |              |   | 素数と素因数分解   | 3  | 【知】暗号技術に素因数分解の考えが活用されていることを理解している。<br>【思】「エラトステネスのふるい」を使うことによって得られた数字の並びから、素数についてどのようなことが成り立つかを考察することができる。<br>【主】数学史に興味・関心をもち、素数と素因数分解について学ぼうとしている。 | 単元テスト   | ●   | ●   | ● |
|              |              |   |  |  |   | 課題・レポート |     | ●   | ● |
|              |              |   |  |  |   | 定期考査    | ●   | ●   | ● |
|              |              |   | 最大公約数、最小公倍数  | 2  | 【知】素因数分解を利用して最大公約数・最小公倍数を求める方法を理解している。<br>【思】2数の最大公約数、最小公倍数を利用して問題を考察することができる。<br>【主】「干支」という身近な用語について、最小公倍数との関連を見つけて考察しようとしている。                     | 単元テスト   | ●   | ●   | ● |
|              |              |   |  |  |   | 課題・レポート |     | ●   | ● |
|              |              |   |  |  |   | 定期考査    | ●   | ●   | ● |
|              |              |   | 整数の割り算   | 3  | 【知】2つの整数を除数と余りを用いて表し、その和などの余りを求めることができる。<br>【思】問題解決の過程を振り返って、割り算の余りの性質について考察を深めることができる。<br>【主】数学史の話題を通じて、割り算の方法や割り算の余りの性質に興味・関心をもとうとしている。           | 単元テスト   | ●   | ●   | ● |
|              |              |   |  |  |   | 課題・レポート |     | ●   | ● |
|              |              |   |  |  |   | 定期考査    | ●   | ●   | ● |
|              |              | 2学期中間考査   |  |  | 1   |         |     |     |   |
|              |              | 第3章 数学と人間の活動  | ユークリッドの互除法   | 2  | 【知】互除法の原理を理解し、互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。<br>【思】互除法の計算から最大公約数を表す式が導かれることを具体例から一般論に拡張し、考察することができる。<br>【主】互除法の原理の証明に興味・関心をもとうとしている。                    | 単元テスト   | ●   | ●   | ● |
|              |              |   |  |  |   | 課題・レポート |     | ●   | ● |
|              |              |   |  |  |   | 定期考査    | ●   | ●   | ● |
|              |              |   | 1次不定方程式  | 2  | 【知】1次不定方程式の特殊解を求め、それによりすべての整数解を求めることができる。<br>【思】整数に関する問題を、1次不定方程式に帰着させて考察することができる。<br>【主】互除法や割り算の等式を利用して、1次不定方程式の解を求める方法に興味をもち、積極的に活用しようとしている。      | 単元テスト   | ●   | ●   | ● |
|              |              |   |  |  |   | 課題・レポート |     | ●   | ● |
|              |              |   |  |  |   | 定期考査    | ●   | ●   | ● |
|              |              |   | 記数法  | 3  | 【知】n進法の整数を10進法で、10進法の整数をn進法で表すことができる。<br>【思】現代の記数法を古代の記数法と比較し、特徴を説明することができる。<br>【主】数学史の話題を通じて、数の表し方に興味・関心をもとうとしている。                                 | 単元テスト   | ●   | ●   | ● |
|              |              |   |  |  |   | 課題・レポート |     | ●   | ● |
| 定期考査         | ●            |   |  |  |   | ●       | ●   |     |   |
| 座標の考え方       | 2            |   | 【知】平面上の点における考え方を座標空間の点まで広げて考えることができる。<br>【思】座標平面上の点の位置を特定するために、条件から図形の性質に着目し、適切な定理を利用して考察することができる。<br>【主】平面上の点の位置に関する問題を、座標平面上で代数的に解決する解法の高さを知ろうとしている。 | 単元テスト  | ●   | ●       | ●   |     |   |
|              |              |   |  | 課題・レポート  |   | ●       | ●   |     |   |
|              |              |   |  | 定期考査   | ●   | ●       | ●   |     |   |
| ゲーム・パズルの中の数学 | 3            | 【知】ゲームの設定を多面的かつ論理的に考え、ゲームで勝つ方法を導くことができる。<br>【思】ゲームの設定やパズルの仕組みを論理的に考察することができる。<br>【主】ゲームで勝つ方法やパズルの仕組みなどを、論理的に考察しようとしている。 | 単元テスト  | ●  | ●   | ●       |     |     |   |
|              |              |   | 課題・レポート  |  | ●   | ●       |     |     |   |
|              |              |   | 定期考査   | ●  | ●   | ●       |     |     |   |
| 2学期期末考査      |              |   | 1  |  |   |         |     |     |   |

|                       | 学期      | 単元と指導目標   | 指導項目・内容  | 配当時間  | 評価規準  | 評価方法  | 【知】 | 【思】 | 【主】 |
|-----------------------|---------|---|--|-------|---|-------|-----|-----|-----|
| 主な学習内容と授業時数           | 3学期(9週) | 第2章 図形の性質<br>第1節 平面図形<br><br>【知】図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。<br>【思】図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力を養う。<br>【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 | 三角形の辺の比  | 1     | 【知】三角形の角の二等分線に関する性質を理解し、利用できる。<br>【思】図形の性質を証明するのに、既習事項を用いて、論理的に考察することができる。また、適切な補助線を引いて考察することができる。<br>【主】線分を分ける点や、三角形の角の二等分線と比について調べようとしている。                  | 単元テスト | ●   | ●   | ●   |
|                       |         |   | 課題・レポート  | ●     | ●   | ●     |     |     |     |
|                       |         |   | 定期考査   | ●     | ●   | ●     |     |     |     |
|                       |         |   | 三角形の外心、内心、重心   | 2     | 【知】三角形の外心、内心、重心に関する性質や相互関係を証明することができる。<br>【思】図形の性質を証明するのに、間接的な証明法である同一法を適用することができる。<br>【主】三角形の外心、内心、重心に関する性質に興味を示し、積極的に考察しようとしている。                            | 単元テスト | ●   | ●   | ●   |
|                       |         |   | 課題・レポート  | ●     | ●   | ●     |     |     |     |
|                       |         |   | 定期考査   | ●     | ●   | ●     |     |     |     |
|                       |         |   | メネラウスの定理、チェバの定理  | 2     | 【知】チェバの定理、メネラウスの定理を、三角形に現れる線分比や図形の面積比を求める問題に活用できる。<br>【思】チェバの定理、メネラウスの定理について、論理的に考察し、証明することができる。<br>【主】チェバの定理、メネラウスの定理に興味を示し、逆が成り立つことも含め積極的に考察しようとしている。       | 単元テスト | ●   | ●   | ●   |
|                       |         |   | 課題・レポート  | ●     | ●   | ●     |     |     |     |
|                       |         |   | 定期考査   | ●     | ●   | ●     |     |     |     |
|                       |         |   | 円に内接する四角形  | 2     | 【知】円に内接する四角形の性質を利用して、角度を求めたり、円と四角形の性質を証明したりできる。<br>【思】円に内接する四角形の性質について、論理的に考察することができる。<br>【主】三角形の外接円は必ず存在するが、三角形以外の場合には必ずしも存在しないことから、四角形が円に内接する条件を考察しようとしている。 | 単元テスト | ●   | ●   | ●   |
|                       |         |   | 課題・レポート  | ●     | ●   | ●     |     |     |     |
|                       |         |   | 定期考査   | ●     | ●   | ●     |     |     |     |
|                       |         |   | 円と直線   | 2     | 【知】接線と弦の作る角の性質を利用して、角度を求めることができる。<br>【思】接線と弦の作る角についての定理を証明する際に場合分けをしながら考察することができる。<br>【主】接線と弦の作る角についての定理を証明する際に、鋭角の場合と鈍角の場合に分けて考察しようとしている。                    | 単元テスト | ●   | ●   | ●   |
|                       |         |   | 課題・レポート  | ●     | ●   | ●     |     |     |     |
|                       |         |   | 定期考査   | ●     | ●   | ●     |     |     |     |
|                       |         |   | 方べきの定理   | 2     | 【知】方べきの定理を利用して、線分の長さを求めたり、図形の性質を証明したりできる。<br>【思】方べきの定理について、対象とする図形に応じて見方を変えて考えることができる。<br>【主】相似を利用した方べきの定理の導き方に興味・関心をもとうとしている。                                | 単元テスト | ●   | ●   | ●   |
|                       |         |   | 課題・レポート  | ●     | ●   | ●     |     |     |     |
|                       |         |   | 定期考査   | ●     | ●   | ●     |     |     |     |
|                       |         |   | 2つの円の位置関係  | 2     | 【知】2つの円の共通接線の長さを求めることができる。<br>【思】2つの円の位置関係を、動的な面から観察することができる。<br>【主】2つの円の位置関係の判定条件として、中心間の距離と半径の関係について、積極的に考察しようとしている。  | 単元テスト | ●   | ●   | ●   |
|                       |         |   | 課題・レポート  | ●     | ●   | ●     |     |     |     |
|                       |         |   | 定期考査   | ●     | ●   | ●     |     |     |     |
| 作図                    | 1       | 【知】線分の内分点・外分点の作図ができる。<br>【思】平行線と線分の比の性質を利用して、内分点・外分点の作図の方法を考察することができる。<br>【主】数学で扱う作図と、日常において図形をかくことでは、何が違うか考えてみようとしている。   | 単元テスト  | ●     | ●   | ●     |     |     |     |
| 課題・レポート               | ●       | ●   | ●  |       |   |       |     |     |     |
| 定期考査                  | ●       | ●   | ●  |       |   |       |     |     |     |
| 第2章 図形の性質<br>第2節 空間図形 | 1       | 直線と平面   | 【知】空間における2直線の位置関係やなす角を理解している。<br>【思】空間における直線や平面が平行または垂直となるかどうかを、与えられた条件から考察することができる。<br>【主】空間における図形の位置関係について考えてみようとしている。 | 単元テスト | ●   | ●     | ●   |     |     |
| 課題・レポート               |         | ●   | ●  | ●     |   |       |     |     |     |
| 定期考査                  |         | ●   | ●  | ●     |   |       |     |     |     |
| 多面体                   | 2       | 【知】正多面体どうしの関係を利用して、正多面体の体積を求めることができる。<br>【思】多面体から切り取ってできた立体について、特徴などを調べてどのような立体であるかを推定し、実際にその立体であることを証明することができる。<br>【主】オイラーの多面体定理がどんな凸多面体でも成り立つかどうか調べてみようとしている。   | 単元テスト  | ●     | ●   | ●     |     |     |     |
| 課題・レポート               | ●       | ●   | ●  |       |   |       |     |     |     |
| 定期考査                  | ●       | ●   | ●  |       |   |       |     |     |     |
|                       | 1       | 3学期期末考査   |  |       |   |       |     |     |     |

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科  | 理科  | 科目名  | 物理基礎  | 対象学年  | 1年  | 単位数                       | 1単位 | 観点別評価         |   |
|---|---|--|---|---|---|---------------------------|-----|---------------|---|
| 使用教科書   | 「高等学校 物理基礎」（第一学習社）  |  |   | 教科担当  | A組：阿江 伸也<br>B組：阿江 伸也<br>C組：阿江 伸也  |                           |     | 主体的に学習に取り組む態度 |   |
| 補助教材  | 「新課程版 セミナー 物理基礎」（第一学習社）   |  |   |   |   |                           |     |               |   |
| 教科の目標   | 【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。<br>【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。<br>【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。     |  |   | 知識・技能   |   |                           |     |               |   |
| 科目の目標   | 【知識及び技能】日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 |  |   |   |   |                           |     |               |   |
| 学期  | 単元と指導目標   | 指導項目・内容  | 配当時間  | 評価規準  | 評価方法  |                           |     |               |   |
| 主な学習内容と授業時数   | 1学期   | 様々な力とその働き<br>【知】物体に様々な力が働くことを理解する。物体に働く力のつり合いを理解する。<br>【思】物体に一定の力を加え続けたときの運動に関する実験などを行い、物体の質量、物体に働く力、物体に生じる加速度の関係を見だし理解するとともに、運動の三法則を説明することができる。<br>【学】物体が落下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運動との関係について主体的に理解しようとする。  | 様々な力とその働き<br>「課題解決」「表現」   | 3   | 【知】物体にはたらく力を正しく図示することができる。さまざまな状況において、着目した物体の運動方程式を立てることができる。<br>【思】実験を通して、質量と力、加速度の関係をとらえることができる。摩擦係数や圧力など、さまざまな力のはたらき方を正しく判断できる。<br>【学】力と加速度の関係を身近な例において見出し、理解しようとしている。摩擦や浮力、空気抵抗などの身近な力のはたらきを理解しようとしている。   | 課題提出<br>実験レポート提出物<br>期末考査 | ●   | ●             | ● |
|   |   | 1学期中間考査  |   |   |   |                           |     |               |   |
|   | 1学期   | 力学的エネルギー<br>【知】運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解する。<br>【思】力学的エネルギーに関する実験などを行い、力学的エネルギー保存の法則を仕事の関係を説明することができる。<br>【学】仕事とエネルギーの知識をもとに、身の回りの事象を主体的に理解しようとしている。   | 力学的エネルギー<br>「課題発見」「課題解決」「表現」  | 5   | 【知】仕事、運動エネルギー、位置エネルギーなどの値を求めることができる。仕事とエネルギー変化の関係性を理解している。<br>【思】振り子の実験などにおいて、表やグラフを利用し、力学的エネルギーが保存されることについて理解している。<br>【学】仕事とエネルギーの知識をもとに、身の回りの事象を理解しようとしている。   | 課題提出<br>実験レポート提出物<br>期末考査 | ●   | ●             | ● |
|   |   | 運動の表し方<br>【知】身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解する。物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解する。<br>【思】速度が変化する物体の直線運動に関する実験などを行い、速度と時間との関係を見だし理解するとともに、物体が直線運動する場合の加速度について考察することができる。<br>【学】実験を通して、加速度の概念を主体的に理解しようとしている。  | 運動の表し方<br>「表現」  | 3   | 【知】変位、速度、加速度などの運動を表す基本的な物理量を理解している。相対運動のとらえ方、等加速度運動の特徴を理解している。<br>【思】斜面を下る台車の運動の解析などの実験を行い、その結果を考察することができる。相対運動を具体的な事象に適用し、理解できる。<br>【学】実験を通して、加速度という概念の理解を深めようとしている。   | 課題提出<br>実験レポート提出物<br>期末考査 | ●   | ●             | ● |
|   |   | 熱運動と物質の三態<br>【知】熱運動と温度との関係を理解している。セルシウス温度と絶対温度の関係を式を用いて理解している。<br>【思】セルシウス温度と絶対温度の違いを理解し、説明することができる。水を加熱していくときの、物質の状態と構成粒子の熱運動の関係について説明することができる。<br>【学】日常でよく使われる温度と絶対温度との違いを認識し、温度と熱との関係を主体的に考えようとする。  | 熱運動、物質の三態、絶対温度<br>「課題発見」「課題解決」  | 1   | 【知】熱運動と温度との関係を理解している。セルシウス温度と絶対温度の関係を式を用いて理解している。<br>【思】セルシウス温度と絶対温度の違いを理解し、説明することができる。水を加熱していくときの、物質の状態と構成粒子の熱運動の関係について説明することができる。<br>【学】日常でよく使われる温度と絶対温度との違いを認識し、温度と熱との関係を主体的に考えようとする。  | 課題提出<br>実験レポート提出物<br>期末考査 | ●   | ●             | ● |
|   | 1学期期末考査   |  |   | 1   |   |                           |     |               |   |
| 学期  | 単元と指導目標   | 指導項目・内容  | 配当時間  | 評価規準  | 評価方法  | 【知】                       | 【思】 | 【学】           |   |
| 主な学習内容と授業時数   | 2学期   | 熱量の計算<br>【知】熱容量と比熱の関係を学習し、熱量の保存についての式を立てることができる。<br>【思】温度の異なる物体を接触させたときに、熱がどちら向きに移動するかを考察することができる。<br>【学】熱量の計算に前向きに取り組む。   | 熱量の計算<br>「表現」   | 2   | 【知】熱容量と比熱の関係を学習し、熱量の保存についての式を立てることができる。<br>【思】温度の異なる物体を接触させたときに、熱がどちら向きに移動するかを考察することができる。<br>【学】熱量の計算に前向きに取り組む。   | 課題提出<br>実験レポート提出物<br>期末考査 | ●   | ●             | ● |
|   |   | 水熱量計を用いた比熱の測定実験<br>【知】熱量計などを利用する熱量の保存に関する実験について、誤差を小さくするための正しい実験操作を実行できる。<br>【思】比熱と熱容量の違いを理解し、熱量の保存を利用して比熱などの測定をすることができる。<br>【学】熱量の保存を利用した比熱の測定実験において、精度の高い結果を得るために自ら考え、意欲的に取り組んでいる。   | 比熱の測定実験【富士未来学と関連】<br>「課題解決」   | 2   | 【知】熱量計などを利用する熱量の保存に関する実験について、誤差を小さくするための正しい実験操作を実行できる。<br>【思】比熱と熱容量の違いを理解し、熱量の保存を利用して比熱などの測定をすることができる。<br>【学】熱量の保存を利用した比熱の測定実験において、精度の高い結果を得るために自ら考え、意欲的に取り組んでいる。   | 課題提出<br>実験レポート提出物<br>期末考査 | ●   | ●             | ● |
|   | 潜熱と仕事と熱<br>【知】物質の各状態における熱運動のようすを理解し、潜熱を計算することができる。エネルギー保存の法則が常に成り立つことを理解している。<br>【思】小型ポットを振ったときなどの、熱と仕事の関係について考察することができる。<br>【学】熱と仕事の関係について、日常における現象と結びつけて考えようとする。                                    | 潜熱、仕事と熱<br>「課題発見」  | 1   | 【知】物質の各状態における熱運動のようすを理解し、潜熱を計算することができる。エネルギー保存の法則が常に成り立つことを理解している。<br>【思】小型ポットを振ったときなどの、熱と仕事の関係について考察することができる。<br>【学】熱と仕事の関係について、日常における現象と結びつけて考えようとする。 | 課題提出<br>実験レポート提出物<br>期末考査   | ●                         | ●   | ●             |   |
|   | 2学期中間考査   |  |   |   |   |                           |     |               |   |
|   | 1学期   | 熱機関と熱力学第一法則<br>【知】熱力学の第1法則を用いて、内部エネルギーの変化、外部とやりとりする仕事、熱を計算することができる。熱機関のしくみを学び、熱効率を計算することができる。<br>【思】熱機関の基本的なしくみを理解し、その特徴を説明することができる。エネルギーの利用例について、日常のさまざまな事象や現象と結びつけて理解している。<br>【学】熱力学の第1法則の意味を理解し、脱脂綿の発火など、具体的な現象に適用して考察しようとする。エネルギーとその移り変わりについて、日常での利用例と関連させて理解しようとする。 | 熱効率と熱機関、熱力学第一法則<br>「課題発見」「課題解決」「表現」   | 2   | 【知】熱力学の第1法則を用いて、内部エネルギーの変化、外部とやりとりする仕事、熱を計算することができる。熱機関のしくみを学び、熱効率を計算することができる。<br>【思】熱機関の基本的なしくみを理解し、その特徴を説明することができる。エネルギーの利用例について、日常のさまざまな事象や現象と結びつけて理解している。<br>【学】熱力学の第1法則の意味を理解し、脱脂綿の発火など、具体的な現象に適用して考察しようとする。エネルギーとその移り変わりについて、日常での利用例と関連させて理解しようとする。 | 課題提出<br>実験レポート提出物<br>期末考査 | ●   | ●             | ● |
|   |   | 波の基本<br>【知】波と媒質・波の伝わり方を理解する。波の速さや振動数、波長など、基本的な波に関する物理量について理解する。<br>【思】波源や媒質が何かを考察し、波源の振動の仕方によってどのような波の速さがあるのかを考察し、y-xグラフ、y-tグラフの違いを理解し、一方のグラフからもう一方のグラフを描くことができる。<br>【学】さまざまな種類の波があることを理解しようとする。波が伝わるようすを意欲的に観察しようとする。y-xグラフ、y-tグラフを自らの力で描こうと努力している。                     | 波の基本的な変数や性質、進み方、作図<br>「課題発見」「表現」  | 2   | 【知】波と媒質・波の伝わり方を理解している。波の速さや振動数、波長など、基本的な波に関する物理量について理解している。<br>【思】波源や媒質が何かを考察し、波源の振動の仕方によってどのような波の速さがあるのかを考察し、y-xグラフ、y-tグラフの違いを理解し、一方のグラフからもう一方のグラフを描くことができる。<br>【学】さまざまな種類の波があることを理解している。波が伝わるようすを意欲的に観察できる。y-xグラフ、y-tグラフを自らの力で描ける。                      | 課題提出<br>実験レポート提出物<br>期末考査 | ●   | ●             | ● |
| 縦波と横波<br>【知】横波と縦波の定義を理解する。<br>【思】横波、縦波の違いを理解し、縦波を横波のように表示できる。<br>【学】横波、縦波の違いを理解し、縦波をどのようにグラフに表せるかを考えている。  |   | 縦波と横波、縦波の横波表示<br>「課題解決」「表現」  | 1   | 【知】横波と縦波の定義を理解している。<br>【思】横波、縦波の違いを理解し、縦波を横波のように表示できる。<br>【学】横波、縦波の違いを理解し、縦波をどのようにグラフに表せるかを考えている。   | 課題提出<br>実験レポート提出物<br>期末考査   | ●                         | ●   | ●             |   |
| 波の重ね合わせ<br>【知】2つの波が重なりあったときの作図ができる。<br>【思】波の重ねあわせ、波の独立性を踏まえ、2つの波によって生じる波形を表現することができる。<br>【学】波動実験器などを用いた実験において、波が重なるようすや通り過ぎるようすをよく観察し、どのような性質があるかを考察している。 | 波の重ね合わせの原理 作図<br>「表現」   | 2  | 【知】2つの波が重なりあったときの作図ができる。<br>【思】波の重ねあわせ、波の独立性を踏まえ、2つの波によって生じる波形を表現することができる。<br>【学】波動実験器などを用いた実験において、波が重なるようすや通り過ぎるようすをよく観察し、どのような性質があるかを考察できる。 | 課題提出<br>実験レポート提出物<br>期末考査   | ●   | ●                         | ●   |               |   |
| 2学期期末考査   |   |  | 1   |   |   |                           |     |               |   |



| 主<br>な<br>学<br>習<br>内<br>容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数 | 学期   | 単元と指導目標  | 指導項目・内容  | 配当<br>時間   | 評価規準  | 評価方法  | 【知】  | 【思】 | 【主】 |   |
|---|--|--|--|--|---|---|------|-----|-----|---|
|   | 3<br>週   | 定常波  | 【知】定常波ができる条件を理解している。<br>【思】定常波の特徴を踏まえ、進行波の波長や腹、節の位置などを求めることができる。<br>【学】波動実験器などを用いた実験において、波が重なるようすや通り過ぎるようすをよく観察し、どのような性質があるかを考察している。 | 定常波、作図<br>「表現」   | 1   | 【知】定常波ができる条件を理解している。<br>【思】定常波の特徴を踏まえ、進行波の波長や腹、節の位置などを求めることができる。<br>【学】波動実験器などを用いた実験において、波が重なるようすや通り過ぎるようすをよく観察し、どのような性質があるかを考察できる。 | 課題提出 |     |     | ● |
| 実験レポート提出物   |  |  |  |  |   |   |      |     | ●   | ● |
| 期末考査  |  |  |  |  |   |   | ●    | ●   |     |   |
| 反射  |  | 【知】反射の仕方を理解し、反射波の作図をすることができる。<br>【思】自由端、固定端のそれぞれにおいて、正弦波の反射によって定常波が生じることを説明できる。<br>【学】自由端、固定端での反射の仕方を、観察などを通して物理的に説明しようとする。  | 2種類の反射、作図<br>「表現」  | 2  | 【知】反射の仕方を理解し、反射波の作図をすることができる。<br>【思】自由端、固定端のそれぞれにおいて、正弦波の反射によって定常波が生じることを説明できる。<br>【学】自由端、固定端での反射の仕方を、観察などを通して物理的に説明できる。  | 課題提出  |      |     | ●   |   |
|   |  |  |  |  |   | 実験レポート提出物   |      |     | ●   | ● |
|   |  |  |  |  |   | 期末考査  | ●    | ●   |     |   |
| 音波  |  | 【知】音波（疎密波）の音速と気温の関係を式で表す。波形により音の振動数、大きさを比べる。うなりの観測から回数測定する。<br>【思】音の高さ、大きさが音波の波形の何で表されるかを理解する。二つのおんさの振動数からうなりの振動数を求める。<br>【学】現象と結びつけ、音の伝わるようすや音が波であることの特徴を理解しようとする。うなりの観測を通じて、うなりが生じるしくみを主体的に理解しようとする。 | 音の三要素、うなり<br>「課題発見」  | 1  | 【知】音波（疎密波）の音速と気温の関係を式で表すことができる。波形により音の振動数、大きさを比べることができる。うなりの観測から回数を測定することができる。<br>【思】音の高さ、大きさが音波の波形の何で表されるかを理解する。二つのおんさの振動数からうなりの振動数を求めることができる。<br>【学】現象と結びつけ、音の伝わるようすや音が波であることの特徴を理解している。うなりの観測を通じて、うなりが生じるしくみを主体的に理解している。 | 課題提出  |      |     | ●   |   |
|   |  |  |  |  |   | 実験レポート提出物   |      |     | ●   | ● |
|   |  |  |  |  |   | 期末考査  | ●    | ●   |     |   |
| 弦の振動  |  | 【知】弦に生じる定常波の波長や振動数を式で計算する。<br>【思】弦の振動における波長や振動数の関係を式で導く。弦の固有振動数が張力と線密度とどんな関係にあるかを考察する。<br>【学】楽器から出る音のしくみなどに興味をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。弦の固有振動の探究など、積極的に実験活動に取り組んでいる。  | 楽器の分析、弦の振動、n倍振動<br>「課題解決」  | 2  | 【知】弦に生じる定常波の波長や振動数を式で計算することができる。<br>【思】弦の振動における波長や振動数の関係を式で導くことができる。弦の固有振動数が張力と線密度とどのような関係にあるかを考察できる。<br>【学】楽器から出る音のしくみなどに興味をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。弦の固有振動の探究など、積極的に実験活動に取り組んでいる。  | 課題提出  |      |     | ●   |   |
|   |  |  |  |  |   | 実験レポート提出物   |      |     | ●   | ● |
|   |  |  |  |  |   | 期末考査  | ●    | ●   |     |   |
| 気柱の振動   | 【知】気柱が振動するときの定常波の波長や振動数を式で計算することができる。共振、共鳴がおこるしくみを理解する。<br>【思】閉管と開管の違いを理解し、固有振動で生じる波長と振動数の関係を式で導く。気柱共鳴装置を用いた探究などを通じて、おんさの振動数を測定する。<br>【学】気柱共鳴装置を用いた実験に積極的に取り組んでいる。 | 気柱の振動、共鳴実験【富士未来学と関連】<br>「課題解決」   | 2  | 【知】気柱が振動するときの定常波の波長や振動数を式で計算することができる。共振、共鳴がおこるしくみを理解する。<br>【思】閉管と開管の違いを理解し、固有振動で生じる波長と振動数の関係を式で導くことができる。気柱共鳴装置を用いた探究などを通じて、おんさの振動数を測定することができる。<br>【学】気柱共鳴装置を用いた実験に積極的に取り組んでいる。 | 課題提出  |   |      | ●   |     |   |
|   |  |  |  |  | 実験レポート提出物   |   |      | ●   | ●   |   |
|   |  |  |  |  | 期末考査  | ●   | ●    |     |     |   |
|   |  | 3学期期末考査  |  | 1  |   |   |      |     |     |   |

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科          | 理科   | 科目名  | 化学基礎  | 対象学年 | 1年   | 単位数    | 1単位  | 観点別評価 |          |               |
|-------------|--|--|---|------|--|--------|------|-------|----------|---------------|
| 使用教科書       | 「化学基礎 academia」（実教出版）  |  |   | 教科担当 | A組：関 登<br>B組：関 登<br>C組：関 登   |        |      | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 補助教材        | 「スクエア最新図説化学」（第一学習社）<br>「リードα化学基礎+化学」（数研出版）   |  |   |      |  |        |      |       |          |               |
| 教科の目標       | 【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め科学的に探究するために必要な観察、現象などに関する技能を身につける。<br>【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。                    |  |   |      |  |        |      |       |          |               |
| 科目の目標       | 【知識及び技能】日常生活や社会などの関連を図りながら物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。<br>【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、化学的に探究する力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】物質とその変化に主体的に関わり、化学的に探究する態度を養う。 |  |   |      |  |        |      |       |          |               |
|             | 学期   | 単元と指導目標  | 指導項目・内容   | 配当時間 | 評価規準   |        | 評価方法 |       |          |               |
| 主な学習内容と授業時数 | 1学期  | 物質の構成<br>【知】分子運動と物質の三態の関係を理解し、代表的な物質の常温、常圧での状態を理解できる。<br>【思】物質の状態変化が温度や圧力によるものであることを説明できる。<br>【学】電子の状態が物質の性質に大きく寄与していることについて推論しようとしている。                                      | 物質の種類と性質<br>物質と元素<br>物質の三態と熱運動（実験）混合物の分離（実験）硫黄の同素体<br>原子の構成<br>イオンの生成<br>周期表<br>「課題発見」「課題解決」「表現」                                    | 5    | 【知】分子運動と物質の三態との関係から、代表的な物質について、常温、常圧での状態を理解し、知識として身につけている。<br>【思】物質の状態変化は、構成粒子の分子運動に関係し、それが温度や圧力によるものであることを論理的、総合的に判断できる。<br>【主】原子は原子核と電子からなっていて、電子の状態が物質の性質に大きく寄与していることを推論しようとする。   | 実験レポート | ●    | ●     |          |               |
|             |  |  |   |      |  | 提出物    |      | ●     | ●        |               |
|             |  |  |   |      |  | 定期考査   |      | ●     | ●        |               |
|             |  |  | 1学期中間考査   |      |  |        |      |       |          |               |
| 主な学習内容と授業時数 | 13週  | 物質と化学結合<br>【知】イオンからなる物質、金属結合、分子の成り立ちの特徴を理解できる。結合の違いによって物質が区別できることを理解できる。<br>【思】物質の性質を結合の違いによって説明することができる。<br>【学】身近な物質について、結合によって区別し、性質や利用例を日常の事象と関連付けて探究しようとしている。            | イオン結合、イオン結晶<br>共有結合と分子間力<br>共有結合からなる物質<br>金属結合金属<br>物質の分類<br>金属結合からなる物質とその利用<br>イオン結合からなる物質とその利用<br>共有結合からなる物質とその利用<br>「課題発見」「課題解決」 | 7    | 【知】イオンからなる物質の特徴を、代表的な物質から具体的に理解し、知識を身につけている。物質は結合の違いによって区別できることを理解している。分子の成り立ちと特徴を、代表的な物質から具体的に理解し、知識を身につけている。<br>【思】物質の性質は、結合の違いによって異なることを、代表的な物質の性質の比較から推論できる。<br>【主】それぞれの結合とその結晶について、正確に区別し探究しようとする。身近な物質について、結合によって区別し、性質や利用例を日常の事象と関連付けて探究しようとする。         | 提出物    |      | ●     | ●        |               |
|             |  |  |   |      |  | 定期考査   |      | ●     | ●        |               |
|             |  |  |   |      |  |        |      |       |          |               |
|             |  |  | 1学期期末考査   |      |  | 1      |      |       |          |               |
|             | 学期   | 単元と指導目標  | 指導項目・内容   | 配当時間 | 評価規準   |        | 評価方法 | 【知】   | 【思】      | 【主】           |
| 主な学習内容と授業時数 | 2学期  | 物質の変化<br>物質と化学反応式<br>【知】原子量・分子量・式量と物質量の定義を理解し、物質量を用いた基本的な計算ができる。<br>【思】表や図のデータなどから物質の性質を分析できる能力を身につけ、観察、実験の過程や結果や数値的な処理により説明できる。<br>【学】自らの考えを導き出し、主体的に実験計画書を作成したり、発表したりしている。 | 原子量・分子量・式量<br>物質量<br>溶液の濃度<br>化学反応式<br>基本法則に関連した化学史（実験）化学反応の量的関係<br>「課題発見」「課題解決」「表現」  | 6    | 【知】原子量・分子量・式量と物質量の定義を理解し、物質量を用いた基本的な計算ができ、化学変化には一定の量的関係があることを考察できる。また、物質量と溶液の濃度の関係を考察できる。<br>【思】表や図のデータなどから物質の性質を分析できる能力を身につけ、観察、実験の過程や結果および数値的な処理ができる。<br>【主】自らの考えを導き出したり、実験報告書を作成したり、発表しようとする。   | 実験レポート |      | ●     | ●        |               |
|             |  |  |   |      |  | 提出物    |      | ●     | ●        |               |
|             |  |  |   |      |  | 定期考査   |      | ●     | ●        |               |
|             |  |  | 2学期中間考査   |      |  |        |      |       |          |               |
| 主な学習内容と授業時数 | 13週  | 酸と塩基<br>【知】酸・塩基の量的関係から、未知の濃度の酸や塩基の濃度を求めることができる。<br>【思】酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応を考察できる。酸・塩基の強弱とpHの関係を科学的に考察できる。<br>【学】中和滴定の量的関係を主体的に理解しようとしている。                            | 酸と塩基<br>水素イオン濃度とpH<br>中和反応と塩<br>中和滴定<br>（実験）酸の性質<br>（実験）中和滴定<br>「課題発見」「課題解決」「表現」  | 6    | 【知】ここでの特別な実験器具の取り扱いができると同時に、酸・塩基の量的関係から濃度未知の酸や塩基の濃度を求める技能を修得している。<br>【思】酸・塩基の観察、実験をもとに共通性を見出し、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応を考察できる。酸・塩基の強弱とpHの観察、実験などを通して、科学的に考察できる。また、酸・塩基の中和反応についても考察できる。<br>【主】酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応を捉えることができ、さらに中和滴定の量的関係を理解しようとしている。 | 実験レポート |      | ●     | ●        |               |
|             |  |  |   |      |  | 提出物    |      | ●     | ●        |               |
|             |  |  |   |      |  | 定期考査   |      | ●     | ●        |               |
|             |  |  | 2学期期末考査   |      |  | 1      |      |       |          |               |
|             | 学期   | 単元と指導目標  | 指導項目・内容   | 配当時間 | 評価規準   |        | 評価方法 | 【知】   | 【思】      | 【主】           |
| 主な学習内容と授業時数 | 3学期  | 酸化還元<br>【知】電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を理解し、酸化還元反応を理解できる。<br>【思】酸化数の定義の有効性を理解し、酸化還元反応を酸化数の変化から説明することができる。<br>【学】金属のイオン化傾向と反応性の違いについて主体的に理解しようとしている。                                  | 酸化と還元<br>酸化剤と還元剤<br>酸化還元反応の起こりやすさ<br>身の回りの酸化還元反応<br>（実験）酸化還元反応<br>（実験）酸化還元滴定<br>「課題発見」「課題解決」「表現」                                    | 8    | 【知】電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を理解し、知識を身につけている。<br>【思】様々な観察、実験を通して、酸化・還元反応の定義と酸化数の定義の有効性を理解し、共通性を見出し、酸化還元反応として論理的に考察できる。代表的な酸化剤、還元剤の観察、実験の報告書を作成する中で、電子の授受としての規則性を見出し、自らの考えで表現することができる。<br>【主】金属のイオン化傾向とそれによる反応性の違いを理解し、身近に酸化還元反応が利用されていることを知ろうとしている。                  | 実験レポート |      | ●     | ●        |               |
|             |  |  |   |      |  | 提出物    |      | ●     | ●        |               |
|             |  |  |   |      |  | 定期考査   |      | ●     | ●        | ●             |
|             |  |  | 3学期期末考査   |      |  | 1      |      |       |          |               |

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科          | 理科  | 科目名   | 生物基礎  | 対象学年 | 1年   | 単位数        | 1単位 | 観点別評価 |          |               |
|-------------|---|---|---|------|--|------------|-----|-------|----------|---------------|
| 使用教科書       | 「生物基礎」（東京書籍）  |   |   | 教科担当 | A組：吉岡 智春<br>B組：吉岡 智春<br>C組：吉岡 智春   |            |     | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 補助教材        | 「新課程2訂版 スクエア最新図説生物」（第一学習社）<br>「リードLightノート生物基礎」（数研出版）   |   |   |      |  |            |     |       |          |               |
| 教科の目標       | 【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。<br>【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象の中に問題を見だし、見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。<br>【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。         |   |   |      |  |            |     |       |          |               |
| 科目の目標       | 【知識及び技能】日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 |   |   |      |  |            |     |       |          |               |
| 学期          | 単元と指導目標   |   | 指導項目・内容   | 配当時間 | 評価規準   |            |     | 評価方法  |          |               |
| 主な学習内容と授業時数 | 1学期   | 第1編 生物の特徴<br>第2編 遺伝子とその働き<br>第3編 ヒトの体の調節<br>1章 体内環境と情報伝達<br>【知】基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。<br>【思】問題を見出し見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。<br>【学】事物・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 | 第1編・第2編 復習<br>「課題発見」「課題解決」「表現」<br>第3編<br>1章 体内環境と情報伝達<br>1 体内環境<br>「課題発見」「表現」                   | 3    | 【知】ヒトの体の調節について、「体内環境と情報伝達」の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。<br>【思】「体内環境と情報伝達」について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。<br>【主】「体内環境と情報伝達」に関する事物・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。       | 提出物・実験レポート | ●   | ●     | ●        |               |
|             |   | 1学期中間考査   |   |      |  |            |     |       |          |               |
|             |   | 第3編 ヒトの体の調節<br>1章 体内環境と情報伝達<br>【知】基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。<br>【思】問題を見出し見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。<br>【学】事物・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。                              | 1章 体内環境と情報伝達<br>2 神経系による情報伝達<br>3 ホルモンによる情報伝達<br>「課題発見」「表現」<br>4 血糖濃度の調節<br>「課題発見」「課題解決」「表現」    | 9    | 【知】ヒトの体の調節について、「体内環境と情報伝達」の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。<br>【思】「体内環境と情報伝達」について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。<br>【主】「体内環境と情報伝達」に関する事物・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。       | 提出物・実験レポート | ●   | ●     | ●        |               |
|             |   | 1学期期末考査   |   |      | 1  |            |     |       |          |               |
|             |   |   |   |      |  |            |     |       |          |               |
| 学期          | 単元と指導目標   |   | 指導項目・内容   | 配当時間 | 評価規準   |            |     | 評価方法  |          |               |
| 主な学習内容と授業時数 | 2学期   | 第3編 ヒトの体の調節<br>2章 免疫のはたらき<br>【知】基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。<br>【思】問題を見出し見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。<br>【学】事物・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。                                | 2章 免疫のはたらき<br>1 免疫のしくみ<br>2 免疫記憶<br>「課題発見」「表現」<br>3 免疫とさまざまな疾患<br>「課題発見」「課題解決」「表現」              | 6    | 【知】ヒトの体の調節について、「体内環境と情報伝達」の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。<br>【思】「体内環境と情報伝達」について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。<br>【主】「体内環境と情報伝達」に関する事物・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。       | 提出物・実験レポート | ●   | ●     | ●        |               |
|             |   | 2学期中間考査   |   |      |  |            |     |       |          |               |
|             |   | 第4編 生物の多様性と生態系<br>1章 植生と遷移<br>【知】基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。<br>【思】問題を見出し見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。<br>【学】事物・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。                               | 1章 植生と遷移<br>1 植生とその環境<br>2 植生の遷移<br>3 遷移とバイオーム<br>「課題発見」「課題解決」                                  | 6    | 【知】生物の多様性と生態系について、「植生と遷移」の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。<br>【思】「植生と遷移」について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。<br>【主】「植生と遷移」に関する事物・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。                | 提出物・実験レポート | ●   | ●     | ●        |               |
|             |   | 2学期期末考査   |   |      | 1  |            |     |       |          |               |
|             |   |   |   |      |  |            |     |       |          |               |
| 学期          | 単元と指導目標   |   | 指導項目・内容   | 配当時間 | 評価規準   |            |     | 評価方法  |          |               |
| 主な学習内容と授業時数 | 3学期   | 第4編 生物の多様性と生態系<br>2章 生態系と生物の多様性<br>【知】基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。<br>【思】問題を見出し見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現している。<br>【学】事物・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。                          | 2章 生態系と生物の多様性<br>1 生態系における生物の多様性<br>2 生態系における生物間の関係<br>3 生態系と攪乱<br>4 生態系の保全<br>「課題発見」「課題解決」「表現」 | 8    | 【知】生物の多様性と生態系について、「生態系と生物の多様性」の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。<br>【思】「生態系と生物の多様性」について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。<br>【主】「生態系と生物の多様性」に関する事物・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 | 提出物・実験レポート | ●   | ●     | ●        |               |
|             |   | 3学期期末考査   |   |      | 1  |            |     |       |          |               |
|             |   |   |   |      |  |            |     |       |          |               |

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科          | 理科   | 科目名  | 地学基礎   |  | 対象学年   | 1年  | 単位数             | 2単位  | 観点別評価 |          |               |   |
|-------------|--|--|--|--|--|---|-----------------|------|-------|----------|---------------|---|
| 使用教科書       | 「地学基礎」（数研出版）   |  |  |  | 教科担当   | A組：鈴木 晃<br>B組：鈴木 晃<br>C組：鈴木 晃   |                 |      | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |   |
| 補助教材        | 「スクエア最新地学図説」（第一学習社） リードα地学基礎（数研出版）   |  |  |  |  |   |                 |      |       |          |               |   |
| 教科の目標       | 【知識及び技能】自然の事物現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身につける。<br>【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などにより、科学的に探究する力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。  |  |  |  |  |   |                 |      |       |          |               |   |
| 科目の目標       | 【知識及び技能】日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な基本的技術を身につける。<br>【思考力、判断力、表現力等】資料に基づく分析、観察・実験などを通し、科学的に探究する力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】地球や地球を取り巻く環境について主体的に関わり、科学的に探究する態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 |  |  |  |  |   |                 |      |       |          |               |   |
| 単元と指導目標     |  | 指導項目・内容  |  | 配当時間   | 評価規準   |   |                 | 評価方法 |       |          |               |   |
| 主な学習内容と授業時数 | 1学期  | 単元名 活動する地球<br>【知】地球自体及びプレートの動きについて体系的に理解し、理学的に処理する技能を身につける。<br>【思】地球自体及びプレートの動きについて、表などから分析することにより、思考・判断し、表現する力を養う。<br>【学】地球自体及びプレートの動きについて、興味・関心を持つとともに、問題解決の過程を振り返り考察を深める。 | 地球の構造<br>・地球の形と大きさ<br>・地球の構造<br>「課題発見」「表現」<br>プレートの運動<br>・プレートテクトニクスと地学変動<br>・プレートの運動のしかた<br>「課題発見」「課題解決」                                    | 12   | 【知】地球の構造、プレートの運動により地殻変動が起こることが理解できる。<br>【思】資料分析・観察等により、地球の構造、プレートの運動について判断ができる。<br>【主】地殻変動について興味・関心を持ち、グローバルな視野から捉えることができる。        | 中間考査  | ●               | ●    | ●     | ●        | ●             |   |
|             |  |  |  |  |  | 実習レポート<br>課題ノート   | ●               | ●    |       |          |               |   |
|             |  |  |  |  |  | 授業振り返り  |                 |      |       |          |               |   |
|             |  | 1学期中間考査  |  | 1  |  |   |                 |      |       |          |               |   |
|             | 13週  | 単元名 活動する地球<br>【知】地震や火山の仕組みについて理解する。<br>【思】地震や火山に関する資料に基づいて、科学的に探究する力を養う。<br>【学】地震や火山の仕組みについて興味・関心を持ち、災害に備える態度を養う。  | 地震<br>・地震のしくみ<br>・地震の分布<br>・地震災害<br>「課題発見」「課題解決」<br>火山<br>・火山活動<br>・火成岩<br>・火山がもたらす恵みと災害<br>「課題発見」「表現」                                       | 12   | 【知】地震や火山の仕組みについて理解できる。<br>【思】資料分析、実験・観察等により、地震や火山について特徴について表現することができる。<br>【主】地震や火山について興味・関心を持ち、日常生活と結びつけることができる。                   | 期末考査<br>小テスト  | ●               | ●    | ●     | ●        | ●             |   |
|             |  |  |  |  |  | 実習レポート<br>課題ノート   | ●               | ●    |       |          |               |   |
|             |  |  |  |  |  | 授業振り返り  |                 |      |       |          |               |   |
|             |  | 1学期期末考査  |  | 1  |  |   |                 |      |       |          |               |   |
|             | 単元と指導目標  |  | 指導項目・内容  |  | 配当時間   | 評価規準  |                 |      | 評価方法  |          |               |   |
|             | 2学期  | 13週  | 単元名 移り変わる地球<br>【知】地層の形成、古生物の変遷について理解し、組み立てる力を養う。<br>【思】過去の地球について、地球の活動の特徴とをつかみ、歴史的見地から表現することができる。<br>【学】過去の地球について興味・関心を持つとともに、歴史的に捉えることができる。 | 地層の形成<br>・堆積作用と堆積岩<br>・地層の形成構成<br>「課題発見」「課題解決」<br>生物の変遷と地球環境<br>・化石と地質年代の区分<br>・古生物の変遷<br>「課題発見」 | 12   | 【知】地層の形成、古生物の変遷について理解できる。<br>【思】資料分析・観察等により、過去の地球について組み立て、表現することができる。<br>【主】過去の地球について興味・関心を持ち、現在の地球の環境や地殻変動について捉えることができる。 | 中間考査            | ●    | ●     | ●        | ●             | ● |
|             |  |  |  |  |  |   | 実習レポート<br>課題ノート | ●    | ●     |          |               |   |
|             |  |  |  |  |  |   | 授業振り返り          |      |       |          |               |   |
|             |  | 2学期中間考査  |  | 1  |  |   |                 |      |       |          |               |   |
| 13週         |  | 単元名 大気と海洋<br>【知】大気と海洋について、縦の構造及び釣り合いについて理解する。<br>【思】資料や実験・観察に基づいて、大気と海洋について科学的に探究する力を養う。<br>【学】大気と海洋について興味・関心を持ち、日常生活に生かす態度を養う。  | 地球の熱収支<br>・大気の構造<br>・地球全体の熱収支<br>「課題発見」「課題解決」「表現」<br>大気と海水の運動<br>・大気の大循環<br>・海水の運動<br>・日本の天気と気象災害<br>「課題発見」                                  | 12   | 【知】大気と海洋について、構造及び地球規模での釣り合いについて理解できる。<br>【思】資料分析、実験・観察等により、大気と海洋について分析・判断を行い、表現することができる。<br>【主】大気と海洋について興味・関心を持ち、日常生活と結びつけることができる。 | 期末考査<br>小テスト  | ●               | ●    | ●     | ●        | ●             |   |
|             |  |  |  |  |  | 実習レポート<br>課題ノート   | ●               | ●    |       |          |               |   |
|             |  |  |  |  |  | 授業振り返り  |                 |      |       |          |               |   |
|             |  | 2学期期末考査  |  | 1  |  |   |                 |      |       |          |               |   |
| 単元と指導目標     |  | 指導項目・内容  |  | 配当時間   | 評価規準   |   |                 | 評価方法 |       |          |               |   |
| 3学期         |  | 9週   | 単元名 地球の環境<br>【知】地球環境についてその仕組みを理解する力を養う。<br>【思】地球規模の地球環境に関する資料に基づいて、地球環境の変化を判断し、表現することができる。<br>【学】地球環境と人間生活の関わりについて捉えることができる。                 | 地球の環境と日本の自然環境<br>・気候の自然変動<br>・人間活動による環境変化<br>・日本の自然環境<br>「課題発見」「課題解決」                            | 12   | 【知】地球環境について理解できる。<br>【思】資料分析・観察等により、地球環境の変化を判断し表現することができる。<br>【主】地球環境と人間生活との関わりについて、日常生活で生かすことができる。                       | 期末考査            | ●    | ●     | ●        | ●             | ● |
|             |  |  |  |  |  |   | 実習レポート<br>課題ノート | ●    | ●     |          |               |   |
|             |  |  |  |  |  |   | 授業振り返り          |      |       |          |               |   |
|             | 9週   | 単元名 太陽系と宇宙<br>【知】宇宙に関する事物・現象について理解し、実験・観察により技能を身につける。<br>【思】資料や実験・観察に基づいて、宇宙に関する事物・現象について科学的に探究する力を養う。<br>【学】宇宙に関する事物・現象について興味・関心を持ち、日常生活に取り入れる態度を養う。                        | 太陽系と太陽<br>・太陽系の天体<br>・太陽<br>・太陽系の誕生と現在の地球<br>「課題発見」「課題解決」「表現」<br>宇宙の誕生<br>「課題発見」   | 5  | 【知】宇宙に関して、構造及び成り立ちを理解できる。<br>【思】資料分析、実験・観察等により、宇宙に関して分析・判断を行い、表現することができる。<br>【主】宇宙に関して興味・関心を持ち、日常生活の中に生かすことができる。                   | 期末考査<br>小テスト  | ●               | ●    | ●     | ●        | ●             |   |
|             |  |  |  |  |  | 実習レポート<br>課題ノート   | ●               | ●    |       |          |               |   |
|             |  |  |  |  |  | 授業振り返り  |                 |      |       |          |               |   |
|             | 3学期期末考査  |  | 1  |  |  |   |                 |      |       |          |               |   |

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科          | 保健体育  | 科目名  | 体育  | 対象学年  | 1年  | 単位数                   | 2単位         | 観点別評価                              |             |
|-------------|---|--|---|---|---|-----------------------|-------------|------------------------------------|-------------|
| 使用教科書       | 「新高等保健体育」（大修館）  |  |   | 教科担当  | A組、B組、C組<br>：西村 猛、中島 由香里、<br>長 明日香、半谷 亮介、宋 強賢   |                       |             | 知識・技能<br>思考・判断・表現<br>主体的に学習に取り組む態度 |             |
| 補助教材        |   |  |   |   |   |                       |             |                                    |             |
| 教科の目標       | 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しみとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。  |  |   |   |   |                       |             |                                    |             |
| 科目の目標       | 【知識及び技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しみ態度を養う。 |  |   |   |   |                       |             |                                    |             |
| 学期          | 単元と指導目標   | 指導項目・内容  | 配当時間  | 評価規準  | 評価方法  |                       |             |                                    |             |
| 主な学習内容と授業時数 | 1学期   | 球技<br>【知】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。<br>【思】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。<br>【学】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。 | テニス・サッカー・バレーボール・卓球<br>ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をする。<br>ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。<br>チームの課題を解決するための練習方法を見つける。グループ学習をとおして、課題解決に向けた練習に取り組む。<br>「課題発見」「課題解決」「表現」  | 8<br>【知】 球技では、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。<br>体づくり運動では、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。<br>【思】 球技では、攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。<br>体づくり運動では、自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。<br>【主】 球技では、球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保している。 | 提出物<br>実技試験<br>グループ学習   | ●<br>●<br>●           | ●<br>●<br>● | ●<br>●<br>●                        |             |
|             |   | 体づくり運動<br>【知】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。<br>【思】 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。<br>【学】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。   | 体ほぐしの運動・実生活に生かす運動の計画<br>・体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と自主的に関わり合う。<br>・実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組む。<br>「課題発見」「課題解決」「表現」  | 7   | 提出物<br>実技試験<br>グループ学習   | ●<br>●<br>●           | ●<br>●<br>● | ●<br>●<br>●                        |             |
|             |   | 水泳<br>【知】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。<br>【思】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。<br>【学】 生涯にわたって継続して運動に親しみ態度を養う。   | 4泳法<br>スタート・ターン<br>クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。<br>平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする。<br>背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ。<br>バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ。<br>複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをする。  | 4   | 【知】 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。<br>【思】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。<br>【主】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。 | 提出物<br>実技試験<br>グループ学習 | ●<br>●<br>● | ●<br>●<br>●                        | ●<br>●<br>● |
|             |   | 体育理論<br>【知】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。<br>【思】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。<br>【主】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組む。   | スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展<br>スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。<br>現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること。<br>現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められること。<br>スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められること。 | 7   | 【知】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できる。<br>【思】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。<br>【主】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組んでいる。  | 提出物<br>実技試験<br>グループ学習 | ●<br>●<br>● | ●<br>●<br>●                        | ●<br>●<br>● |
|             |   | 1学期期末考査  |   |   |   |                       |             |                                    |             |



令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科          | 保健体育   | 科目名             | 保健                                  | 対象学年 | 1年   | 単位数                    | 1単位 | 観点別評価         |   |  |
|-------------|--|-----------------|-------------------------------------|------|--|------------------------|-----|---------------|---|--|
| 使用教科書       | 「新高等保健体育」（大修館書店）   |                 |                                     | 教科担当 | A組：西村 猛<br>B組：西村 猛<br>C組：西村 猛  |                        |     | 主体的に学習に取り組む態度 |   |  |
| 補助教材        |  |                 |                                     |      |  |                        |     |               |   |  |
| 教科の目標       | 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 |                 |                                     |      |  |                        |     | 知識・技能         |   |  |
| 科目の目標       | 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。            |                 |                                     |      |  |                        |     |               |   |  |
| 学期          | 1  | 単元と指導目標         | 指導項目・内容                             | 配当時間 | 評価規準   | 評価方法                   |     |               |   |  |
| 主な学習内容と授業時数 | 1学期（13週）   | オリエンテーション       | ・年間をとおして学ぶ内容についての理解<br>・評価について      | 1    | 【主】保健の授業について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。   | 定期考査<br>ノート<br>グループワーク |     |               | ● |  |
|             |  | 現代社会と健康         | 日本における健康課題の変遷                       | 5    | 【知】健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br>適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br>健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br>健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。                         | 定期考査<br>ノート<br>グループワーク | ●   | ●             | ● |  |
|             |  | 健康の考え方と成り立ち     | ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり              | 5    | 【思】国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。<br>健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。   | 定期考査<br>ノート<br>グループワーク | ●   | ●             | ● |  |
|             |  | 健康に関する意思決定・行動選択 | 現代における感染症の問題                        | 4    | 【主】健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。<br>【知】感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O 157等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br>感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。 | 定期考査<br>ノート<br>グループワーク | ●   | ●             | ● |  |
|             |  | 感染症の予防          | 感染症の予防                              | 4    | 【思】現代の感染症とその予防について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。<br>感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。   | 定期考査<br>ノート<br>グループワーク | ●   | ●             | ● |  |
|             |  | 性感染症・エイズとその予防   | 性感染症・エイズとその予防<br>【課題解決】 【課題発見】 【表現】 | 4    | 【主】現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。   | 定期考査<br>ノート<br>グループワーク | ●   | ●             | ● |  |
|             |  | 生活習慣病の予防と回復     | 生活習慣病の予防と回復                         | 2    | 【知】生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。<br>【思】生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。   | 定期考査<br>ノート<br>グループワーク | ●   | ●             | ● |  |
|             |  | 身体活動・運動と健康      | 身体活動・運動と健康                          | 2    | 生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。<br>【主】生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。  | 定期考査<br>ノート<br>グループワーク | ●   | ●             | ● |  |
|             |  |                 | 1学期期末考査                             |      | 1  |                        |     |               |   |  |





|                            |         |                |  |         |   |   |   |
|----------------------------|---------|----------------|--|---------|---|---|---|
| 容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数 | ( 9 週 ) | 応急手当の意義と救急医療体制 | 【思】 応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。<br>応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。<br>応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。<br>【知・技】 心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AED などを用いて心肺蘇生法ができる。<br>【主】 応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 | 定期考査    | ● | ● |   |
|                            |         | 心肺蘇生法          |  | ノート     | ● | ● | ● |
|                            |         | 日常的な応急手当       |  | グループワーク |   | ● | ● |
|                            |         | 3学期期末考査        |  | 定期考査    | ● | ● |   |
|                            |         |                |  | ノート     | ● | ● | ● |
|                            |         |                |  | グループワーク |   | ● | ● |
|                            |         |                |  | 定期考査    | ● | ● |   |
|                            |         |                |  | ノート     | ● | ● | ● |
|                            |         |                |  | グループワーク |   | ● | ● |
|                            |         |                |  | 定期考査    | ● | ● |   |

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科          | 芸術  | 科目名   | 音楽 I  | 対象学年 | 1年                                  | 単位数 | 2単位  | 観点別評価  |                       |     |
|-------------|---|---|---|------|-------------------------------------|-----|------|--|-----------------------|-----|
| 使用教科書       | 「高校生音楽」（教育芸術社）  |   |   | 教科担当 | A組：竹田 美佳子<br>B組：竹田 美佳子<br>C組：竹田 美佳子 |     |      | 主体的に学習に取り組む態度<br>思考・判断・表現<br>知識・技能   |                       |     |
| 補助教材        | 「クラス合唱用 MY SONG」（教育芸術社）   |   |   |      |                                     |     |      |  |                       |     |
| 教科の目標       | 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。   |   |   |      |                                     |     |      |  |                       |     |
| 科目の目標       | 【知識及び技能】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。<br>【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。<br>【学びに向かう力、人間性等】音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 |   |   |      |                                     |     |      |  |                       |     |
| 学期          | 単元と指導目標   | 指導項目・内容   | 表現  |      |                                     | 鑑賞  | 配当時間 | 評価規準   | 評価方法                  |     |
|             |   |   | 歌   | 器    | 創                                   |     |      |  |                       |     |
| 主な学習内容と授業時数 | 1学期   | 歌唱「正しい発声、豊かな響き」<br>【知】曲想と歌詞との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。<br>【思】音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。<br>【学】正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに興味をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む、音楽を愛好する心情を養う。  | 歌うときの姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方に注意して、音楽表現を工夫して歌唱する<br>歌詞の内容を深く捉え、曲想との関わりを理解し、曲のもつ雰囲気や味わいを理解して歌唱する<br>旋律の特徴や言葉の抑揚を理解してイメージに合った表現を工夫する<br>「課題発見」「課題解決」「表現」 | ●    |                                     |     | 4    | 【知】曲想と歌詞との関わりについて理解することができる。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表することができる。<br>【思】音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。<br>【学】正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに興味をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。  | プリント提出<br>観察          | ●●● |
|             |   | 歌唱「日本語の響き、歌詞や背景の理解」<br>【知】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。<br>【思】音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。<br>【主】歌詞の内容や曲の背景に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。   | 鼻濁音や s 音、t 音などの子音に注意し、日本語の美しい発音に留意して歌う<br>歌詞の内容を理解し、作曲者の強弱の指示をもとに、ふさわしい表現を工夫して歌う<br>「課題発見」「課題解決」「表現」  | ●    |                                     |     | 6    | 【知】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解することができる。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表することができる。<br>【思】音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。<br>【主】歌詞の内容や曲の背景に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。   | プリント提出<br>実技テスト<br>観察 | ●●● |
|             | 13週   | 鑑賞「音楽とは」<br>【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。<br>【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。<br>【主】さまざまな音や音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。  | 身の回りのさまざまな音を聴いて、自分の考える音楽のイメージに当てはまるかどうかを考える<br>音楽の目的や、「音楽とは何か」を考える<br>《4分33秒》を体験したあとで、音楽についてもう一度話し合う<br>「課題発見」「課題解決」「表現」                      |      |                                     | ●   | 4    | 【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解することができる。<br>【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。<br>【主】さまざまな音や音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。  | プリント提出<br>観察          | ●●● |
|             |   | 歌唱「詩にふさわしい表現」<br>【知】曲想や歌詞の内容や表現上の効果との関わりについて、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表す。<br>【思】音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴き、どのように歌うかについて表現意図をもつ。<br>【主】歌詞の内容と作詞者と作曲者の思いに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。  | 歌詞の内容、各楽章の関連や位置付けを理解する<br>〈大地讃頌〉に込められた思いを考える<br>オーケストラ版とピアノ伴奏版の〈大地讃頌〉の表現の違いを踏まえて合唱表現を工夫する<br>「課題発見」「課題解決」「表現」                                 | ●    |                                     |     | 6    | 【知】曲想や歌詞の内容や表現上の効果との関わりについて、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解することができる。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。<br>【思】音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴き、どのように歌うかについて表現意図をもっている。<br>【主】歌詞の内容と作詞者と作曲者の思いに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。  | プリント提出<br>実技テスト<br>観察 | ●●● |
|             | 1学期期末考査   | 創作「コード進行と創作」<br>【知】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。<br>・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能、及び旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付け、創作で表す。<br>【思】音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもつ。<br>【主】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。 | コードの構成音をもとに音の組み合わせ方やつなげ方を試しながら、自分の表したいイメージに合うメロディーをつくる<br>反復、変化などの手法を用いてメロディーをつくったり、つくったメロディーにもう一つのメロディーを重ねたりする技能を身に付ける<br>「課題発見」「課題解決」「表現」   |      |                                     | ●   | 6    | 【知】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解することができる。<br>・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能、及び旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付け、創作で表すことができる。<br>【思】音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。<br>【主】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 | プリント提出<br>観察<br>作品提出  | ●●● |



|  |  |          |  |  |  |  |  |  |
|--|--|----------|--|--|--|--|--|--|
|  |  | 3 学期期末考查 |  |  |  |  |  |  |
|--|--|----------|--|--|--|--|--|--|

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科          | 芸術  |  | 科目名   | 美術 I |   | 対象学年 | 1年       | 単位数  | 2単位  | 観点別評価 |          |               |     |
|-------------|---|--|---|------|---|------|----------|--|--|-------|----------|---------------|-----|
| 使用教科書       | 「美術1」（光村図書出版）   |  |   |      |   | 教科担当 | A組：川崎 愛子 | B組：川崎 愛子   | C組：川崎 愛子   | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |     |
| 補助教材        |   |  |   |      |   |      |          |  |  |       |          |               |     |
| 教科の目標       | 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。 |  |   |      |   |      |          |  |  |       |          |               |     |
| 科目の目標       | 【知識及び技能】美術史、画材等の基本的な知識を身につける。<br>【思考力、判断力、表現力等】美術史や画材等の知識を生かし何をどのように表現するか試行錯誤する。<br>【学びに向かう力、人間性等】美術の知識や経験を生活に取り入れ豊かな心の在り方に努める。   |  |   |      |   |      |          |  |  |       |          |               |     |
|             | 学期  | 単元と指導目標  | 指導項目・内容   | 表現   |   |      | 鑑賞       | 配当時間   | 評価規準   | 評価方法  | 【知】      | 【思】           | 【主】 |
|             |   |  |   | 絵・彫  | デ | 映    |          |  |  |       |          |               |     |
| 主な学習内容と授業時数 | 1学期   | 絵画 素描<br>【知】描画材料の扱い方、基本的な描写方法を身につける。<br>【思】対象物をよく観察してできるだけ正確に描く。<br>【主】完成度を高める。              | 陰影をつける方法を学び立体的な表現をする。<br>物を観察することで形や構造をできるだけ正確にとらえる。<br>「課題発見」「表現」                | ●    |   |      |          | 6  | 【知】描画材料の扱い方、基本的な描写方法をができる<br>【思】対象物をよく観察してできるだけ正確に描ける。<br>【主】完成度を高めたか。                   | 提出物   | ●        | ●             |     |
|             |   | 1学期中間考査  |   |      |   |      |          |  |  |       |          |               |     |
|             | 3週  | 絵画 遠近法<br>【知】美術史上の様々な奥行き表現を理解する。<br>【思】一点透視図法やその他の奥行き表現を用いて奥行きのある描写をすることができる。<br>【主】完成度を高める。 | 絵画に使われている様々な奥行き表現を知る。<br>遠近法に着目して様々な絵画を鑑賞する。<br>透視図法を用いて奥行きを表現する。<br>「課題発見」「課題解決」 | ●    |   |      |          | 10   | 【知】美術史上の様々な奥行き表現を理解している。<br>【思】一点透視図法やその他の奥行き表現を用いて奥行きのある描写をすることができるか。<br>【主】完成度を高めたか。   | 提出物   | ●        | ●             | ●   |
|             |   | 鑑賞<br>【知】模写した作品の内容や作者について調べレポート用紙にまとめる。<br>【思】作品の描かれ方を考えながら丁寧に絵画を模写する。<br>【主】完成度を高める。        | 彩色材料を用いて名画を丁寧に模写する。<br>作品や作家について調べまとめる。<br>「課題発見」「表現」                             |      |   |      | ●        | 10   | 【知】模写した作品の内容や作者について調べレポート用紙にまとめることができた。<br>【思】作品の描かれ方を考えながら丁寧に絵画を模写ができる。<br>【主】完成度を高めたか。 | 提出物   | ●        | ●             | ●   |
| 1学期期末考査     |   |  |   |      |   |      |          |  |  |       |          |               |     |
| 主な学習内容と授業時数 | 2学期   | デザイン 平面構成<br>【知】基本的な色彩理論を理解する。<br>【思】デザインや絵画の分野でそれがどのように用いられているか鑑賞する。                        | 色彩についての基本的知識を学ぶ。<br>「課題発見」「課題解決」  |      |   |      | ●        | 2  | 【知】基本的な色彩理論を理解したか。<br>【思】デザインや絵画の分野でそれがどのように用いられているか考察できたか。                              | 提出物   | ●        | ●             |     |
|             |   | 【知】正多角形等の図形を描く。<br>【思】色と形を組み合わせイメージを伝える。<br>【主】彩色材料の特徴を理解し丁寧に仕上げる。                           | 幾何的な形を使った色面を構成しテーマを伝える。<br>水彩絵具等を使い平塗り等の色彩方法を学ぶ。<br>「課題発見」「表現」                    |      |   |      | ●        | 10   | 【知】正多角形等の図形を描くことができる。<br>【思】色と形を組み合わせイメージを伝えることに努めたか。<br>【主】彩色材料の特徴を理解し丁寧に仕上がったか。        | 提出物   | ●        | ●             | ●   |
|             | デザイン 製図<br>【知】製図の考え方、作成の方法を理解する。<br>【知】三面図から立体図を描く。<br>【知】立体を三面図で表す。  | 製図の基本的な考え方を学ぶ。<br>三面図から立体を予想する。<br>立体を三面図で表す。<br>「課題発見」「課題解決」                                |   |      |   | ●    | 2        | 【知】製図の考え方、作成の方法を理解できたか。<br>【知】三面図から立体図を描くことができる。<br>【知】立体を三面図で表すことができる。                    | 提出物  | ●     |          |               |     |
|             | デザイン 三面図<br>【知】図面の決まりを確認し正しい三面図を作成する。<br>【思】用途を考え機能性を満たすデザインにする。<br>【主】身の回りに置く物として美意識を持ってデザインする。  | ペーパーウェイトのデザインを考案し三面図を作成する。<br>「課題発見」「表現」   |   |      |   | ●    | 4        | 【知】図面の決まりを確認し正しい三面図を作成できたか。<br>【思】用途を考え機能性を満たすデザインにできたか。<br>【主】身の回りに置く物として美意識を持ってデザインできたか。 | 提出物  | ●     | ●        | ●             |     |
|             | デザイン 立体<br>【知】粘土を使って三面図を参考にペーパーウェイトを作る。<br>【思】機能性と美意識の両立した作品を作る。<br>【主】高い完成度を目指す。   | 粘土を使ってペーパーウェイトを作る。<br>「課題発見」「表現」   |   |      |   | ●    | 8        | 【知】粘土を使って三面図を参考にペーパーウェイトを完成することができたか。<br>【思】機能性と美意識の両立した作品になったか。<br>【主】高い完成度になったか。         | 提出物  | ●     | ●        | ●             |     |
|             | 2学期期末考査   |  |   |      |   |      |          |  |  |       |          |               |     |
| 主な学習内容と授業時数 | 3学期   | 抽象表現<br>【知】美術史の流れを理解し抽象的表現について考察する。  | 美術史上の抽象表現についての知識を深める。<br>抽象表現の様々な方法を知る。<br>「課題発見」                                 | ●    |   |      |          | 4  | 【知】美術史の流れを理解し抽象的表現について考察できたか。  | 提出物   | ●        | ●             | ●   |
|             |   | 【知】抽象的な表現の技法や考え方を学び様々な方法で描く。   | 様々な方法の抽象的表現を試みる。<br>「課題発見」「表現」  | ●    |   |      |          | 6  | 【知】抽象的な表現の技法や考え方を学び様々な方法で描くことができたか。  | 提出物   | ●        |               |     |
|             |   | 【思】自分に合った画材を使い抽象的な作品を描く。<br>【主】完成度を高める。  | 抽象的な絵画を制作する。<br>「課題発見」「表現」  | ●    |   |      |          | 8  | 【思】自分に合った画材を使い抽象的な作品をに仕上げるのができたか。<br>【主】高い完成度を目指したか。                                     | 提出物   |          | ●             | ●   |

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科  | 芸術  |  | 科目名  | 書道 I |   | 対象学年    | 1学年     |      | 単位数   | 2                     |  | 観点別評価 |          |               |
|---|---|--|--|------|---|---------|---------|------|---|-----------------------|--|-------|----------|---------------|
| 使用教科書   | 「書道 I」（教育図書）  |  |  |      |   | 教科担当    | C組：嘉瀬和雄 |      |   |                       |  | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 補助教材  |   |  |  |      |   |         |         |      |   |                       |  |       |          |               |
| 教科の目標   | 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。 |  |  |      |   | C組：嘉瀬和雄 |         |      |   |                       |  | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 科目の目標   | 【知識及び技能】書の特質を理解し、用具・用材の特徴と用筆・運筆の関係性を実技を通して体得する。<br>【思考力、判断力、表現力等】体得した知識・技能を活かし深い鑑賞力を身につけ、構想に対する表現の工夫や分析的な思考をより深くする。<br>【学びに向かう力、人間性等】自身の活動を振り返り、見直しを立てながら試行錯誤を繰り返し、粘り強く取り組む姿勢を身につける。                      |  |  |      |   |         |         |      |   |                       |  |       |          |               |
|   | 学期  | 単元と指導目標  | 指導項目・内容  | 表現   |   |         | 鑑賞      | 配当時間 | 評価規準  | 評価方法                  |  |       |          |               |
|   |   |  |  | 漢    | 漢 | 仮       |         |      |   |                       |  |       |          |               |
| 主<br>な<br>学<br>習<br>内<br>容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数 | 1<br>学<br>期<br>（<br>3<br>週）   | オリエンテーション<br>【知】芸術書道を学習するために書道全般の基礎知識の確認と理解を深める。<br>【思】古典を観察・臨書することで、芸術的視野を広げる。<br>【学】丁寧に正確な籠字をとる。             | 芸術・書道を考える<br>学習内容と用具・用材の基礎知識<br>幅広い古典の鑑賞と籠字取りによる造形の観察と鑑賞。<br>「課題発見」「課題解決」「表現」  |      |   |         |         | 2    | 【知】用具・用材の的確な知識を身に付けている。<br>【思】古典を純粋に鑑賞できる。<br>【主】丁寧に観察し、正確に籠字を取ろうとしている。                                       | 観察<br>アンケート<br>学習プリント |  |       |          |               |
|   |   | 書体の変遷<br>漢字の基礎知識<br>【知】書体の変遷、筆順、部首を知る。<br>【思】筆順と文字造形の関連を理解し、その合理性を考える。<br>【学】訂正箇所を見つけ出し、丁寧に                    | 書体の流れとその歴史背景との関連<br>筆順の大原則・特例・由来及び筆順と文字造形の関連について<br>「課題発見」「課題解決」               |      |   |         |         | 2    | 【知】漢字五書体と仮名の流れをつかむことができる。<br>【思】筆順の正誤の確認と原則・例外を習得している。文字造形における筆順の意味を知り、習得できる。                                 | 観察<br>学習プリント          |  |       |          |               |
|   |   | 楷書の基本用筆<br>【知】用具・用材の特性と適切な扱い方を知る。<br>【思】用筆を工夫し、線を引く。<br>【学】繰り返し練習し、用筆に体得に努める。                                  | 用筆・運筆法の理解、基本点画（縦画・横画・左右払い・転折・接筆）<br>「課題発見」「課題解決」「表現」                           |      |   |         |         | 8    | 【知】用具・用材取り扱いが適切にできる。<br>【思】指示された用筆・運筆で作品を仕上げるができる。<br>【主】用具・用材を丁寧にに取り扱ったか。自己批評をしながら、練習ができる。                   | 観察<br>作品              |  |       |          |               |
|   |   | 楷書の基本構成<br>【知】楷書の基本構成を知る。<br>【思】構成法を理解し、作品の文字構成に生かす。<br>【学】繰り返し練習し、構成法を実践に努める。                                 | 楷書の基本構成（縦構成の文字）<br>字巾の変化による造形<br>「課題発見」「課題解決」「表現」                              |      |   |         |         | 4    | 【知】縦構成法を理解できる。<br>【思】基本点画をしっかりと引き、基本構成を作品に反映できる。<br>【主】一枚一枚考えながら、丁寧に作成に集中しようとしている。                            | 観察<br>添削<br>作品        |  |       |          |               |
|   |   | 楷書の基本構成と古典 I<br>【知】古典学習の意味を知る。楷書の基本構成を知る。拓本を知る。<br>【思】構成法を理解し、作品の文字構成に生かす。古典の特徴を捉える。<br>【学】繰り返し練習し、構成法を実践に努める。 | 古典の臨書（楷書の成立）<br>蘇孝慈墓誌銘<br>楷書の基本構成（横構成の文字）<br>偏旁の組み合わせによる造形<br>「課題発見」「課題解決」「表現」 |      |   |         |         | 2    | 【知】横構成法を理解できる。<br>【思】作品に古典の特徴に合わせた用筆を反映できる。拓本から背景にある文字造形を想像し、反映できる。<br>【主】一枚一枚考えながら、丁寧に作成に集中しようとしている。         | 観察<br>添削<br>作品        |  |       |          |               |
|   |   | 楷書の古典 II<br>【知】孔子廟堂碑の特徴・内容を知る。<br>【思】用筆・運筆・構成法をよく観察し、古典の特徴を捉える。<br>【学】繰り返し練習し、造形の特徴の表現に努める。                    | 古典の臨書 孔子廟堂碑<br>作者の人物像、作品の成立と時代背景<br>「課題発見」「課題解決」「表現」                           |      |   |         |         | 2    | 【知】作者の人物像、作品の成立の時代背景を理解することができる。<br>【思】用筆・造形法を理解し、古典の特徴をよく観察しうまく表現することができる。<br>【主】一枚一枚考えながら、丁寧に作成に集中しようとしている。 | 観察<br>添削<br>作品        |  |       |          |               |
|   |   | 楷書の古典 III<br>【知】九成宮醴泉銘の特徴・内容を知る。<br>【思】用筆・運筆・構成法をよく観察し古典の特徴を捉える。<br>【学】繰り返し練習し、造形の特徴の表現に努める。                   | 古典の臨書 九成宮醴泉銘<br>作者の人物像、作品の成立と時代背景<br>「課題発見」「課題解決」「表現」                          |      |   |         |         | 2    | 【知】作者の人物像、作品の成立の時代背景を理解することができる。<br>【思】用筆・造形法を理解し、古典の特徴をよく観察しうまく表現することができる。<br>【主】一枚一枚考えながら、丁寧に作成に集中しようとしている。 | 観察<br>添削<br>作品        |  |       |          |               |
|   |   | 楷書の古典 IV<br>【知】牛欄造像記の特徴・内容を知る。<br>【思】用筆・運筆・構成法をよく観察し、古典の特徴を捉える。<br>【学】繰り返し練習し、造形の特徴の表現に努める。                    | 古典の臨書 牛欄造像記<br>作者の人物像、作品の成立と時代背景<br>「課題発見」「課題解決」「表現」                           |      |   |         |         | 2    | 【知】作者の人物像、作品の成立の時代背景を理解することができる。<br>【思】用筆・造形法を理解し、古典の特徴をよく観察しうまく表現することができる。<br>【主】一枚一枚考えながら、丁寧に作成に集中しようとしている。 | 観察<br>添削<br>作品        |  |       |          |               |
|   |   | 楷書の古典 V<br>【知】鄭義下碑の特徴・内容を知る。<br>【思】用筆・運筆・構成法をよく観察し、古典の特徴を捉える。<br>【学】繰り返し練習し、造形の特徴の表現に努める。                      | 古典の臨書 鄭義下碑<br>作者の人物像、作品の成立と時代背景<br>「課題発見」「課題解決」「表現」                            |      |   |         |         | 2    | 【知】作者の人物像、作品の成立の時代背景を理解することができる。<br>【思】用筆・造形法を理解し、古典の特徴をよく観察しうまく表現することができる。<br>【主】一枚一枚考えながら、丁寧に作成に集中しようとしている。 | 観察<br>添削<br>作品        |  |       |          |               |
|   |   | 1学期期末考査  |  |      |   |         |         |      |   |                       |  |       |          |               |

|  | 学期                                      | 単元と指導目標  | 指導項目・内容  | 表現   |  |    | 鑑賞<br>配当時間 | 評価規準   | 評価方法       | 【知】   | 【思】  | 【主】 |     |     |
|--|---|--|--|--|--|----|------------|--|------------|---|------|-----|-----|-----|
|  |   |  |  | 漢<br>仮   | 漢  | 仮  |            |  |            |   |      |     |     |     |
| 主<br>な<br>学<br>習<br>内<br>容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数  | 2<br>学<br>期<br>（<br>1<br>3<br>週<br>）    | 楷書の古典VI<br>【知】雁塔聖教序の特徴・内容を知る。<br>【思】用筆・運筆・構成法をよく観察し、古典の特徴を捉える。<br>【学】繰り返し練習し、造形の特徴の表現に努める。                     | 古典の臨書 雁塔聖教序<br>作者の人物像、作品の成立と時代背景<br>「課題発見」「課題解決」「表現」 |  |  |    | 2          | 【知】作者の人物像、作品の成立の時代背景を理解することができる<br>【思】用筆・造形法を理解し、古典の特徴をよく観察しうまく表現することができる<br>【主】一枚一枚考えながら、丁寧に作成に集中しようとしている。                                    | 観察         |   |      | ●   |     |     |
|  |   | 楷書の古典VI<br>【知】顔氏家廟碑の特徴・内容を知る。<br>【思】用筆・運筆・構成法をよく観察し、古典の特徴を捉える。<br>【学】繰り返し練習し、造形の特徴の表現に努める。                     | 古典の臨書 顔氏家廟碑<br>作者の人物像、作品の成立と時代背景<br>「課題発見」「課題解決」「表現」 |  |  |    | 2          | 【知】作者の人物像、作品の成立の時代背景を理解することができる<br>【思】用筆・造形法を理解し、古典の特徴をよく観察しうまく表現することができる<br>【主】一枚一枚考えながら、丁寧に作成に集中しようとしている。                                    | 観察         |   |      | ●   |     |     |
|  |   | 行書<br>【知】行書の成立、特徴、書風の相違、行書の基本用筆<br>【思】用筆法をよく理解し、円滑な運筆の習得。<br>【学】繰り返し練習し、運筆の要領の習得に努める。                          | 行書の歴史と基本用筆と運筆<br>(回し込み・返し)<br>「課題発見」「課題解決」「表現」       |  |  |    | 2          | 【知】行書の成立、特徴、書風の相違、楷書との変遷的関連、用筆法の相違を理解することができる<br>【思】行書の流動的造形法を感得し、用筆と運筆に反映することができる<br>【主】筆使い留意しながら、繰り返し練習しようとしている。                             | 観察         |   |      | ●   |     |     |
|  |   | 行書の古典I<br>【知】作者の人物像、作品の成立と時代を背景知る。作品の特徴・内容を。<br>【思】用筆・運筆・構成法をよく観察し、古典の特徴を捉える。<br>【学】繰り返し練習し、造形の特徴の表現に努める。      | 古典の臨書 集王聖教序<br>(基本用筆及び運筆の充実)<br>「課題発見」「課題解決」「表現」     |  |  |    | 6          | 【知】作者の人物像、作品の成立の時代背景を理解することができる<br>【思】用筆・造形法を理解し、古典の特徴をよく観察しうまく表現することができる<br>【主】筆使い留意しながら、繰り返し練習でき内容の充実を図ろうとしている。                              | 観察         |   |      | ●   |     |     |
|  |   | 行書の古典II<br>【知】作品の成立と時代を背景知る。作品の特徴・内容を知る。<br>【思】用筆・構成法に加え、筆脈を切らないように運筆する。古典の特徴を捉える。<br>【学】繰り返し練習し、造形の特徴の表現に努める。 | 古典の臨書 蘭亭序<br>(基本用筆及び運筆の充実)<br>「課題発見」「課題解決」「表現」       |  |  |    | 4          | 【知】作者の人物像、作品の成立の時代背景を理解することができる<br>【思】用筆・造形法を理解し、筆脈を取りながら、特徴をよく観察し表現することができる<br>【主】筆使い留意しながら、繰り返し練習でき内容の充実を図ろうとしている。                           | 観察         |   |      | ●   |     |     |
|  |   | 仮名<br>【知】仮名の成立、特徴、漢字との関連と相違。仮名の単体及び基本用筆。<br>【思】用筆法をよく理解し、円滑な運筆の習得。<br>【学】繰り返し練習し、運筆の要領の習得に努める。                 | 仮名の歴と基本用筆と運筆<br>(穂先のあたり・回転)<br>「課題発見」「課題解決」「表現」      |  |  |    | 4          | 【知】仮名の成立、特徴、時代背景を理解できたか。仮名という書体を持ったことによる日本文化の歴史的意味を理解することができる。<br>【思】基本用筆を理解・実践し、単体の形をうまく表現することができる<br>【主】筆使い留意しながら繰り返し練習でき、一文字一文字丁寧に書こうとしている。 | 観察         |   |      | ●   |     |     |
|  |   | 仮名の単体<br>【知】仮名の単体と常用体の相違及び基本用筆。<br>【思】用筆法をよく理解し、単体の造形と円滑な運筆の習得。<br>【学】繰り返し練習し、運筆の要領の習得に努める。                    | 仮名の単体の基本用筆と運筆<br>(穂先のあたり・回転)<br>「課題発見」「課題解決」「表現」     |  |  |    | 2          | 【知】仮名の単体の造形と用筆法が理解することができる<br>【思】基本用筆を理解・実践し、単体の形をうまく表現することができる<br>【主】筆使い留意しながら繰り返し練習でき、一文字一文字丁寧に書こうとしている。                                     | 観察         |   |      | ●   |     |     |
|  |   | 仮名の連綿<br>【知】連綿における運筆法及び造形法の理解と習得。変体仮名を知る。<br>【思】連綿線の方向と長さ、文字の配置の工夫の重要性の理解と実践。<br>【学】繰り返し練習し、運筆の要領の習得に努める。      | 仮名の連綿及び基本造形<br>(運筆と文字の配置)<br>「課題発見」「課題解決」「表現」        |  |  |    | 4          | 【知】連綿の構成法の理解することができる<br>【思】古典の特色の理解と鑑賞を通して、表現に反映することができる<br>【主】筆使い留意しながら繰り返し練習でき、滑らかで正確な連綿が実践しようとしている。   | 観察         |   |      | ●   |     |     |
|  |   | 2学期期末考査  |  |  |  |    |            |  |            |   |      |     |     |     |
|  |   |  | 学期   | 単元と指導目標  | 指導項目・内容  | 表現 |            |  | 鑑賞<br>配当時間 | 評価規準  | 評価方法 | 【知】 | 【思】 | 【主】 |
|  |   | 主<br>な<br>学<br>習<br>内<br>容<br>と<br>授<br>業  | 3<br>学<br>期<br>（<br>9<br>週<br>）                      | 臨書条幅作品I（行書・仮名法）<br>【知】各古典の成立、特徴、書風の相違。行書・仮名の基本用筆の理解。<br>【思】一つの作品と深く対峙することで、その作品の持つ内容をしっかりと感得し表現できるようにする。<br>【学】繰り返し練習し、運筆の要領の習得に努める。 | 選択課題<br>集王聖教序・蘭亭序・松風閣詩巻<br>蜀素帖・争座位文稿・風信帖・<br>伊都内親王願文・屏風土代・詩懷紙<br>白氏詩巻<br>高野切第一種・高野切第三種<br>「課題発見」「課題解決」「表現」 |    |            |  | 10         | 【知】選択した古典の内容を理解することができる<br>【思】古典の特色の理解と鑑賞を通して、造形の観察・用筆の工夫をし、古典の特色を的確に表現することができる<br>【主】より高い完成度をめざし、思考を繰り返し、意欲的な姿勢で取り組もうとしている。        | 観察   |     |     | ●   |
|  |   |  |  | 臨書条幅作品II（行書・仮名法）<br>【知】全体構成の理解。<br>【思】文字の大小、線の太細、潤滑筆脈の貫通を図り、全体構成を習得。<br>【学】繰り返し練習し、条幅作品をまとめ上げる。                                      | 全体構成<br>(選択課題)<br>集王聖教序・蘭亭序・松風閣詩巻蜀素帖・争座位文稿・風信帖・伊都内親王願文・屏風土代・詩懷紙白氏詩巻<br>高野切第一種・高野切第三種<br>「課題発見」「課題解決」「表現」   |    |            |  | 2          | 【知】選択した古典の内容を理解することができる。<br>【思】古典の特色の理解と鑑賞を通して、造形の観察・用筆の工夫をし、古典の特色を的確に表現しまとめ上げることができる。<br>【主】より高い完成度をめざし、思考を繰り返し、意欲的な姿勢で取り組もうとしている。 | 観察   |     |     | ●   |
| 創作作品（漢字仮名交じり）<br>【知】漢字と仮名の調和、紙面構成の理解。<br>【思】想像力を働かせ、しっかりと構想を練り、推敲を重ねて、個性を発揮する。<br>【学】繰り返し練習し推敲を重ね、新しい発想を見出す。 | 漢字仮名交じり<br>(創作色紙作品)<br>「課題発見」「課題解決」「表現」 |  |  |  |  |    | 4          | 【知】様々な作品の構成法を知ることができる。<br>【思】構想力を働かせ、しっかりと構想を練り用筆法を統一し、変化のある構成を図り個性を発揮することができる<br>【主】より高い完成度をめざし、思考を繰り返し、意欲的な姿勢で取り組もうとしている。                    | 観察         |   |      | ●   |     |     |
|  |   |  |  |  |  |    |            |  |            | 添削  | ●    | ●   | ●   |     |
|  |   |  |  |  |  |    |            | 作品   | ●          | ●   | ●    |     |     |     |

|             |  |       |   |   |   |   |    |   |   |   |
|-------------|--|-------|---|---|---|---|----|---|---|---|
| 不<br>時<br>数 | まとめ（作品集制作）<br>【知】作品のまとめ方を知る。<br>【思】小筆の大筆との用筆の相違と共通点を知る。<br>【学】制作した作品を見直し、自分の進歩・変化を省みる。 | 作品集作成 | ● | ● | 2 | 【知】小筆の用筆法を知ることができる。<br>【思】小筆の用筆法を理解、実践できる。<br>【主】より高い完成度をめざし、思考を繰り返し、意欲的な姿勢で取り組もうとしている。 | 観察 |   |   | ● |
|             |  |       |   |   |   |   | 添削 | ● | ● | ● |
|             |  |       |   |   |   |   | 作品 | ● | ● | ● |
|             | 3学期期末考査  |       |   |   |   |   |    |   |   |   |



令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科                                   | 外国語（英語）   | 科目名  | 英語コミュニケーション I |   |      | 対象学年 | 1年                                  | 単位数  | 3単位  | 観点別評価                         |          |               |     |  |  |
|--------------------------------------|---|--|---------------|---|------|------|-------------------------------------|------|--|-------------------------------|----------|---------------|-----|--|--|
| 使用教科書                                | 「Revised Element English Communication I」（啓林館）  |  |               |   |      | 教科担当 | A組：残間 紀美子<br>B組：残間 紀美子<br>C組：残間 紀美子 |      |  | 知識・技能                         | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |     |  |  |
| 補助教材                                 | 「Elementワークブック」（啓林館）、「Cutting Edge Green」（エミル出版）<br>「Focus on Listening」（エミル出版）、「リンケージ英語構文100」（旺文社）   |  |               |   |      |      |                                     |      |  |                               |          |               |     |  |  |
| 教科の目標                                | (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。<br>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。<br>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 |  |               |   |      |      |                                     |      |  |                               |          |               |     |  |  |
| 科目の目標                                | (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。<br>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。<br>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 |  |               |   |      |      |                                     |      |  |                               |          |               |     |  |  |
| 学期                                   | 単元と指導目標   | 指導項目・内容  | 領域            |   |      |      |                                     | 配当時間 | 評価規準   | 評価方法                          | 【知】      | 【思】           | 【主】 |  |  |
|                                      |   |  | 聞             | 読 | 話「や」 | 話「発」 | 書                                   |      |  |                               |          |               |     |  |  |
| 1<br>学<br>期<br>（<br>1<br>3<br>週<br>） | Lesson 1<br>Intercultural Relationships   | <b>「課題発見」「表現」</b><br>地図・地形を表す語彙・表現<br>強弱のリズム・イントネーションを聞き取る<br>海外の高校生に日本の文化を紹介する計画についての会話を聞き取る<br>Scidmore's Cherry Treesを読み、その内容についてリテリングを行う。<br>自分のことについてクラスメイトと情報を伝え合う。アメリカからの交換留学生に、自己紹介のメールを書く<br>英語の5文型・受動態・to不定詞               | ●             | ● | ●    | ●    | ●                                   | 8    | 4技能をバランスよく習得している。<br>Summary<br>Retelling<br>Listening<br>Writing<br>Reading<br>Speaking | 提出物<br>プレゼン・スピーチ・ライティング等の表現活動 | ●        | ●             | ●   |  |  |
|                                      | Lesson 2<br>Love beyond Species   | <b>「課題発見」「課題解決」「表現」</b><br>〈動物・友情〉Christian the Lionを読む<br>ライオンと人間の絆<br>ライオンと人間との生活が始まった経緯や、野生に戻すことになった経緯について理解し、動物と人間の絆について考える。<br>現在完了、受動態、分詞を活用して自分とペット、生き物との関りについて述べる。<br>Reading 演習   | ●             | ● | ●    | ●    | ●                                   | 8    | 4技能をバランスよく習得している。<br>Summary<br>Retelling<br>Listening<br>Writing<br>Reading<br>Speaking | 提出物<br>プレゼン・スピーチ・ライティング等の表現活動 | ●        | ●             | ●   |  |  |
|                                      | 1学期中間考査   |  |               |   |      |      |                                     |      |  |                               |          | 1             |     |  |  |
|                                      | Lesson 3<br>Contributing to Our Planet  | <b>「課題発見」「課題解決」「表現」</b><br>エネルギー・公害に関する語彙・表現。消える音・弱くなる音、短縮形を聞き取る。使い捨てのビニール袋とエコバッグのメリット・デメリットを聞き取る。Bye Bye Plasticsを読む。バリ島のプラスチック問題についての節英文を読む、その内容についてリテリングを行う。身近な環境問題とその解決策について話し合う。アメリカからの交換留学生に、ボランティアに参加するように誘うメールを書く。関係代名詞・使役動詞 | ●             | ● | ●    | ●    | ●                                   | 7    | 4技能をバランスよく習得している。<br>Summary<br>Retelling<br>Listening<br>Writing<br>Reading<br>Speaking | 提出物<br>プレゼン・スピーチ・ライティング等の表現活動 | ●        | ●             | ●   |  |  |
|                                      | Further Reading 1<br>Toward Sustainable Development Goals   | <b>「課題発見」「課題解決」「表現」</b><br>スピーチを読む。<br>平易な英語で書かれた短いスピーチを読んで、必要であれば読み直したりしながら、情報を事実と意見に整理する。  | ●             | ● | ●    | ●    | ●                                   | 7    | 4技能をバランスよく習得している。<br>Summary<br>Retelling<br>Listening<br>Writing<br>Reading<br>Speaking | 提出物<br>プレゼン・スピーチ・ライティング等の表現活動 | ●        | ●             | ●   |  |  |
|                                      | Communication in Practice 1<br>Amusement Park Visit   | <b>「課題発見」「課題解決」「表現」</b><br>アミューズメントパークのパンフレットを読む。パンフレットを読み、どの順番でアトラクションやアクティビティ、昼食を回るかについて話し合う。<br>これまでに行ったことのあるアミューズメントパークについての感想を書いて、SNSに投稿する。   | ●             | ● | ●    | ●    | ●                                   | 7    | 4技能をバランスよく習得している。<br>・Summary<br>・Listening<br>・Writing<br>・Speaking                     | 提出物<br>プレゼンテーション              | ●        | ●             | ●   |  |  |
| 1学期期末考査                              |   |  |               |   |      |      |                                     |      |  |                               | 1        |               |     |  |  |
| 学期                                   | 単元と指導目標   | 指導項目・内容  | 領域            |   |      |      |                                     | 配当時間 | 評価規準   | 評価方法                          | 【知】      | 【思】           | 【主】 |  |  |
|                                      |   |  | 聞             | 読 | 話「や」 | 話「発」 | 書                                   |      |  |                               |          |               |     |  |  |
| 2<br>学<br>期                          | Lesson 4<br>Messages for World Peace  | <b>「課題発見」「課題解決」「表現」</b><br>〈戦争・平和〉Twice Bombed, Twice survivedを読む<br>広島・長崎の二重被爆者山口さんの平和への思い<br>被爆体験者の話や伝え方と理由を理解する。<br>分詞、知覚・使役動詞、過去完了を活用し、自分の人生に影響を与えた人物・本・映画について述べる。<br>Reading 演習   | ●             | ● | ●    | ●    | ●                                   | 8    | 4技能をバランスよく習得している。<br>Summary<br>Retelling<br>Listening<br>Writing<br>Reading<br>Speaking | 提出物<br>プレゼン・スピーチ・ライティング等の表現活動 | ●        | ●             | ●   |  |  |
|                                      | Lesson 5<br>Respecting Each Other   | <b>「課題発見」「課題解決」「表現」</b><br>野球に関する語彙・表現<br>身近な人や物について話している会話を聞き取る<br>Nobody's Perfectを読む<br>野球の投手と誤審を行った審判についての物語を読む、その内容についてリテリングを行う。イラストを見て、状況を説明する。示された状況に沿って感謝の気持ちを伝えるとともに行事に招待する。困難な状況にある友人を勇気づける電子メールを書く。関係代名詞のwhat・関係副詞        | ●             | ● | ●    | ●    | ●                                   | 8    | 4技能をバランスよく習得している。<br>Summary<br>Retelling<br>Listening<br>Writing<br>Reading<br>Speaking | 提出物<br>プレゼン・スピーチ・ライティング等の表現活動 | ●        | ●             | ●   |  |  |
|                                      | 2学期中間考査   |  |               |   |      |      |                                     |      |  |                               |          | 1             |     |  |  |

| 内容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数                         | Lesson<br>Language and Culture  | 「課題発見」「課題解決」「表現」<br>英文の書き方に関する語彙・表現<br>ラジオニュースを聞き取る<br>The Power of Wordsを読む<br>作家のスピーチを読み、その内容についてリテリングを行う。好きなアニメや漫画、映画について発表する。相手の話に対して興味があることを示す。日本文化が楽しめる場所を例示しながら説明する文章を書く。関係代名詞の非限定用法・分詞構文    | ●  | ● | ●    | ●    | ● | 7   | 4 技能をバランスよく習得している。<br>Summary<br>Retelling<br>Listening<br>Writing<br>Reading<br>Speaking | 提出物                    | ●   | ●   | ●   |
|---|---|---|----|---|------|------|---|---|---|------------------------|-----|-----|-----|
|   |   |   |    |   |      |      |   |   |   | プレゼン・スピーチ・ライティング等の表現活動 | ●   | ●   | ●   |
| 授<br>業<br>時<br>数                                    | Further Reading 2<br>Pictures without Shadows                               | 「課題発見」<br>エッセイを読む。<br>身近な事柄について短いエッセイを読んで、概要を理解することができる。  | ●  | ● | ●    | ●    | ● | 7   | 4 技能をバランスよく習得している。<br>Summary<br>Retelling<br>Listening<br>Writing<br>Reading<br>Speaking | 提出物                    | ●   | ●   | ●   |
|   |   |   |    |   |      |      |   |   |   | 授業態度                   | ●   |     |     |
| 授<br>業<br>時<br>数                                    | Communication in Practice 2<br>Taking Part in International Volunteer Work. | 「課題発見」「課題解決」「表現」<br>国際ボランティアに関するお知らせを読む。ウェブサイトの情報を読み、どのボランティアに参加するかを話し合う。身近で社会的な事柄について、「簡単な英語を使って自分の意見を伝え合う。身近な事柄について、短い説明文を書くことができる。   | ●  |   | ●    | ●    | ● | 7   | 4 技能をバランスよく習得している。<br>Summary<br>Listening<br>Writing<br>Speaking                         | 提出物                    | ●   | ●   | ●   |
|   |   |   |    |   |      |      |   |   |   | プレゼン・スピーチ・ライティング等の表現活動 | ●   | ●   | ●   |
| 2学期期末考査   |   |   |    |   |      |      |   |   |   |                        |     |     |     |
| 学期  | 単元と指導目標   | 指導項目・内容   | 領域 |   |      |      |   | 配当時間  | 評価規準  | 評価方法                   | 【知】 | 【思】 | 【主】 |
|   |   |   | 聞  | 読 | 話「や」 | 話「発」 | 書 |   |   |                        |     |     |     |
| 主<br>な<br>学<br>習<br>内<br>容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数 | Lesson 7<br>Technology and Discoveries                                      | 「課題発見」「課題解決」「表現」<br>実験室に関する語彙<br>科学イベントのスケジュールと講演の内容を聞き取る。Serendipityを読む。偶然の発見による発明についての説明文を読み、その内容についてリテリングを行う。歴史上最も偉大な発明は何かについて話し合う。電子書籍より紙の書籍を好む理由を対比しながら書く。形式主語のit・be動詞の補語になるthat節・時や場所について説明する | ●  | ● | ●    | ●    | 9 | 4 技能をバランスよく習得している。<br>Summary<br>Retelling<br>Listening<br>Writing<br>Reading<br>Speaking | 提出物   | ●                      | ●   | ●   |     |
|   |   |   |    |   |      |      |   |   | プレゼン・スピーチ・ライティング等の表現活動  | ●                      | ●   | ●   |     |
| 授<br>業<br>時<br>数                                    | Lesson 8<br>Standing Up for Human Rights                                    | 「課題発見」「課題解決」「表現」<br>(人権・スポーツ) Playing the Enemyを読む。南アフリカの歴史を変えたマンデラとラガビー・スポーツをとおして、どのように南アフリカの黒人と白人が親密になり、気持ちが変わっていったかを理解する。過去完了進行形、進行形の受動態、分詞構文を活用し、世界の偉人を調べ、発表する。Reading 演習                       | ●  | ● | ●    | ●    | 9 | 4 技能をバランスよく習得している。<br>Summary<br>Retelling<br>Listening<br>Writing<br>Reading<br>Speaking | 提出物   | ●                      | ●   | ●   |     |
|   |   |   |    |   |      |      |   |   | プレゼン・スピーチ・ライティング等の表現活動  | ●                      | ●   | ●   |     |
| 授<br>業<br>時<br>数                                    | Communication in Practice 3<br>Looking for an Apartment for Studying Abroad | 「課題発見」「課題解決」<br>アパートの広告を読む<br>ウェブサイトの情報と親に希望をもとに、アパートを借りる際の条件について話し合い、アパートを決める。アパートの見学の申し込みフォームに記入する。   | ●  |   | ●    | ●    | ● | 8   | 4 技能をバランスよく習得している。<br>Summary<br>Listening<br>Writing<br>Speaking                         | 提出物                    | ●   | ●   | ●   |
|   |   |   |    |   |      |      |   |   |   | プレゼンテーション              | ●   | ●   | ●   |
| 3学期期末考査   |   |   |    |   |      |      |   |   |   |                        |     |     |     |

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科   | 外国語（英語）   | 科目名                                 | 論理・表現 I |   |      | 対象学年 | 1年   | 単位数   | 2単位  | 観点別評価      |          |               |     |
|--|---|-------------------------------------|---------|---|------|------|--|---|--|------------|----------|---------------|-----|
| 使用教科書  | 「EARTRISE English Logic & Expression I Advanced」（数研出版）  |                                     |         |   |      | 教科担当 | A組：千葉 祐二、藤澤 文洋<br>B組：黒崎 良一、千葉 祐二<br>C組：黒崎 良一、藤澤 文洋 |   |  | 知識・技能      | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |     |
| 補助教材   | cx  |                                     |         |   |      |      |  |   |  |            |          |               |     |
| 教科の目標  | <p>【知識及び技能】</p> <p>①学習した内容を活用し適切に使うことができる</p> <p>②学習した内容を活用し、論理の構成や展開を工夫して、詳細を交えつつ、1つまたは複数の段落からなる文章を書くことができる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①教科書のタスク活動と学習した内容を通して、適切に、発表、やりとり、書くこと、ディベートなどができる</p> <p>②日常的な話題や社会的な話題に関して、相手の意見を踏まえて、伝えることができる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①間違ふことを恐れず活動し、うまく表現できないことがあっても言い換えるなどして、コミュニケーションを図ろうとしている</p> <p>②相手や、相手のメッセージを踏まえて、積極的に伝えようとしている</p> |                                     |         |   |      |      |  |   |  |            |          |               |     |
| 科目の目標  | <p>【知識及び技能】 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p>   |                                     |         |   |      |      |  |   |  |            |          |               |     |
| 学期   | 単元と指導目標   | 指導項目・内容                             | 領域      |   |      |      |  | 配当時間  | 評価規準   | 評価方法       |          |               |     |
|  |   |                                     | 聞       | 読 | 話「や」 | 話「発」 | 書  |   |  |            |          |               |     |
| 1<br>学<br>期<br><br>（<br>1<br>3<br>週<br>）     | Lesson1<br>"Introduce yourself to your class"   | 説明する・紹介する<br>「課題発見」                 | ●       | ● | ●    | ●    | ●  | 4   | 適切な種類の文を用いて表現することができる<br>部活動の紹介を聞き、適切な英語の応答することができる          | 確認テスト      | ●        | ●             |     |
|  |   |                                     |         |   |      |      |  |   |  | パフォーマンステスト | ●        | ●             | ●   |
|  |   |                                     |         |   |      |      |  |   |  | 授業態度       |          |               | ●   |
|  | Lesson2<br>"How do you spend your weekend?"   | 時を表す（現在・過去・未来）<br>「表現」              | ●       | ● | ●    | ●    | ●  | 4   | 語順に注意して文を作ることができる<br>相手の意見に対し、賛成・反対を表明することができる               | 確認テスト      | ●        | ●             |     |
|  |   |                                     |         |   |      |      |  |   |  | パフォーマンステスト | ●        | ●             | ●   |
|  |   |                                     |         |   |      |      |  |   |  | 授業態度       |          |               | ●   |
|  | Lesson3<br>"Where did you go on vacation?"  | 時を表す（完了形）<br>「表現」                   | ●       | ● | ●    | ●    | ●  | 4   | 語順に注意して文を作ることができる<br>相手の意見に対し、賛成・反対を表明することができる               | 確認テスト      | ●        | ●             |     |
|  |   |                                     |         |   |      |      |  |   |  | パフォーマンステスト | ●        | ●             | ●   |
|  |   |                                     |         |   |      |      |  |   |  | 授業態度       |          |               | ●   |
|  | 1学期中間考査   |                                     |         |   |      |      |  | 1   |  |            |          |               |     |
|  | Lesson4<br>"How can I get there?"   | 能力・許可・義務などを表す<br>「表現」               | ●       | ● | ●    | ●    | ●  | 4   | 「道案内」「謝罪のメール」をテーマに。自分の意見を表現できる。                              | 確認テスト      | ●        | ●             |     |
|  |   |                                     |         |   |      |      |  |   |  | パフォーマンステスト | ●        | ●             | ●   |
|  |   |                                     |         |   |      |      |  |   |  | 授業態度       |          |               | ●   |
| Lesson5<br>"Would you like to come with me?" | 依頼・勧誘や推量などを表す<br>「表現」   | ●                                   | ●       | ● | ●    | ●    | 4  | 高校卒業後の進路や将来について、それを実現するためにすべきことを含めて表現することができる | 確認テスト  | ●          | ●        |               |     |
|  |   |                                     |         |   |      |      |  |   | パフォーマンステスト   | ●          | ●        | ●             |     |
|  |   |                                     |         |   |      |      |  |   | 授業態度   |            |          | ●             |     |
| Lesson6<br>"Something really Japanese"       | 「～される」を表す<br>「表現」   | ●                                   | ●       | ● | ●    | ●    | 4  | 高校卒業後の進路や将来について、それを実現するためにすべきことを含めて表現することができる | 確認テスト  | ●          | ●        |               |     |
|  |   |                                     |         |   |      |      |  |   | エッセイ   | ●          | ●        | ●             |     |
|  |   |                                     |         |   |      |      |  |   | 授業態度   |            |          | ●             |     |
| 1学期期末考査                                      |   |                                     |         |   |      |      | 1  |   |  |            |          |               |     |
| 学期   | 単元と指導目標   | 指導項目・内容                             | 領域      |   |      |      |  | 配当時間  | 評価規準   | 評価方法       | 【知】      | 【思】           | 【主】 |
|  |   |                                     | 聞       | 読 | 話「や」 | 話「発」 | 書  |   |  |            |          |               |     |
| 主<br>な<br>学<br>習<br>内                        | Lesson7<br>"Do you do any volunteer activities?"  | 「～すること」などを表す(to do)<br>「課題発見」「課題解決」 | ●       | ● | ●    | ●    | ●  | 4   | 買い物体験について順序だてて詳細に英文にまとめることができる                               | 確認テスト      | ●        | ●             |     |
|  |   |                                     |         |   |      |      |  |   |  | エッセイ       | ●        | ●             | ●   |
|  |   |                                     |         |   |      |      |  |   |  | 授業態度       |          |               | ●   |
|  | Lesson8<br>"Let's enjoy school life!"   | to do/doを使って表す<br>「表現」              | ●       | ● | ●    | ●    | ●  | 4   | もらったことのある誕生日プレゼントについて詳細を述べる<br>そのプレゼントに対してのお礼のメッセージを書くことができる | 確認テスト      | ●        | ●             |     |
|  |   |                                     |         |   |      |      |  |   |  | パフォーマンステスト | ●        | ●             | ●   |
|  |   |                                     |         |   |      |      |  |   |  | 授業態度       |          |               | ●   |

|                                 |                                      |   |   |   |                  |                  |   |                  |      |      |   |       |   |       |   |   |   |
|---------------------------------|--------------------------------------|---|---|---|------------------|------------------|---|------------------|------|------|---|-------|---|-------|---|---|---|
| 内容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数     | 2<br>学<br>期<br>（<br>1<br>3<br>週<br>） | Lesson9<br>"Are you eco-friendly?"                            | 「～すること」などを表す(to do)<br>「表現」                           | ● | ●                | ●                | ● | ●                | ●    | 4    | スポーツの長所と、おすすめのスポーツについて<br>パラグラフライティングでまとめること<br>ができる<br>おすすめのスポーツについて、クラスにプレゼン<br>をすることができる | 確認テスト | ●   | ●     |   |   |   |
|                                 |                                      | 2学期中間考査   |   |   |                  |                  |   |                  |      |      |   | 1     |   |       |   |   |   |
|                                 |                                      | Lesson10<br>"What sports do you like?"                        | 助動詞および仮定法<br>目上の相手から話を聞き出す<br>自分の率直な思いを伝える<br>「表現」    | ● | ●                | ●                | ● | ●                | ●    | ●    | ●   | 4     | 自分の性格について経験を引用しつつ述べるこ<br>とができる  | 確認テスト | ● | ● |   |
|                                 |                                      |   |   |   |                  |                  |   |                  |      |      |   |       | パフォーマンステスト  | ●     | ● | ● |   |
|                                 |                                      |   |   |   |                  |                  |   |                  |      |      |   |       | 授業態度  |       |   | ● |   |
|                                 |                                      | Lesson11<br>"That's new to me!"                               | 比較<br>言いにくいことを切り出す<br>相手に尋ねづらい質問を切り出す<br>「課題発見」「課題解決」 | ● | ●                | ●                | ● | ●                | ●    | ●    | ●   | 4     | 「様々な国の労働時間や祝日の数」「野菜と果<br>物の違い」をテーマに自分の意見を表現できる  | 確認テスト | ● | ● |   |
|                                 |                                      |   |   |   |                  |                  |   |                  |      |      |   |       | パフォーマンステスト  | ●     | ● | ● |   |
|                                 |                                      |   |   |   |                  |                  |   |                  |      |      |   |       | 授業態度  |       |   | ● |   |
|                                 |                                      | Lesson12<br>"Which Nobel Prize winner do you<br>admire most?" | 人やものについて説明する<br>「課題発見」「課題解決」                          | ● | ●                | ●                | ● | ●                | ●    | ●    | ●   | 4     | 「日本人のノーベル賞受賞者」「自分が尊敬す<br>る人物」をテーマに、自分の意見を表現でき<br>る。   | 確認テスト | ● | ● |   |
|                                 |                                      |   |   |   |                  |                  |   |                  |      |      |   |       | エッセイ  | ●     | ● | ● |   |
|                                 |                                      |   |   |   |                  |                  |   |                  |      |      |   |       | 授業態度  |       |   | ● |   |
|                                 |                                      | Lesson13<br>"I'm interested in history"                       | 時や場所について説明する  | ● | ●                | ●                | ● | ●                | ●    | ●    | ●   | 4     | ジェンダー問題などについて、問題点や私たち<br>ができる取り組みについて論理的に述べるこ<br>とができる<br>・データを比較し、自分の意見に客観性をもた<br>せることができる | 確認テスト | ● | ● |   |
|                                 |                                      |   |   |   |                  |                  |   |                  |      |      |   |       | エッセイ  | ●     | ● | ● |   |
|                                 |                                      |   |   |   |                  |                  |   |                  |      |      | 授業態度  |       |   | ●     |   |   |   |
| 2学期期末考査                         |                                      |   |   |   |                  |                  |   |                  |      | 1    |   |       |   |       |   |   |   |
| 学期                              | 単元と指導目標                              | 指導項目・内容   | 領域  |   |                  |                  |   | 配<br>当<br>時<br>間 | 評価規準 | 評価方法 | 【知】   | 【思】   | 【主】   |       |   |   |   |
|                                 |                                      |   | 聞   | 読 | 話<br>〔<br>や<br>〕 | 話<br>〔<br>発<br>〕 | 書 |                  |      |      |   |       |   |       |   |   |   |
| 3<br>学<br>期<br>（<br>9<br>週<br>） | 3<br>学<br>期<br>（<br>9<br>週<br>）      | Lesson14<br>"Various countries around the world"              | 比較を表す   | ● | ●                | ●                | ● | ●                | ●    | 4    | 日本における社会問題のうちひとつを取り上<br>げ、自分の意見をまとめてプレゼンすること<br>ができる  | 確認テスト | ●   | ●     |   |   |   |
|                                 |                                      |   |   |   |                  |                  |   |                  |      |      |   |       | プレゼンテーション   | ●     | ● | ● |   |
|                                 |                                      |   |   |   |                  |                  |   |                  |      |      |   |       | 授業態度  |       |   | ● |   |
|                                 |                                      | Lesson15<br>"What job are you interested in?"                 | 仮定を表す   | ● | ●                | ●                | ● | ●                | ●    | ●    | ●   | 4     | 日本における社会問題のうちひとつを取り上<br>げ、自分の意見をまとめてプレゼンすること<br>ができる  | 確認テスト | ● | ● |   |
|                                 |                                      |   |   |   |                  |                  |   |                  |      |      |   |       | プレゼンテーション   | ●     | ● | ● |   |
|                                 |                                      |   |   |   |                  |                  |   |                  |      |      |   |       | 授業態度  |       |   | ● |   |
|                                 |                                      | 高1の復習   | あるトピックについて賛成・反対に別<br>れ、筋道立てて賛否の理由を述べなが<br>らディベートを行う   | ● | ●                | ●                | ● | ●                | ●    | ●    | ●   | 5     | 決められた役割（賛否）に沿って主張を組み立<br>てることができる<br>相手の主張のあらましを聞き取ることができ<br>る                              | ディベート | ● | ● | ● |
|                                 |                                      |   |   |   |                  |                  |   |                  |      |      |   |       | 意見シート   |       | ● | ● |   |
|                                 |                                      |   |   |   |                  |                  |   |                  |      |      |   |       | 授業態度  |       |   | ● |   |
|                                 |                                      | 3学期期末考査   |   |   |                  |                  |   |                  |      |      |   | 1     |   |       |   |   |   |

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科          | 情報  | 科目名   | 情報 I  | 対象学年  | 1年   | 単位数 | 2単位 | 観点別評価         |
|-------------|---|---|---|---|--|-----|-----|---------------|
| 使用教科書       | 「高校情報 I Python」 (実教出版)  |   |   | 教科担当  | A組：川崎 美幸<br>B組：川崎 美幸<br>C組：川崎 美幸   |     |     | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 補助教材        | 「高校情報 I Python 学習ノート 新課程版」 (実教出版)   |   |   |   |  |     |     |               |
| 教科の目標       | 【知識及び技能】情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・活用する方法について知識・技能を習得し、情報社会と人との関わりについての理解を深める。<br>【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結びつきと捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。 |   |   | 知識・技能   | 思考・判断・表現   |     |     |               |
| 科目の目標       | 【知識及び技能】情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識・技能を身に付ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いる。<br>【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。                                   |   |   |   |  |     |     |               |
| 学期          | 単元と指導目標   | 指導項目・内容   | 配当時間  | 評価規準  | 評価方法   |     |     |               |
| 主な学習内容と授業時数 | 1学期   | 【単元名】情報社会<br>【知】情報に関する法規や制度、情報セキュリティ、情報社会における個人の責任・情報モラルについて理解する。<br>【思】情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を考察する。<br>【学】情報の持つ特徴や情報セキュリティ、知的財産に興味・関心を持ち、その意義について理解しようとする。 | 情報と情報社会<br>問題解決の考え方<br>法規による安全対策<br>個人情報とその扱い<br>知的財産権の概要と産業財産権<br>著作権                              | 9   | 【知】情報の特徴について理解している。<br>【知】問題や問題解決の意味、問題解決の基本的な手順について理解している。<br>【思】情報セキュリティについて理解し、情報モラルについて考えようとしている。<br>【知】知的財産権の概要を理解している。<br>【学】特許情報を検索する活動に積極的に取り組んでいる。                      | 提出物 | ●   | ●             |
|             |   | 【単元名】デジタル<br>【知】コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、情報の内部表現と計算やその処理について理解する。<br>【思】コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察する。<br>【学】コンピュータで扱われる情報の特徴や内部表現を用いたソフトウェアの操作に興味関心を持つ。                                     | デジタル情報の特徴<br>数値と文字の表現<br>演算の仕組み<br>音、画像の表現<br>コンピュータの構成と動作<br>コンピュータの性能<br>データの圧縮と効率化<br>「課題発見」     | 10  | 【学】情報の処理の仕組みや表し方に関心を持っている。<br>【思】情報を扱う際の仕組みや処理方法について、工夫されている点を考えている。<br>【知】コンピュータを活用して情報をデジタル化することができる。<br>【知】コンピュータ内部での情報の表し方や処理の仕組みを理解している。                                    | 提出物 | ●   | ●             |
|             |   | 【単元名】プログラミング<br>【知】アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータを活用する方法について理解し技能を身に付ける。<br>【思】目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングを作成する過程を評価し、改善する。<br>【学】問題解決に向けてアルゴリズムを作成しようとし、よりよい解決をするべく、それを評価・改善しようとする。      | アルゴリズム<br>プログラミングの基本<br>配列<br>関数<br>「課題解決」  | 6   | 【知】アルゴリズムの基本とプログラムの意味を理解している。<br>【思】アルゴリズムをフローチャートで表現することができる。<br>【知】基本構造のプログラムを理解し、作成できる。<br>【知】配列や関数を用いたプログラムを作成できる。<br>【学】基本構造や配列・関数を用いて、効率の良いプログラムの作成に意欲的に取り組んでいる。           | 提出物 | ●   | ●             |
|             | 1学期期末考査   |   | 1   |   | ●  | ●   |     |               |
| 学期          | 単元と指導目標   | 指導項目・内容   | 配当時間  | 評価規準  | 評価方法   | 【知】 | 【思】 | 【主】           |
| 主な学習内容と授業時数 | 2学期   | 【単元名】プログラミング<br>【知】コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、情報の内部表現と計算やその処理について理解する。<br>【思】コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察する。<br>【学】コンピュータで扱われる情報の特徴や内部表現を用いたソフトウェアの操作に興味関心を持つ。                                  | 探索<br>整列<br>プログラムの設計手法<br>「課題解決」  | 5   | 【学】探索と整列について理解している。<br>【知】探索・整列のプログラムを作成できる。<br>【知】状態遷移図や状態遷移表を正しく作成することができる。<br>【思】状態遷移図や状態遷移表を、課題解決のためのプログラム設計に活用しようとしている。   | 提出物 | ●   | ●             |
|             |   | 【単元名】データ分析<br>【知】データを収集、整理、分析する方法について理解し、技能を身に付ける。<br>【思】データを収集、整理、分析及び結果の表現方法を適切に選択し、実行し、評価し改善する。<br>【学】コンピュータで扱われる情報の特徴や内部表現を用いたソフトウェアの操作に興味関心を持つ。  | データの収集と整理<br>ソフトウェアを利用したデータの処理<br>統計量とデータの尺度<br>データの分布と検定の考え方<br>時系列分析と回帰分析<br>区間推定とクロス集計<br>「課題解決」 | 8   | 【学】収集したデータを統計的に処理することに興味を持っている。<br>【知】検定・推定を行う処理の仕組みを理解している。<br>【知】統計量や分布を用いて検定することができる。<br>【思】分析したいデータに合わせて、検定・推定の考え方を活用することができる。   | 提出物 | ●   | ●             |
|             |   | 【単元名】モデル化とシミュレーション<br>【知】コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、情報の内部表現と計算やその処理について理解する。<br>【思】コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察する。<br>【学】データを収集、整理、分析及び結果の表現したことを評価し、改善しようとする。                                  | モデル<br>確定的モデルのシミュレーション<br>確率的モデルのシミュレーション<br>「課題発見」<br>「課題解決」                                       | 7   | 【学】コンピュータを用いたモデル化とシミュレーションに関心を持っている。<br>【思】シミュレーションした結果を分析・判断し、適切に表現している。<br>【知】問題解決に有効に活用するためのモデル化とシミュレーションをすることができる。<br>【知】モデル化とシミュレーションを問題解決に活用するための知識を身に付けている。               | 提出物 | ●   | ●             |
|             | 【単元名】ネットワーク<br>【知】情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解する。<br>【思】目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考える。<br>【学】情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えようとする。                | ネットワークとプロトコル<br>インターネットの仕組み<br>Webページの閲覧とメールの送受信  | 5   | 【学】情報通信ネットワークの仕組みや働きで工夫されている点に関心をもっている。<br>【思】情報通信ネットワークの必要性や仕組みについて考察し、適切に説明している。<br>【思】効果的に情報を共有するために、情報機器を活用することができる。<br>【知】多種多様な情報をやり取りするための仕組みや方法について理解している。 | 提出物  | ●   | ●   |               |
| 2学期期末考査     |   | 1   |   | ●   | ●  |     |     |               |
| 学期          | 単元と指導目標   | 指導項目・内容   | 配当時間  | 評価規準  | 評価方法   | 【知】 | 【思】 | 【主】           |
| 主な学習内容と     | 3学期   | 【単元名】情報デザイン<br>【知】効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方方法を理解し表現する技能を身に付ける。<br>【思】コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考えること。<br>【学】効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方方法に基づいて表現し評価改善しようとする。                      | コミュニケーションとメディア<br>情報デザインと表現の工夫<br>プレゼンテーション<br>Webページと情報デザイン<br>「表現」                                | 6   | 【知】情報デザインの意味について理解している。<br>【知】適切なプランニングシートを作成できる。<br>【思】論理的に情報を伝えるための表現をしようとしている。<br>【学】Webページの制作に意欲的に取り組んでいる。<br>【知】HTMLタグやCSSセレクタの働きを理解している。                                   | 提出物 | ●   | ●             |
|             |   | 【単元名】データベース<br>【知】情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解する。<br>【思】目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考える。<br>【学】情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えようとする。  | 情報システムを支えるデータベース<br>データベースの仕組み<br>個人による安全対策<br>安全のための情報技術   | 5   | 【学】情報社会の安全とそれを支えるために情報技術が活用されていることに興味をもっている。<br>【思】情報システムの安全性について考え、安全確保策が適切かどうかを考察し、判断している。<br>【思】情報社会の安全性を高めるために、情報技術を活用することができる。<br>【知】情報システムや提供されるサービスについて、仕組みや働きについて理解している。 | 提出物 | ●   | ●             |
|             |   | 提出物   | ●   | ●   |  |     |     |               |
| 実技試験        | ●   | ●   |   |   |  |     |     |               |
| 期末考査        | ●   | ●   |   |   |  |     |     |               |

|                  |        |  |                                  |   |  |      |   |   |   |
|------------------|--------|--|----------------------------------|---|--|------|---|---|---|
| 授<br>業<br>時<br>数 | 週<br>) | 【単元名】プログラミング（活用）<br>【知】アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータを活用する方法について理解し技能を身に付ける。<br>【思】目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングを作成する過程を評価し、改善する。<br>【学】問題解決に向けてアルゴリズムを作成しようとし、よりよい解決をするべく、それを評価・改善しようとする。 | オープンデータの活用<br>プログラムによる動的シミュレーション | 6 | 【知】オブジェクト指向について理解している。<br>【思】プログラムでファイルを扱うことができる。<br>【学】プログラムにてオープンデータを活用しようとしている。<br>【知】コンピュータにおける計測・制御を理解している。<br>【知】アナログ入力・デジタル出力のプログラムを作成することができる。 | 提出物  | ● |   | ● |
|                  |        |  |                                  |   |  | 実技試験 | ● | ● |   |
|                  |        |  |                                  |   |  | 期末考査 | ● | ● |   |
|                  |        | 3学期期末考査  | 1                                |   |  | ●    | ● |   |   |

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科          | 探究  | 科目名   | 理数探究（富士未来学）                             | 対象学年 | 1年   | 単位数    | 2単位 | 観点別評価 |          |               |   |   |
|-------------|---|---|---|------|--|--------|-----|-------|----------|---------------|---|---|
| 使用教科書       |   |   |   | 教科担当 | 内山菜緒、今福航、鈴木葉月、金子智宣、浮葉翔、鈴木晃、西村猛、岩鶴百葉、黒崎良一、残間紀美子、土持馨子  |        |     | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |   |   |
| 補助教材        | 「本校独自テキスト」  |   |   |      |  |        |     |       |          |               |   |   |
| 教科の目標       | 【知識及び技能】対象とする事象について探究するために必要な知識及び技能を身に付けるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】多角的、複合的に事象を捉え、数学や理科などに関する課題を設定して探究し、課題を解決する力を養うとともに創造的な力を高める。<br>【学びに向かう力、人間性等】様々な事象や課題に主体的に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとする態度、探究の過程を振り返って評価・改善しようとする態度及び倫理的な態度を養う。 |   |   |      |  |        |     |       |          |               |   |   |
| 科目の目標       | 【知識及び技能】対象とする事象について探究するために必要な知識及び技能を身に付けるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】多角的、複合的に事象を捉え、数学や理科などに関する課題を設定して探究し、課題を解決する力を養うとともに創造的な力を高める。<br>【学びに向かう力、人間性等】様々な事象や課題に主体的に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとする態度、探究の過程を振り返って評価・改善しようとする態度及び倫理的な態度を養う。 |   |   |      |  |        |     |       |          |               |   |   |
| 学期          | 単元と指導目標   | 指導項目・内容   | 配当時間                                    | 評価規準 | 評価方法   |        |     |       |          |               |   |   |
| 主な学習内容と授業時数 | 1学期（3週）   | 富士未来学ガイダンス<br>【知】富士未来学VIガイダンスで学習した内容を理解している。1年間の探究活動の見通しを立てることができる。富士未来学での自己の目標をもつことができる。   | 富士未来学の内容を知る<br>探究に必要な力を学ぶ               | 1    | 【知】富士未来学VIガイダンスで学習した内容を理解している。1年間の探究活動の見通しを立てることができる。富士未来学での自己の目標をもつことができる。<br>【主】挑戦力を働かせて富士未来学IVガイダンスに取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。  | ワークシート |     |       |          | ●             |   |   |
|             |   | 課題発見講座Ⅲ<br>【知】課題発見講座Ⅲで学習した内容を理解している。<br>【思】ワークショップをとおして課題発見の手法を身に付けることができる。先行論文の整理の仕方、読解の仕方を学ぶことと、課題を見いだす方法を身に付けることができる。<br>【主】挑戦力を働かせて課題発見講座Ⅲに取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。 | 課題を発見する方法を学ぶ                            | 4    | 【知】課題発見講座Ⅲで学習した内容を理解している。<br>【思】ワークショップをとおして課題発見の手法を身に付けることができる。先行論文の整理の仕方、読解の仕方を学ぶことと、課題を見いだす方法を身に付けることができる。<br>【主】挑戦力を働かせて課題発見講座Ⅲに取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。                     | ワークシート |     |       |          | ●             | ● |   |
|             |   | 富士未来学Ⅳでは18時間分の時間外活動を課す。科学系コンテスト発表会等への参加や、各自が設定する課題の題材を探すため、あるいは設定した課題をより深めるための学校外での調査活動や校外での講演会等への参加をし、その成果を別紙の報告書にまとめて提出する。  |   |      |  |        |     |       |          |               |   |   |
|             |   | 1学期中間考査   |   |      |  |        |     |       |          |               |   |   |
|             |   | 質問紙講座Ⅰ<br>【知】質問紙講座Ⅰで学習した内容を理解している。<br>【思】研究倫理に配慮しながら、質問紙を作成することができる。<br>【主】挑戦力を働かせて質問紙講座Ⅰに取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。  | 質問紙の作成方法を学ぶ                             | 4    | 【知】質問紙講座Ⅰで学習した内容を理解している。<br>【思】研究倫理に配慮しながら、質問紙を作成することができる。<br>【主】挑戦力を働かせて質問紙講座Ⅰに取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。   | ワークシート |     |       |          |               | ● | ● |
|             |   | 探究発表会<br>【知】探究発表会で学習した内容を理解している。<br>【思】富士未来学で取り組んだ課題研究の成果発表、参加者として質疑応答する活動と、自らの研究を見つめ直し、研究の内容を改善し、深化させる機会とすることができる。<br>【主】挑戦力を働かせて探究発表会に取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。        | 中間発表会で発表者として発表を行い、他学年の発表を聴き、質問者として質問を行う | 10   | 【知】探究発表会で学習した内容を理解している。<br>【思】富士未来学で取り組んだ課題研究の成果発表、参加者として質疑応答する活動と、自らの研究を見つめ直し、研究の内容を改善し、深化させる機会とすることができる。<br>【主】挑戦力を働かせて探究発表会に取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。                          | ワークシート |     |       |          |               | ● | ● |
|             |   | 1学期期末考査   |   |      |  |        |     |       |          |               |   |   |
|             |   | 研究計画書講座<br>【知】研究計画書講座で学習した内容を理解している。<br>【思】「富士未来学」における課題研究について、探究の過程の全体像を理解できる。自らの興味・関心から課題を発見し、研究課題を設定することができる。研究課題を解決するための研究計画を立案することができる。                                  | 研究計画書の作成方法を学ぶ                           | 12   | 【知】研究計画書講座で学習した内容を理解している。<br>【思】「富士未来学」における課題研究について、探究の過程の全体像を理解できる。自らの興味・関心から課題を発見し、研究課題を設定することができる。研究課題を解決するための研究計画を立案することができる。<br>【主】挑戦力を働かせて研究計画書講座に取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。 | ワークシート |     |       |          |               | ● | ● |
|             |   | 2学期中間考査   |   |      |  |        |     |       |          |               |   |   |
|             |   | 個人・グループ研究<br>【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。<br>【主】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組もうとしている。        | 各自が設定した研究課題をもとにラボごとに活動する。               | 7    | 【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。<br>【主】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組もうとしている。                              | ワークシート |     |       |          |               | ● |   |
| 2学期期末考査     |   |   |   |      |  |        |     |       |          |               |   |   |
| 学期          | 単元と指導目標   | 指導項目・内容   | 配当時間                                    | 評価規準 | 評価方法   | 【知】    | 【思】 | 【主】   |          |               |   |   |
| 主な学習内容      | 3学期   | 個人・グループ研究<br>【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。<br>【主】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組もうとしている。        | 各自が設定した研究課題をもとにラボごとに活動する。               | 6    | 【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。<br>【主】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組もうとしている。                              | ワークシート |     |       |          | ●             |   |   |
|             |   | 3学期期末考査   |   |      |  |        |     |       |          |               |   |   |
|             |   | ワークシート  |   |      |  |        | ●   |       |          |               | ● |   |

|                            |         |  |   |   |  |          |   |   |   |
|----------------------------|---------|--|---|---|--|----------|---|---|---|
| 容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数 | ( 9 週 ) | ポスター発表<br>【知】探究発表会で学習した内容を理解している。<br>【思】富士未来学で取り組んだ課題研究の成果発表、参<br>会者として質疑応答する活動をおして、自らの研究を<br>見つめ直し、研究の内容を改善し、深化させる機会とす<br>ることができる。<br>【主】挑戦力を働かせて探究発表会に取り組み、学習し<br>た内容を自己の課題研究に生かそうとしている。 | 学年内でポスター発表を行う。その課題を改善したうえ<br>で、全学年で行う中間報告会での発表を行う。その結果を<br>もとにポスターの改善を行い、次年度の研究の目標を定め<br>る。 | 8 | 【知】探究発表会で学習した内容を理解している。<br>【思】富士未来学で取り組んだ課題研究の成果発表、参<br>会者として質疑応答する活動をおして、自らの研究を<br>見つめ直し、研究の内容を改善し、深化させる機会とす<br>ることができる。<br>【主】挑戦力を働かせて探究発表会に取り組み、学習し<br>た内容を自己の課題研究に生かそうとしている。 | ワークシート   |   | ● | ● |
|                            |         |  |   |   |  | ポスター     |   | ● | ● |
|                            |         |  |   |   |  | 到達度確認シート | ● |   |   |
|                            |         |  | 3学期期末考査   |   |  |          |   |   |   |



令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科  | 外国語  | 科目名   | ドイツ語           |   |      |      | 対象学年                             | 1年   | 単位数  | 2単位   | 観点別評価    |               |     |
|---|--|---|----------------|---|------|------|----------------------------------|--|--|-------|----------|---------------|-----|
| 使用教科書   | 「ドイツ語インフォメーションneu2」（朝日出版社）   |   |                |   |      | 教科担当 | A組：植松なつみ<br>B組：植松なつみ<br>C組：植松なつみ |  |  | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |     |
| 補助教材  |  |   |                |   |      |      |                                  |  |  |       |          |               |     |
| 教科の目標   | 【知識及び技能】ドイツ語の初歩的な文法を身につける<br>【思考力、判断力、表現力等】簡単なドイツ語を使って身の回りのことについて表現できるようにする<br>【学びに向かう力、人間性等】異文化に対する理解を深め、物事を多層的にとらえる力を身につける |   |                |   |      |      |                                  |  |  |       |          |               |     |
| 科目の目標   | 【知識及び技能】ドイツ語の初歩的な文法を身につける<br>【思考力、判断力、表現力等】簡単なドイツ語を使って身の回りのことについて表現できるようにする<br>【学びに向かう力、人間性等】異文化に対する理解を深め、物事を多層的にとらえる力を身につける |   |                |   |      |      |                                  |  |  |       |          |               |     |
| 学期  | 単元と指導目標  | 指導項目・内容   | 領域             |   |      |      |                                  | 配当時間   | 評価規準   | 評価方法  | 【知】      | 【思】           | 【主】 |
|   |  |   | 聞              | 読 | 話「や」 | 話「発」 | 書                                |  |  |       |          |               |     |
| 1<br>学期<br>（<br>1<br>3<br>週<br>）  | アルファベット<br>つづりと発音<br>【知】ドイツ語の正しい発音を身につける<br>【思】ドイツ語の正しい発音を身につける  | 母音<br>母音の連続<br>子音   | ●              | ● | ●    |      | 4                                | 【知】【思】【主】アルファベットを正しく発音できる<br>【知】【思】【主】発音規則にしたがって単語を発音できる   | 確認テスト  | ●     | ●        |               |     |
|   | Lektion 0<br>【知】ドイツ語であいさつができる<br>【思】ドイツ語であいさつができる<br>【学】ドイツ語であいさつができる  | ドイツ語のあいさつ<br>数詞1<br>「課題発見」「表現」                                      | ●              | ● | ●    |      | 2                                | 【知】【思】【主】ドイツ語であいさつができる<br>【知】【思】【主】0から100までの数字を正しく発音できる  | まとめテスト   | ●     | ●        |               |     |
|   | Lektion 1<br>【知】動詞の人称変化ができる<br>【思】簡単な自己紹介ができる<br>【学】ドイツ語圏について理解を深める  | 人称代名詞<br>動詞の現在人称変化<br>sein<br>疑問詞<br>「課題発見」                         | ●              | ● | ●    | ●    | 4                                | 【知】【思】【主】主語に合わせて動詞を正しく人称変化できる<br>【知】【思】【主】名前、出身地、住んでいる場所、年齢、職業について質疑応答できる                            | 提出物  | ●     | ●        | ●             |     |
|   | 1学期中間考査  |   |                |   |      |      |                                  |  |  |       |          |               |     |
|   | Lektion 2<br>【知】名詞の性について理解する<br>【思】簡単な質疑応答ができる<br>【学】ドイツ語圏について理解を深める   | haben<br>名詞の性<br>語順<br>決定疑問文と答え方<br>数詞2<br>「課題発見」「表現」               | ●              | ● | ●    | ●    | 6                                | 【知】【思】【主】主語に合わせて動詞を正しく人称変化できる<br>【知】【思】【主】名詞の性に合わせて定冠詞を使い分けることができる<br>【知】【思】【主】学んでいる言語と趣味について質疑応答できる | 提出物  | ●     | ●        | ●             |     |
|   | Lektion 3<br>【知】名詞の格変化を理解する<br>【思】欲しいものを伝え、値段を聞くことができる<br>【学】ドイツ語圏について理解を深める   | 定冠詞と名詞の格変化<br>名詞の複数形<br>「課題発見」                                      | ●              | ● | ●    | ●    | 4                                | 【知】【思】【主】名詞の格（1・4格）に合わせて定冠詞を変化できる<br>【知】【思】【主】値段について質疑応答できる  | 提出物  | ●     | ●        | ●             |     |
|   | Lektion 4.1<br>【知】不定冠詞・否定冠詞を理解する<br>【思】持っているものを伝えられる<br>【学】ドイツ語圏について理解を深める   | 不定冠詞<br>否定冠詞<br>「課題発見」  | ●              | ● | ●    | ●    | 4                                | 【知】【思】【主】名詞の格（1・4格）に合わせて不定・否定冠詞を変化できる<br>【知】【思】【主】持ち物について質疑応答できる                                     | 提出物  | ●     | ●        | ●             |     |
|   | まとめテスト<br>【知】1学期に学んだことを確認する<br>【思】1学期に学んだことを確認する   | 筆記テスト<br>口頭テスト<br>「課題解決」「表現」  | ●              | ● | ●    | ●    | 1                                | 【知】【思】1学期のまとめとして筆記試験と口頭試験を行う   | 筆記テスト  | ●     | ●        |               |     |
|   | 1学期期末考査  |   |                |   |      |      |                                  |  |  |       |          |               |     |
|   | 2<br>学期  | Lektion 4.2<br>【知】所有冠詞を理解する<br>【思】家族について説明できる<br>【学】ドイツ語圏について理解を深める | 所有冠詞<br>「課題発見」 | ● | ●    | ●    | ●                                | 4  | 【知】【思】【主】名詞の格（1・4格）に合わせて所有冠詞を変化できる<br>【知】【思】【主】家族について質疑応答できる | 提出物   | ●        | ●             | ●   |
| Lektion 5<br>【知】不規則変化動詞のパターンを理解する<br>【思】「...に～する」という構文を使って様々な表現ができる<br>【学】ドイツ語圏について理解を深める |  | 現在人称変化の不規則な動詞1<br>名詞の3格<br>人を表す疑問代名詞<br>「課題発見」「表現」                  | ●              | ● | ●    | ●    | 6                                | 【知】【思】【主】主語に合わせて不規則変化動詞を正しく人称変化できる<br>【知】【思】【主】名詞の格（3格）に合わせて冠詞を変化できる                                 | 提出物  | ●     | ●        | ●             |     |
| 2学期中間考査   |  |   |                |   |      |      |                                  |  |  |       |          |               |     |
| 2学期期末考査   |  |   |                |   |      |      |                                  |  |  |       |          |               |     |

| 内容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数                         | 1<br>3<br>週           | Lektion 6<br>【知】 人称代名詞を理解する<br>【思】 天気や体調を伝えられる<br>【学】 ドイツ語圏について理解を深める          | 現在人称変化の不規則な動詞2<br>人称代名詞<br>非人称のes<br>「課題発見」      | ● | ●                | ●                | ● | ●                | 8    | 【知】【思】【主】主語に合わせて不規則変化動詞を正しく人称変化できる<br>【知】【思】【主】人称代名詞を正しく変化させて使うことができる<br>【知】【思】【主】天気について質疑応答できる | 提出物    | ●   | ●   | ● |
|---|-----------------------|--|--|---|------------------|------------------|---|------------------|------|---|--------|-----|-----|---|
|   |                       |  |  |   |                  |                  |   |                  |      |   | まとめテスト | ●   | ●   |   |
| 授<br>業<br>時<br>数                                    | 1<br>3<br>週           | Lektion 7<br>【知】 前置詞の格支配を理解する<br>【思】 どこに何があるかを伝えられる<br>【学】 ドイツ語圏について理解を深める     | 前置詞<br>前置詞と定冠詞の融合形<br>「課題発見」                     | ● | ●                | ●                | ● | ●                | 6    | 【知】【思】【主】前置詞の格支配を理解し、正しい組み合わせで使うことができる<br>【知】【思】【主】どこに何があるか質疑応答できる                              | 提出物    | ●   | ●   | ● |
|   |                       |  |  |   |                  |                  |   |                  |      |   | まとめテスト | ●   | ●   |   |
| 授<br>業<br>時<br>数                                    | 1<br>3<br>週           | まとめテスト<br>【知】 2学期に学んだことを確認する<br>【思】 2学期に学んだことを確認する                             | 筆記テスト<br>口頭テスト<br>「課題解決」「表現」                     | ● | ●                | ●                | ● | ●                | 1    | 【知】【思】2学期のまとめとして筆記試験と口頭試験を行う  | 筆記テスト  | ●   | ●   |   |
|   |                       |  |  |   |                  |                  |   |                  |      |   | 口頭テスト  | ●   | ●   |   |
|   |                       | 2学期期末考査  |  |   |                  |                  |   | 1                |      |   |        |     |     |   |
| 主<br>な<br>学<br>習<br>内<br>容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数 | 3<br>学<br>期<br>9<br>週 | Lektion 8<br>【知】 語法の助動詞について理解する<br>【思】 自分ができていることを伝える<br>【学】 ドイツ語圏について理解を深める   | 語法の助動詞<br>語法の助動詞の現在人称変化<br>語法の助動詞の主な意味<br>「課題発見」 | ● | ●                | ●                | ● | ●                | 8    | 【知】【思】【主】語法の助動詞を主語に合わせて人称変化させ、正しく使うことができる<br>【知】【思】できることやしたいことについて質疑応答できる                       | 提出物    | ●   | ●   | ● |
|   |                       |  |  |   |                  |                  |   |                  |      |   | まとめテスト | ●   | ●   |   |
| 授<br>業<br>時<br>数                                    | 3<br>学<br>期<br>9<br>週 | Lektion 9<br>【知】 分離動詞と命令形の作り方を理解する<br>【思】 1日のスケジュールを述べる<br>【学】 ドイツ語圏について理解を深める | 分離動詞<br>命令形<br>時刻表現<br>「課題発見」「表現」                | ● | ●                | ●                | ● | ●                | 8    | 【知】【思】【主】分離動詞について理解する<br>【知】【思】【主】命令文が作れる<br>【知】【思】【主】時刻が言える<br>【知】【思】【主】1日のスケジュールを伝えることができる    | 提出物    | ●   | ●   | ● |
|   |                       |  |  |   |                  |                  |   |                  |      |   | まとめテスト | ●   | ●   |   |
| 授<br>業<br>時<br>数                                    | 3<br>学<br>期<br>9<br>週 | まとめテスト<br>【知】 3学期に学んだことを確認する<br>【思】 3学期に学んだことを確認する                             | 筆記テスト<br>口頭テスト<br>「課題解決」「表現」                     | ● | ●                | ●                | ● | ●                | 1    | 【知】【思】【主】3学期のまとめとして筆記試験と口頭試験を行う   | 筆記テスト  | ●   | ●   |   |
|   |                       |  |  |   |                  |                  |   |                  |      |   | 口頭テスト  | ●   | ●   |   |
|   |                       | 3学期期末考査  |  |   |                  |                  |   | 1                |      |   |        |     |     |   |
| 学期  | 単元と指導目標               | 指導項目・内容  | 領域   |   |                  |                  |   | 配<br>当<br>時<br>間 | 評価規準 | 評価方法  | 【知】    | 【思】 | 【主】 |   |
|   |                       |  | 聞  | 読 | 話<br>「<br>や<br>」 | 話<br>「<br>発<br>」 | 書 |                  |      |   |        |     |     |   |

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科  | 外国語   | 科目名  | 中国語 | 対象学年 | 1年                            | 単位数  | 2単位 | 観点別評価  |  |               |     |     |     |
|---|---|--|-----|------|-------------------------------|------|-----|--|--|---------------|-----|-----|-----|
| 使用教科書   | 「新・高校版 中国語はじめの一步」(白水社)  |  |     | 教科担当 | A組：大平艶子<br>B組：大平艶子<br>C組：大平艶子 |      |     | 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度 |     |     |     |
| 補助教材  |   |  |     |      |                               |      |     |  |  |               |     |     |     |
| 教科の目標   | 【知識及び技能】読む、話す、書くことによる学習を通して、簡単な会話ができるようになる。<br>【思考力、判断力、表現力等】話し手や書き手の意図を的確に理解したり、適切に表現したり、伝え合ったりすることができる力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】主体的、自律的に外国語語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。   |  |     |      |                               |      |     |  |  |               |     |     |     |
| 科目の目標   | 【知識及び技能】中国語の音声や簡体字、文法などの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、学習した語彙、文法を活用し適切に表現したり伝え合ったりすることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】言語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 |  |     |      |                               |      |     |  |  |               |     |     |     |
| 学期  | 単元と指導目標   | 指導項目・内容  | 領域  |      |                               |      |     | 配当時間   | 評価規準   | 評価方法          | 【知】 | 【思】 | 【主】 |
|   |   |  | 聞   | 読    | 話「や」                          | 話「発」 | 書   |  |  |               |     |     |     |
| 1<br>学期<br>（<br>1<br>3<br>週）  | 導入部・発音<br>【知】中国について基礎知識、中国語の特徴を理解する。【思】学習した発音の基礎を活用し、自分の名前を中国語で言う【主】新しい知識について積極的に議論し、学習意欲を高める。  | 中国についての基礎知識。<br>中国語の特徴<br>声調、母音・子音<br>「課題発見」             | ●   | ●    | ●                             | ●    | ●   | 8  | 【知】中国の地理歴史民俗などについて理解する。中国語の特徴を理解し、声調、母音・子音を発音できる。【思】発音の重要性を思考、判断し、正しく表現できる。【主】単元内容を積極的に議論し、学習に向かう態度が高まっているか。 | 提出物           | ●   | ●   | ●   |
|   |   |  | ●   | ●    | ●                             | ●    |     |  | テスト  | ●             | ●   |     |     |
|   |   |  |     |      |                               |      |     |  |  | 授業態度          |     |     | ●   |
|   | 第1課<br>【知】人称代名詞、「～は…できる」<br>【思】平叙文を否定文、疑問文に直せる<br>【主】応用文を作る。  | 「是」を使った構文で、「～人である。」「～学生である。」初対面を想定した会話。中国人に多い苗字。<br>「表現」 | ●   | ●    | ●                             | ●    | ●   | 4  | 【知】【思】人称代名詞を使った構文を考え、会話を行う。【主】否定文、疑問文を活用し、会話文を作り、表現する。   | 提出物           | ●   | ●   | ●   |
|   |   |  | ●   | ●    | ●                             | ●    | ●   |  |  | テスト           | ●   | ●   |     |
|   |   |  |     |      |                               |      |     |  |  | 授業態度          |     |     | ●   |
|   | 1学期中間考査   |  |     |      |                               |      |     |  |  |               |     |     |     |
|   | 第2課<br>【知】疑問詞疑問文を理解する。<br>【思】「誰」「干嘛」「嗎」の使い分け<br>【主】応用文を作る。  | 疑問詞疑問文。「～の」のある文。<br>中国の教育事情。<br>「課題発見」                   | ●   | ●    | ●                             | ●    | ●   | 6  | 【知】【思】色んな疑問詞を理解し、正しく表現し、会話を行う。【主】言葉を替え、練習を行う。  | 提出物           | ●   | ●   | ●   |
|   |   |  | ●   | ●    | ●                             | ●    | ●   |  |  | テスト           | ●   | ●   |     |
|   |   |  |     |      |                               |      |     |  |  | 授業態度          |     |     | ●   |
| 第3課<br>【知】動詞の文を理解する。<br>【思】目的語に応じて適切な動詞を使う<br>【主】応用文を作る。                              | 動詞の文。中国の高校と日本高校との違い。<br>「課題発見」  | ●  | ●   | ●    | ●                             | ●    | 6   | 【知】【思】「行く、食べる、飲む、学習する、ある、いる」などよく使う動詞を身につける。【主】新しいを応用し、会話を行う。 | 提出物  | ●             | ●   | ●   |     |
|   |   | ●  | ●   | ●    | ●                             | ●    |     |  | テスト  | ●             | ●   |     |     |
|   |   |  |     |      |                               |      |     |  | 授業態度   |               |     | ●   |     |
| 【知】【思】テスト   | まとめテスト<br>「課題解決」  | ●  | ●   | ●    | ●                             | ●    | 1   | 【知】【思】筆記試験、リスニング試験を行う。                                       | 筆記テスト  | ●             | ●   |     |     |
|   |   | ●  | ●   | ●    | ●                             | ●    |     |  | リスニング  | ●             | ●   |     |     |
| 1学期期末考査   |   |  |     |      |                               |      | 1   |  |  |               |     |     |     |
| 学期  | 単元と指導目標   | 指導項目・内容  | 領域  |      |                               |      |     | 配当時間   | 評価規準   | 評価方法          | 【知】 | 【思】 | 【主】 |
|   |   |  | 聞   | 読    | 話「や」                          | 話「発」 | 書   |  |  |               |     |     |     |
| 2<br>学期<br>（<br>1<br>3<br>週）  | 第4課<br>【知】量詞、形容詞、物の値段を尋ねることができる。<br>【思】名詞によって、量詞を使い分けられる<br>【主】応用文を作る   | 量詞の使い方、形容詞の文、値段の尋ね方、答え方<br>「課題発見」「表現」                    | ●   | ●    | ●                             | ●    | ●   | 8  | 【知】【思】量詞を正しく表現できる。形容詞で詳しい表現ができる。【主】新出単語を活用し、会話を行う。   | 提出物           | ●   | ●   | ●   |
|   |   |  | ●   | ●    | ●                             | ●    | ●   |  |  | テスト           | ●   | ●   |     |
|   |   |  |     |      |                               |      |     |  |  | 授業態度          |     |     | ●   |
|   | 2学期中間考査   |  |     |      |                               |      |     |  |  |               |     |     |     |
|   | 第5課<br>【知】数字、動作の時点を理解している<br>【思】数字を使った構文を考える<br>【主】応用文を作る   | 年月日、時刻、「いつ」の言い方<br>「課題発見」                                | ●   | ●    | ●                             | ●    | ●   | 6  | 【知】【思】【主】年月日、曜日、時刻を言うことができる。聞くことができる。  | 提出物           | ●   | ●   | ●   |
|   |   |  | ●   | ●    | ●                             | ●    | ●   |  |  | テスト           | ●   | ●   |     |
|   |   |  |     |      |                               |      |     |  |  | 授業態度          |     |     | ●   |
|   | 第6課<br>【知】完了文、助動詞「～したい」を理解する。<br>【思】否定文の特徴をつかむ。<br>【主】助動詞を使い、したいことを中国語で表現する。  | 「了」「没有」を使った完了文。助動詞「想」を使った食べたい、飲みたいなどの構文。<br>「表現」         | ●   | ●    | ●                             | ●    | ●   | 6  | 【知】【思】完了文を理解している。「～したい」と自分の希望が言えるようになる。【主】応用し文を考え、発音する。  | 提出物           | ●   | ●   | ●   |
|   |   |  | ●   | ●    | ●                             | ●    | ●   |  |  | テスト           | ●   | ●   |     |
|   |   |  |     |      |                               |      |     |  |  | 授業態度          |     |     | ●   |
| 第7課<br>【知】介詞「～で」「～から」を理解する。反復疑問文を理解する。<br>【思】「在」「離」について使い分けられる。<br>【主】「嗎」の文を反復疑問文に直す。 | 介詞「在」「離」にの文、反復疑問文<br>「課題発見」   | ●  | ●   | ●    | ●                             | ●    | 4   | 【知】【思】【主】介詞を内容に合わせて正しく表現できる。反復疑問文を使った会話を行う。                  | 提出物  | ●             | ●   | ●   |     |
|   |   | ●  | ●   | ●    | ●                             | ●    |     |  | テスト  | ●             | ●   |     |     |
|   |   |  |     |      |                               |      |     |  | 授業態度   |               |     | ●   |     |

| 学期  | 単元と指導目標                         | 指導項目・内容  | 領域                                |   |      |      |   | 配当時間                   | 評価規準   | 評価方法 | 【知】  | 【思】 | 【主】 |
|---|---------------------------------|--|-----------------------------------|---|------|------|---|------------------------|--|------|------|-----|-----|
|   |                                 |  | 聞                                 | 読 | 話「や」 | 話「発」 | 書 |                        |  |      |      |     |     |
|   | 【知】【思】まとめテスト                    | 筆記試験、リスニング試験<br>「課題解決」   | ●                                 | ● | ●    | ●    | 1 | 【知】【思】筆記試験、リスニング試験を行う。 | 筆記テスト  | ●    | ●    |     |     |
|   |                                 |  |                                   |   |      |      |   |                        | リスニング  | ●    | ●    |     |     |
|   | 2学期期末考査                         |  |                                   |   |      |      | 1 |                        |  |      |      |     |     |
| 主<br>な<br>学<br>習<br>内<br>容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数 | 3<br>学<br>期<br>（<br>9<br>週<br>） | 第8課<br>【知】時間量を表す語を覚える。助動詞「～しなければならない」の文を使うことができる。<br>【思】時間量を表す語を会話で使うことができる。<br>【主】応用文を作る。 | 時間量を表す語、助動詞「得」<br>「課題発見」          | ● | ●    | ●    | ● | 8                      | 【知】【思】【主】「時間量」を表す語、「得」を使って活用できるようになる。語順を考えて正しく表現できる。積極的に会話練習を行う。 | 提出物  | ●    | ●   | ●   |
|   |                                 |  |                                   |   |      |      |   |                        |  | テスト  | ●    | ●   |     |
|   |                                 |  |                                   |   |      |      |   |                        |  |      | 授業態度 |     |     |
|   |                                 | 第9課<br>【知】過去の経験を表現する。助動詞「～できる。」<br>【思】「過」を使った表現ができる。<br>【主】助動詞の違いについての理解を深める。              | 助動詞「過」「会」「能」の違い、使い方<br>「課題発見」「表現」 | ● | ●    | ●    | ● | 8                      | 【知】【思】【主】助動詞を内容に合わせて正しく表現できる。「過去の経験」を会話形式で伝え合ったりすることができる。        | 提出物  | ●    | ●   | ●   |
|   |                                 |  |                                   |   |      |      |   |                        |  | テスト  | ●    | ●   |     |
|   |                                 |  |                                   |   |      |      |   |                        |  | 授業態度 |      |     | ●   |
|   |                                 | 【知】【思】まとめテスト<br>【主】自己紹介文を書き、発表する。  | 筆記試験、リスニング試験、自己紹介文<br>「課題解決」      | ● | ●    | ●    | ● | 1                      | 【知】【思】筆記試験、リスニング試験を行う。【主】学習した内容を活かし、中国語で自己紹介ができるようになる。           | 提出物  | ●    | ●   | ●   |
|   |                                 |  |                                   |   |      |      |   |                        |  | テスト  | ●    | ●   |     |
|   |                                 |  |                                   |   |      |      |   |                        |  | 授業態度 |      |     | ●   |
|   |                                 | 3学期期末考査  |                                   |   |      |      |   | 1                      |  |      |      |     |     |

令和5年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

| 教科                               | 外国語  | 科目名   | フランス語 |   |      | 対象学年 | 1年                               | 単位数   | 2単位  | 観点別評価     |          |               |     |
|----------------------------------|--|---|-------|---|------|------|----------------------------------|---|--|-----------|----------|---------------|-----|
| 使用教科書                            | 「Jardin du français」（駿河台出版社）   |   |       |   |      | 教科担当 | A組：那波 洋子<br>B組：那波 洋子<br>C組：那波 洋子 |   |  | 知識・技能     | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |     |
| 補助教材                             |  |   |       |   |      |      |                                  |   |  |           |          |               |     |
| 教科の目標                            | 【知識及び技能】日常生活での様々な場面での会話表現を学び、表現できる<br>【思考力、判断力、表現力等】学んだ表現を自身で応用し、自分自身で表現できる<br>【学びに向かう力、人間性等】自発的に答えたり、質問できる積極性 |   |       |   |      |      |                                  |   |  |           |          |               |     |
| 科目の目標                            | 【知識及び技能】日常生活での様々な場面での会話表現を学び、表現できる<br>【思考力、判断力、表現力等】学んだ表現を自身で応用し、自分自身で表現できる<br>【学びに向かう力、人間性等】自発的に答えたり、質問できる積極性 |   |       |   |      |      |                                  |   |  |           |          |               |     |
| 学期                               | 単元と指導目標  | 指導項目・内容   | 領域    |   |      |      |                                  | 配当時間  | 評価規準   | 評価方法      | 【知】      | 【思】           | 【主】 |
|                                  |  |   | 聞     | 読 | 話「や」 | 話「発」 | 書                                |   |  |           |          |               |     |
| 1<br>学期<br>（<br>1<br>3<br>週<br>） | Leçon 0 フランス語での挨拶と簡単な自己紹介  | フランスとフランス語への導入<br>フランス語での挨拶<br>簡単な自己紹介<br>「表現」  | ●     |   | ●    | ●    |                                  | 5   | フランスに関する全般的な知識を持ち、フランス語圏の存在を知る<br>日常的な挨拶ができる<br>簡単な自己紹介ができる  | 単元毎のミニテスト | ●        | ●             | ●   |
|                                  |  |   |       |   |      |      |                                  |   | 会話の発表  | ●         | ●        | ●             |     |
|                                  |  |   |       |   |      |      |                                  |   | 授業態度   |           |          | ●             |     |
|                                  | Leçon 1 自己紹介し合う  | 国籍と職業の表現<br>être 動詞の主語による変化<br>主語の性数による国籍と職業の変化<br>名前を聞いたり、答える表現<br>フランス人の名前<br>「課題発見」「表現」                        | ●     | ● | ●    | ●    | ●                                | 5   | être 動詞を理解し運用できる<br>主語の性数による国籍と職業の変化の理解<br>フランス人の名前を知る   | 単元毎のミニテスト | ●        | ●             | ●   |
|                                  |  |   |       |   |      |      |                                  |   | 会話の発表  | ●         | ●        | ●             |     |
|                                  |  |   |       |   |      |      |                                  |   | 授業態度   |           |          | ●             |     |
|                                  | 1学期中間考査  |   |       |   |      |      |                                  |   |  |           |          |               |     |
|                                  | Leçon 2 カフェでの会話  | カフェに入ってから出るまでのウェイターとの会話<br>1～20までの数とユーロでの発音のがりと不定冠詞<br>フランスのカフェと日本のカフェの違い<br>「課題発見」                               | ●     | ● | ●    | ●    |                                  | 6   | カフェの入出時でのウェイターとの挨拶ができる<br>物・食べものが注文でき、支払いができる  | 単元毎のミニテスト | ●        | ●             | ●   |
|                                  |  |   |       |   |      |      |                                  |   | 会話の発表  | ●         | ●        | ●             |     |
|                                  |  |   |       |   |      |      |                                  |   | 授業態度   |           |          | ●             |     |
| Leçon 3 友達を紹介する                  | 話す言語を言う表現<br>学んでいる事の表現<br>住んでいる所の表現<br>住 好み<br>第一群 第一群<br>規則動詞 定冠詞<br>否定文<br>「課題解決」「表現」                        | ●   | ●     | ● | ●    | ●    | 10                               | 第一群規則動詞の規則性の理解と応用<br>定冠詞の使い方の理解<br>否定文が自由に作れる                           | 単元毎のミニテスト  | ●         | ●        | ●             |     |
|                                  |  |   |       |   |      |      |                                  | 会話の発表   | ●  | ●         | ●        |               |     |
|                                  |  |   |       |   |      |      |                                  | 授業態度  |  |           | ●        |               |     |
| 1学期期末考査                          |  |   |       |   |      |      |                                  |   |  |           |          |               |     |
| 学期                               | 単元と指導目標  | 指導項目・内容   | 領域    |   |      |      |                                  | 配当時間  | 評価規準   | 評価方法      | 【知】      | 【思】           | 【主】 |
|                                  |  |   | 聞     | 読 | 話「や」 | 話「発」 | 書                                |   |  |           |          |               |     |
| 2<br>学期<br>（<br>1<br>3<br>週<br>） | 現在のパリの生成について   | 現在のパリの生成についてDVDを見ながら考える<br>「課題発見」「課題解決」   |       |   |      |      |                                  | 2   | 現在のパリがユネストの世界遺産に指定されている要因について理解  | 質問と解答表の提出 |          | ●             | ●   |
|                                  |  |   |       |   |      |      |                                  |   | 授業態度   |           |          | ●             |     |
|                                  | Leçon 4 持ち物を言う・物を説明する  | 日常で使う物の単語<br>物について聞き、答え、説明する<br>avoir 動詞の変化<br>場所を表す前置詞<br>否定文と否定のde について理解する<br>色々な疑問文の形を理解する<br>「課題発見」「表現」      | ●     | ● | ●    | ●    | ●                                | 6   | 日常的な単語の理解<br>物について尋ねたり、必要な説明ができる<br>否定文のde について理解できる<br>色々な疑問文の形で質問できる<br>avoir 動詞の変化ができる              | 単元毎のミニテスト | ●        | ●             | ●   |
|                                  |  |   |       |   |      |      |                                  |   | 会話の発表  | ●         | ●        | ●             |     |
|                                  |  |   |       |   |      |      |                                  |   | 授業態度   |           |          | ●             |     |
|                                  | 2学期中間考査  |   |       |   |      |      |                                  |   |  |           |          |               |     |
|                                  | Leçon 5 人について聞いたり、説明する   | 人について聞き、答える<br>年齢を聞き、答える<br>どんな人が聞いたり、答える<br>所有形容詞<br>「表現」  | ●     | ● | ●    | ●    | ●                                | 6   | 家族についての単語を理解<br>フランス語の所有形容詞の理解<br>100までの数を聞き取り、言える<br>年齢を聞き、答えられる<br>形容詞の主語の性数による変化の理解                 | 単元毎のミニテスト | ●        | ●             | ●   |
|                                  |  |   |       |   |      |      |                                  |   | 会話の発表  | ●         | ●        | ●             |     |
|                                  |  |   |       |   |      |      |                                  |   | 授業態度   |           |          | ●             |     |
|                                  | Leçon 6 食べる物、飲む物を言う  | 食べる・飲むを表現する不規則動詞<br>manger, boire, prendre<br>食べ物と飲み物の単語<br>部分冠詞<br>一日の食べ物、飲み物を言う<br>フランスと日本の食文化の違い<br>「課題発見」「表現」 | ●     | ● | ●    | ●    | ●                                | 6   | 食べ物、飲み物の単語と部分冠詞を理解<br>不規則動詞manger, boire, prendre の変化の理解<br>朝食、昼食、夕食の食べる物を言える<br>フランスと日本の食文化の違いについての理解 | 単元毎のミニテスト | ●        | ●             | ●   |
|                                  |  |   |       |   |      |      |                                  | 会話の発表   | ●  | ●         | ●        |               |     |
|                                  |  |   |       |   |      |      |                                  | 授業態度  |  |           | ●        |               |     |
| Leçon 7 行き先を聞いたり、説明する            | 動詞aller, venir の活用<br>前置詞 à, de の場所の性数による変化<br>行きたい場所を聞いたり、説明する<br>移動手段について<br>時間の表現<br>「課題解決」「表現」             | ●   | ●     | ● | ●    | ●    | 6                                | 動詞 aller, venir と前置詞の変化の理解<br>行き先の質問と説明ができる<br>移動手段の理解<br>時間を聞いたり、答えられる | 単元毎のミニテスト  | ●         | ●        | ●             |     |
|                                  |  |   |       |   |      |      |                                  | 会話の発表   | ●  | ●         | ●        |               |     |
|                                  |  |   |       |   |      |      |                                  | 授業態度  |  |           | ●        |               |     |

|   |                                 | 2学期期末考査                        |   |   |              |              |   |      |      |  |           |     |   |   |
|---|---------------------------------|--------------------------------|---|---|--------------|--------------|---|------|------|--|-----------|-----|---|---|
| 学期  | 単元と指導目標                         | 指導項目・内容                        | 領域  |   |              |              |   | 評価規準 | 評価方法 | 【知】  | 【思】       | 【主】 |   |   |
|   |                                 |                                | 開   | 読 | 話<br>【や<br>】 | 話<br>【発<br>】 | 書 |      |      |  |           |     |   |   |
| 主<br>な<br>学<br>習<br>内<br>容<br>と<br>授<br>業<br>時<br>数 | 3<br>学<br>期<br>（<br>9<br>週<br>） | Leçon 8<br>行きたい場所を聞く           | 行きたい場所を聞いたり、道順を説明する<br>命令形<br>非人称表現（義務の表現、天気<br>の表現）<br>場所を表す中性代名詞<br>「課題発見」「表現」              | ● | ●            | ●            | ● | ●    | 6    | 行きたい場所を聞いたり、道順の説明ができる<br>天気や義務の非人称表現ができる<br>中性代名詞 y を使って言い換えられる                        | 単元毎のミニテスト | ●   | ● | ● |
|   |                                 | 会話の発表                          | ●   | ● | ●            |              |   |      |      |  |           |     |   |   |
|   |                                 | 授業態度                           |   |   |              |              |   |      |      |  |           |     |   |   |
|   | 9<br>週<br>）                     | Leçon 9<br>日程について話す            | 曜日、日付を聞いたり、答える<br>～を終える finir の表現と第2群規則動詞<br>数量を聞いたり、中性代名詞 en を用いて答える<br>感想や印象を言う表現<br>「課題発見」 | ● | ●            | ●            | ● | ●    | 6    | 曜日や日付を聞いたり、答えられる<br>第2群規則動詞の規則性を理解する<br>数量を聞いたり、中性代名詞en を用いて答えられる<br>事についての感想や印象を表現できる | 単元毎のミニテスト | ●   | ● | ● |
|   |                                 | 会話の発表                          | ●   | ● | ●            | ●            | ● |      |      |  |           |     |   |   |
|   |                                 | 授業態度                           |   |   |              |              |   |      |      | ●  |           |     |   |   |
|   | 授<br>業<br>時<br>数                | Leçon 10<br>これからする事、したばかりの事を言う | 近接未来の表現<br>近接過去の表現<br>動詞faire の表現<br>動詞 pouvoir の表現<br>理由を聞いたり、説明する<br>「課題解決」「表現」             | ● | ●            | ●            | ● | ●    | 6    | 近接未来、近接過去の表現ができる<br>動詞 faire の表現ができる<br>動詞 pouvoir の表現ができる<br>理由を聞いたり、答えられる            | 単元毎のミニテスト | ●   | ● | ● |
|   |                                 | 会話の発表                          | ●   | ● | ●            | ●            | ● |      |      |  |           |     |   |   |
|   |                                 | 授業態度                           |   |   |              |              |   |      |      | ●  |           |     |   |   |
|   |                                 | 3学期期末考査                        |   |   |              |              |   |      |      |  |           |     |   |   |

